

「専門職教育支援士」履修証明プログラム

実施報告書

令和3（2021）年3月8日

「専門職教育支援士」履修証明プログラム実施概要

開講期間：令和2年（2020年）11月21日（土）～令和3年（2021年）2月28日（日）

100日間

受講者数：23名

授業形態：全授業オンライン形式。

オンデマンド授業…任意の時間に映像授業を受講

リアルタイム授業（オンラインスクーリング）…決まった日時にオンライン会議
（Zoom）で受講

各科目の分析

A1 プロフェッショナルディプロメント



期間終了(日)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	0	199	0	0	40	199	コースログ
2021年02月21日	0	82	0	0	51	82	コースログ
2021年02月14日	0	86	0	0	19	86	コースログ
2021年02月7日	0	91	20	0	10	91	コースログ
2021年01月31日	7	32	0	0	4	39	コースログ
2021年01月24日	5	156	1	0	5	161	コースログ
2021年01月17日	0	623	25	0	23	623	コースログ
2021年01月10日	6	93	8	0	39	99	コースログ
2021年01月3日	1	51	0	0	26	52	コースログ
2020年12月27日	1	112	0	0	84	113	コースログ
2020年12月20日	0	148	0	0	142	148	コースログ
2020年12月13日	0	51	0	0	3	51	コースログ
2020年12月6日	0	93	0	0	23	93	コースログ
2020年11月29日	11	98	0	0	23	109	コースログ
2020年11月22日	22	310	3	5	267	332	コースログ
2020年11月15日	0	18	0	0	18	18	コースログ
2020年11月8日	0	27	0	0	27	27	コースログ

上のグラフと表は、Moodle のグラフ作成機能により描いたものである。

これから全ての科目で、このグラフを転載し、受講者の Moodle へのアクセスの傾向をみる。ただし、ここでは、受講者のアクセスがどのようなアクセスであるかは区別していない。

以下の注意は、全ての科目に同様に当てはまることである。

注意1：本講座は、2020年11月21日(土)から2021年2月28日(日)まで100日間開講した。

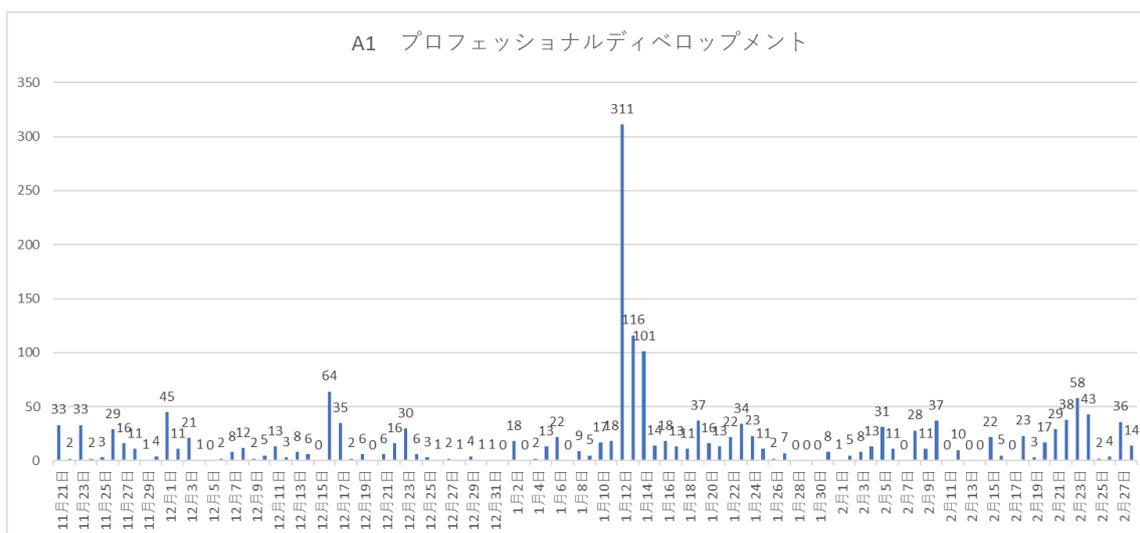
注意2：上の各日付の「ゲスト」から「すべて」までのアクセス数は、1週間ごとの総和

である。

たとえば、2021年02月28日（日）の受講者のアクセス数は、199名であるが、これは、2021年02月22日（月）から02月28日（日）までのアクセス数の総和である。

注意3：11月22日の受講者のアクセス数は管理者他によるダミーの受講者によるアクセス数が含まれており、真の受講者のアクセス数ではない。

そこで、Moodleに記憶されている元データから受講者のアクセス数のグラフ（これを「受講者グラフ」と呼ぶことにする。）を描くと以下のようなになる。



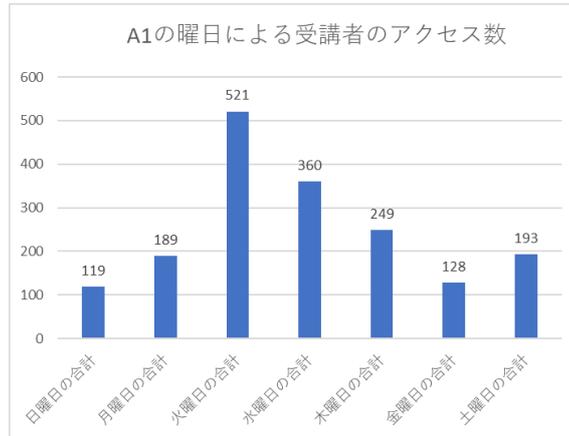
たとえば、この科目では、最初のグラフでは、2020年11月22日の受講者のアクセス数は310回となっているが、このグラフでは、受講者のアクセス数が、21日、33回、22日、2回であるので、310回は、真の受講者のアクセス数ではない。

A1 プロフェッショナルディベロップメントの真の受講者の全アクセス数は、1759件である。

オンラインスクーリングの期間を除くと、受講者グラフから、アクセス数は0になる場合や曜日に多少の変動があるものの極端な変動はなく、細かく変動していることがわかる。

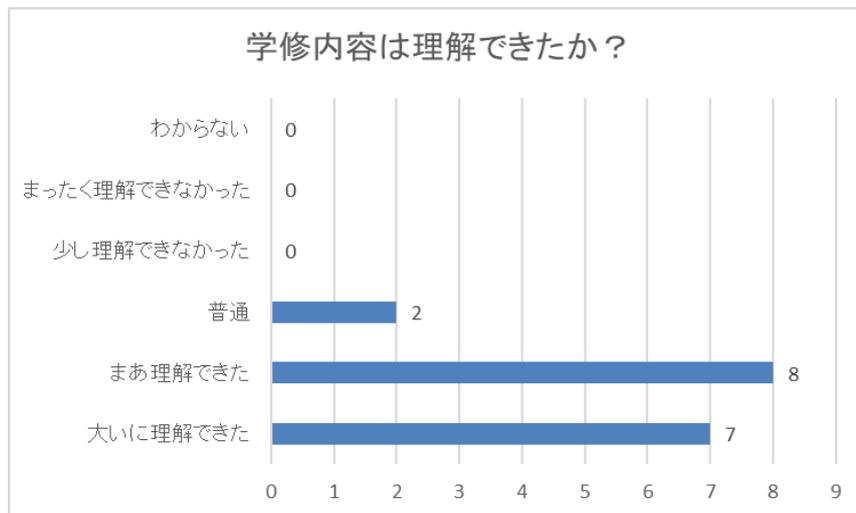
2021年1月17日の1週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日の1月12日（火）である。

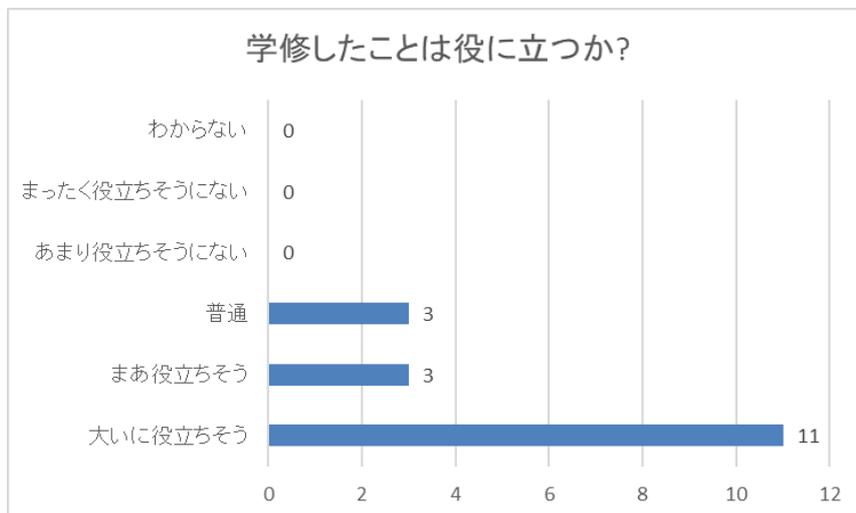
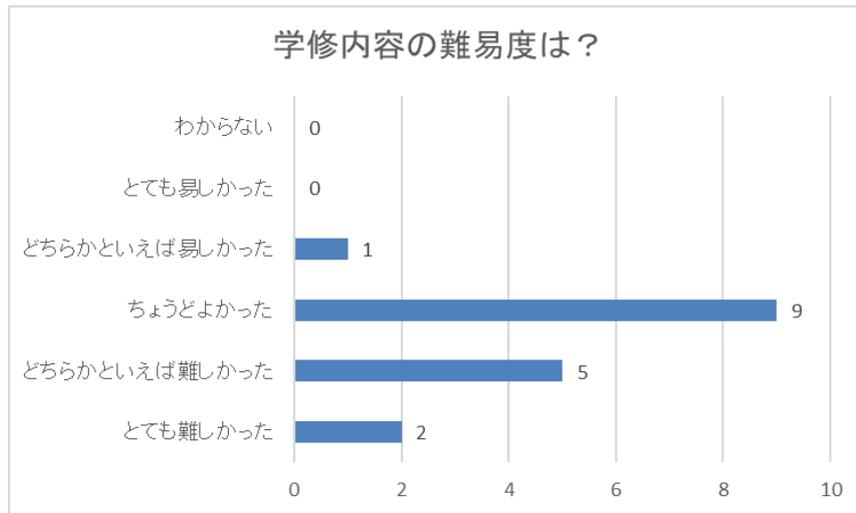
それでは、受講者のアクセス数は、曜日によってどのように違うのだろうか。以下のグラフ（これを「曜日別グラフ」と呼ぶことにする。）を描いてみる。



A1 プロフェッショナルディプロメントの場合は、受講者のアクセス数は、火曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが火曜日に行われたからであると考えられる。その次に、水曜日、土曜日、金曜日、日曜日の順で減っている。

科目アンケートの結果





○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・担当の先生を始め、他校の先生たちの感想や意見を聞くことで、自己の視野も広がり学びになりました。ありがとうございました。

・専門学校の教員は、基本的に教育者としての指導を受けていない。(大学で教職課程を受けている方を除く) 専門知識のみで教員となっている自分にとっては目の覚める思いでした。ありがとうございました。

・改めて考えさせられることも多々あり非常に勉強になりました。また、オンラインでの学修も他の教員の先生方の意見や感想も聞くことができ非常に参考になりました。ありがとうございました。

・大野先生、三輪先生、ご教授ありがとうございました。ユーチューブ動画授業では正直、抽象的な対象内容のため十分理解できている自信がありませんでした。しかし、ZOOM オンライン授業で実際に先生方の実体験を交えた具体例をお聞きしたり、受講者の質疑応答を通じて理解が進みました。専門学校教員は真のプロフェッショナルになれると言えるのか、真のプロフェッショナルに近づくにはどのような努力や工夫が必要なのか、自分なりに考え直す良い機会になりました。

・分かっているようで全然分かっていなかったのにより明確で分かりやすかったです。ありがとうございました"

・テクニック的な授業力の向上に目が行きがちでしたが、教育観や教員としての資質、能力の大事さを改めて思い出すことができました。日々の業務に追われておろそかになりがちですが、省察を行っていきたいと思います。ありがとうございました。

・いつもありがとうございます。内容的に理解が難しい部分もありますが、常日頃の業務遂行に役立つことが多く勉強になります。引き続きよろしく願いいたします。

・専門学校教員にとりまして、プロフェッショナルの概念を丁寧に吟味しながら学生たちの資質・能力の育成だけでなく、職業教育を担保するための自分たちの資質・能力についても深く省察することの重要性を学ぶことができました。ありがとうございました。

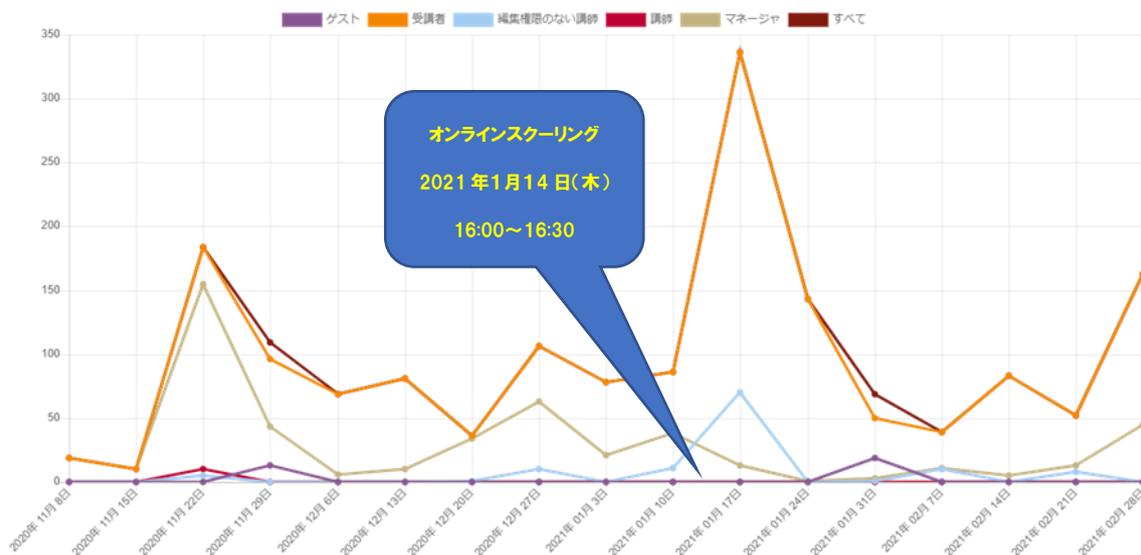
・あまり普段意識していなかったことを考えさせてもらう機会をいただきました。ありがとうございました。

・専門学校教員には必須の科目だと思いました。丁寧に教えていただきありがとうございました。

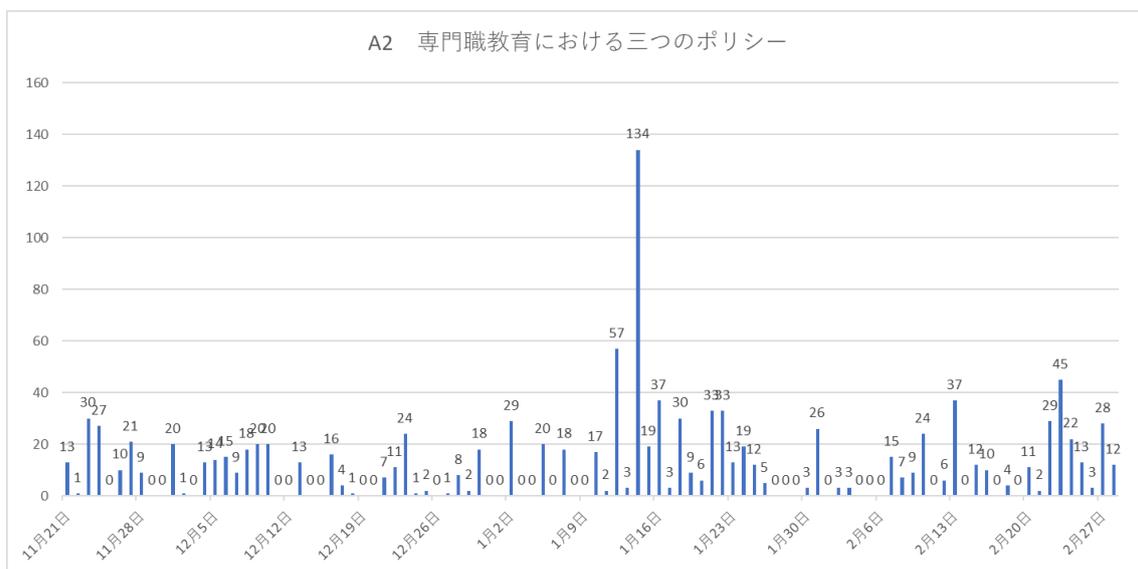
・職場は沼地である、というのは名言だと思います。

・貴重な学びの時間となりました。講義いただきありがとうございました。

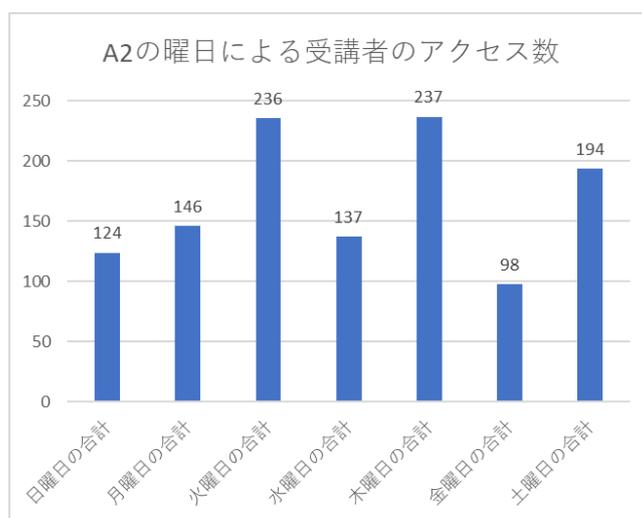
A2 専門職教育における三つのポリシー



期間終了(期)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	0	163	0	0	45	163	コースログ
2021年02月21日	0	52	8	0	13	52	コースログ
2021年02月14日	0	83	0	0	5	83	コースログ
2021年02月7日	0	39	10	0	11	39	コースログ
2021年01月31日	19	50	1	0	3	69	コースログ
2021年01月24日	0	143	0	0	1	143	コースログ
2021年01月17日	0	336	70	0	13	336	コースログ
2021年01月10日	0	86	11	0	38	86	コースログ
2021年01月3日	0	78	0	0	21	78	コースログ
2020年12月27日	0	106	10	0	63	106	コースログ
2020年12月20日	0	36	1	0	34	36	コースログ
2020年12月13日	0	81	0	0	10	81	コースログ
2020年12月6日	0	69	0	0	6	69	コースログ
2020年11月29日	13	96	0	0	43	109	コースログ
2020年11月22日	0	184	5	10	155	184	コースログ
2020年11月15日	0	10	0	0	10	10	コースログ
2020年11月8日	0	19	0	0	19	19	コースログ

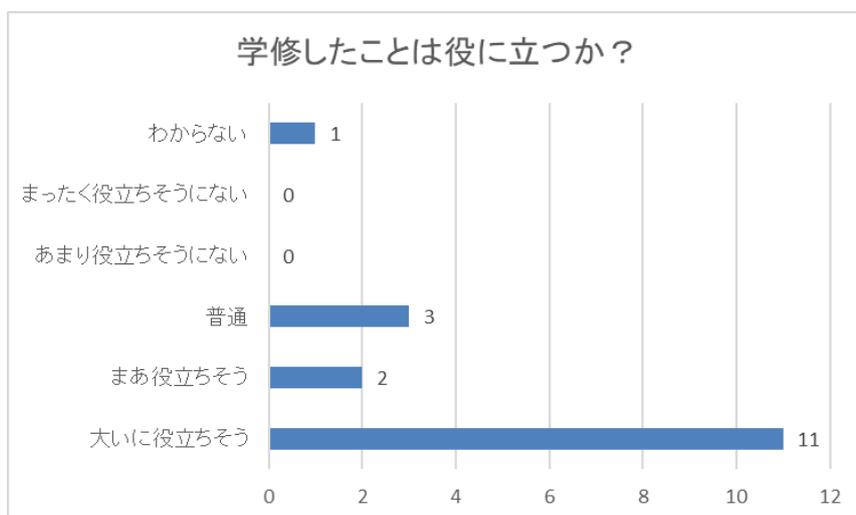
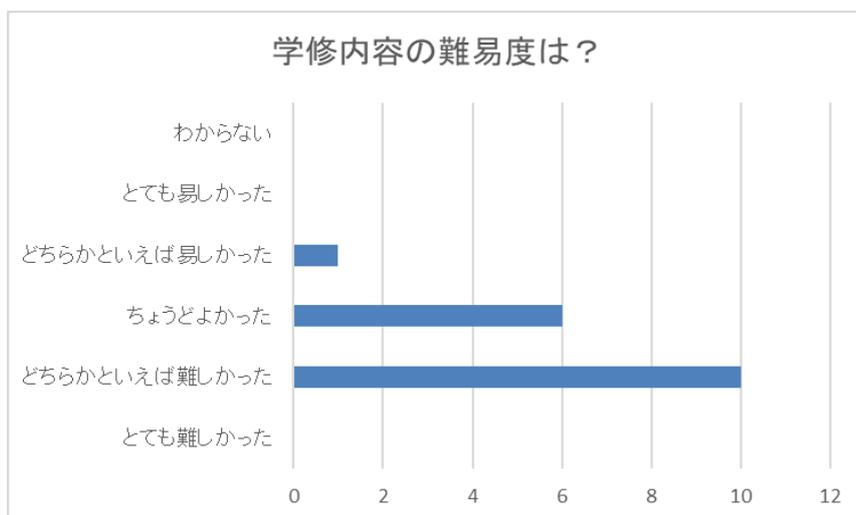
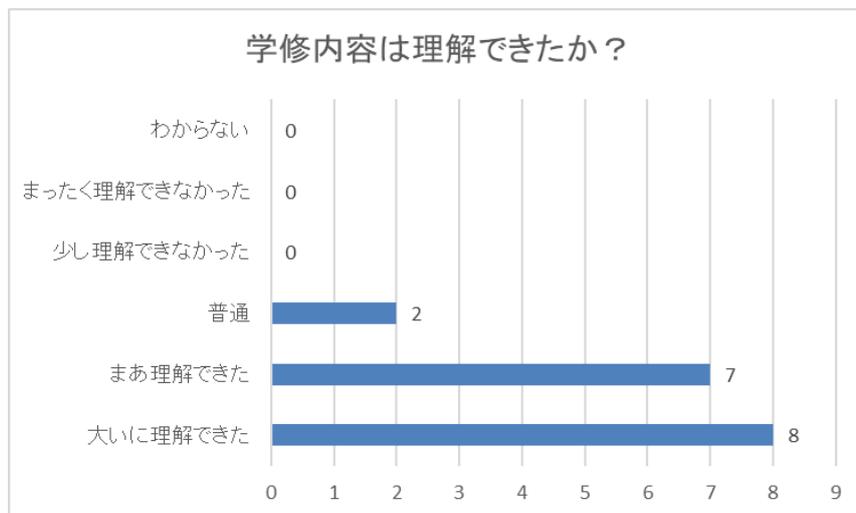


A2 専門職教育における三つのポリシーの真の受講者の全アクセス数は、1172 件である。受講者グラフからアクセス数は 0 になる場合があり、細かく変動していることがわかる。2021 年 1 月 17 日の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 1 月 14 日（木）である。



曜日別グラフから、A2 専門職教育における三つのポリシーの場合は、受講者のアクセス数は、木曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが木曜日にあったからと考えられる。金曜日が減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・いつもありがとうございます。今後の学校運営の参考とさせていただきたく存じます。

・専門学校を取り囲む経営環境が厳しくなっている中、本講義を通じて高等教育における「ディプロマ・ポリシー（DP）」、「カリキュラム・ポリシー（CP）」、「アドミッション・ポリシー（AP）」の3つのポリシーの重要性を再認識しました。私の勤務先の鍼灸師養成学校では、数年前より3つのポリシーを明確化させていますが、改めて相互の整合性についての見直しが必要であることに気付きました。自分自身が入学希望者やその保護者、採用側の企業担当者になったつもりで、社会に必要とされる専門学校になるための条件を複眼的に考えてみます。貴重なご講義、ありがとうございました。

・3つのポリシーは最近様々なところでキーワードとして出てきており、参考となる書籍もいくつか読みましたが、講座ではわかりやすくまとめられており、理解が進んだような気がします。ただまだまだ考えながらの策定、改定になりますので今後とも学習していきたいと思えます。

・オンデマンド授業により忘れていた箇所もありましたが、今回改めてオンライン授業を受講させていただき再確認させていただきました。また、他の学校の先生方の状況や考えなど知ることができ大変有意義な学修でした。ありがとうございました。

・文科省の目指す教育の一部が見えたような気がいたしました。ありがとうございました。

・学校の3ポリシーはできていますが、学科ごとのポリシーを策定しているところです。策定するだけでなく、実践できるよう学科の教師の意識づけが大切だと感じました。

・大学において一般化した3つのポリシーについての時代的、法的背景ならびにその要因について理解を深めることができました。高等教育機関の一翼を担う専門学校においても今後ますます内部質保証、外部評価の視点が求められることを理解を深めることができました。ありがとうございました。

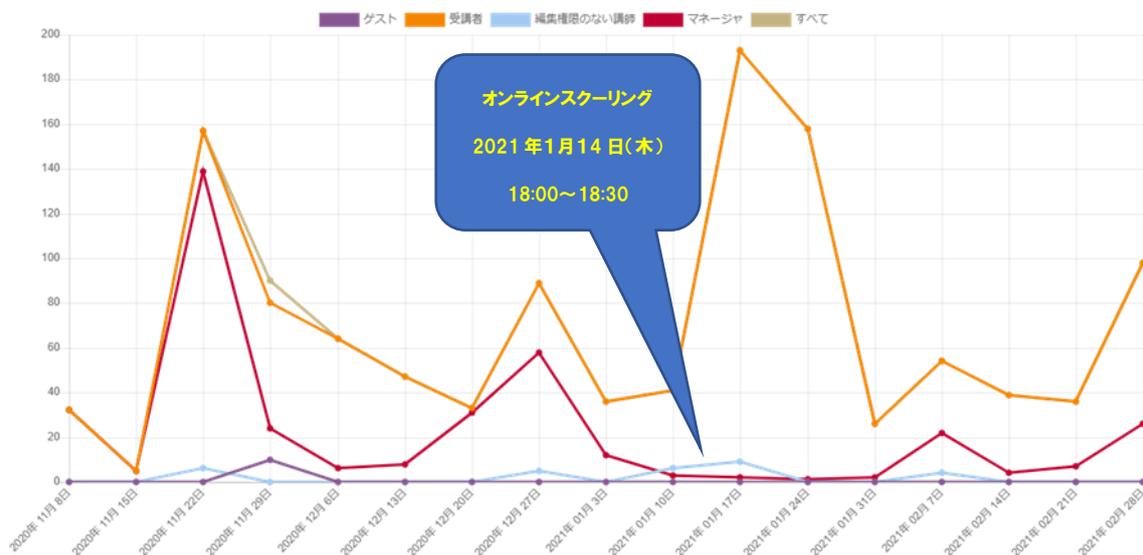
・本校ではまだ3つのポリシーが策定されていない。AO入試導入にあたりアドミッションポリシーは示しているが、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーの言語化はこれからの作業である。どのように策定したらよいか迷う部分もあったが、この講座を受け、ヒントをもらうことができた。ありがとうございました。

・FD・SD の背景、質保証が求められている理由がよく理解できました。ありがとうございました。

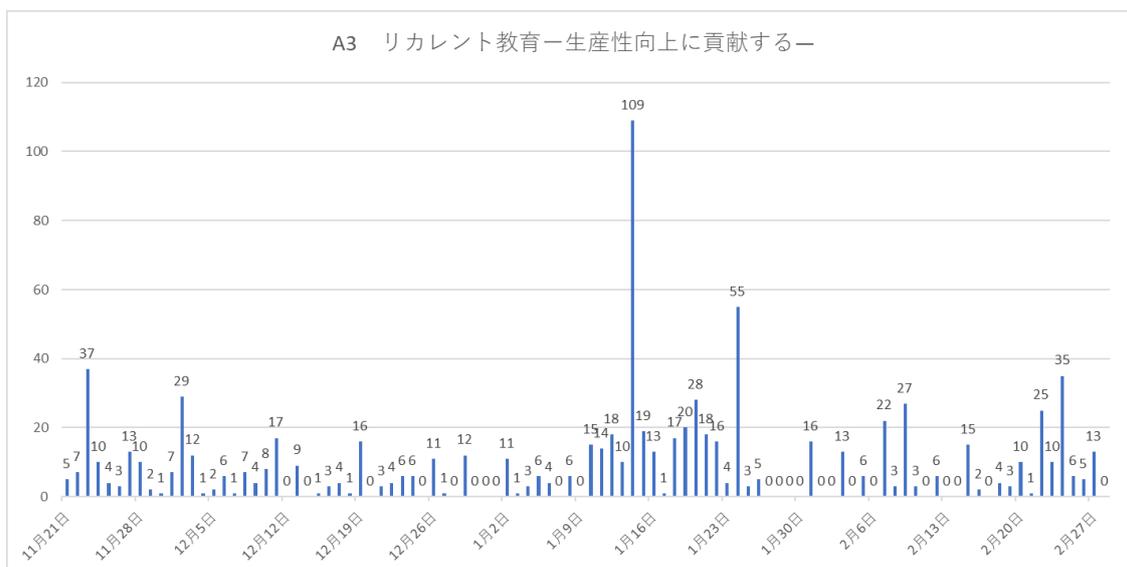
・3 ポリシーの実例のレビューがとても役に立ちました。

"講義いただきありがとうございました。非常に良い学びの時間となりました。

A3 リカレント教育—生産性向上に貢献する—



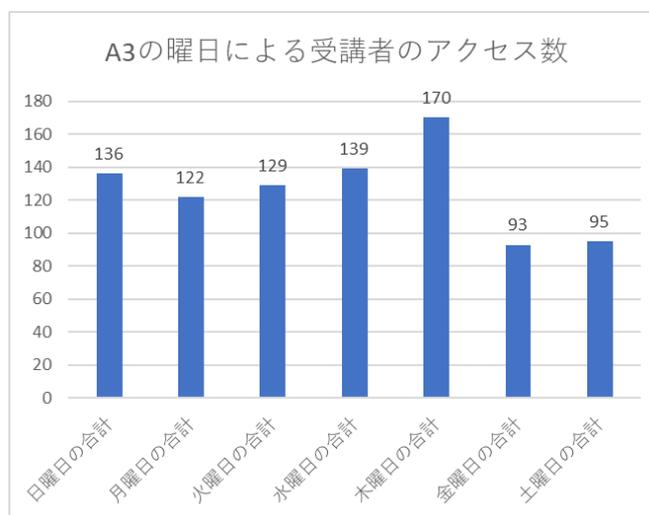
期間終了(期)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年 02月 28日	0	98	0	26	98	コースログ
2021年 02月 21日	0	36	0	7	36	コースログ
2021年 02月 14日	0	39	0	4	39	コースログ
2021年 02月 7日	0	54	4	22	54	コースログ
2021年 01月 31日	0	26	0	2	26	コースログ
2021年 01月 24日	0	158	0	1	158	コースログ
2021年 01月 17日	0	193	9	2	193	コースログ
2021年 01月 10日	0	41	6	3	41	コースログ
2021年 01月 3日	0	36	0	12	36	コースログ
2020年 12月 27日	0	89	5	58	89	コースログ
2020年 12月 20日	0	33	0	31	33	コースログ
2020年 12月 13日	0	47	0	8	47	コースログ
2020年 12月 6日	0	64	0	6	64	コースログ
2020年 11月 29日	10	80	0	24	90	コースログ
2020年 11月 22日	0	157	6	139	157	コースログ
2020年 11月 15日	0	5	0	5	5	コースログ
2020年 11月 8日	0	32	0	32	32	コースログ



A3 リカレント教育—生産性向上に貢献する—の真の受講者の全アクセス数は、884 件である。

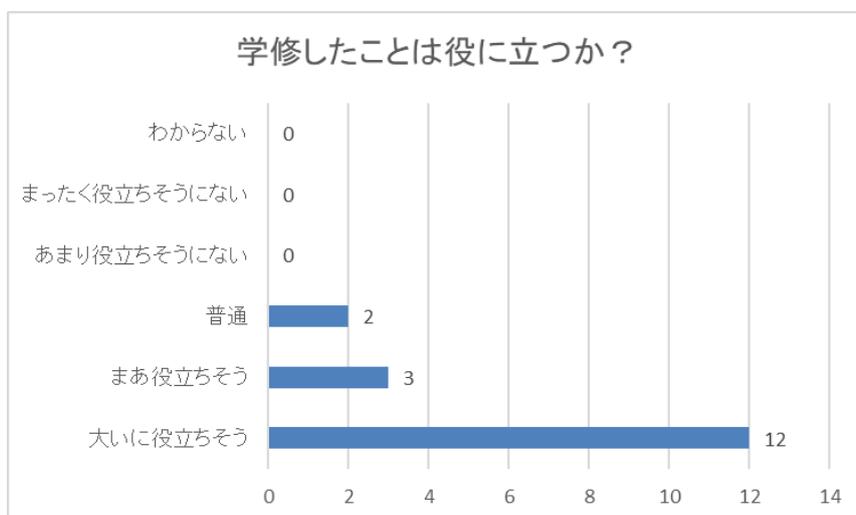
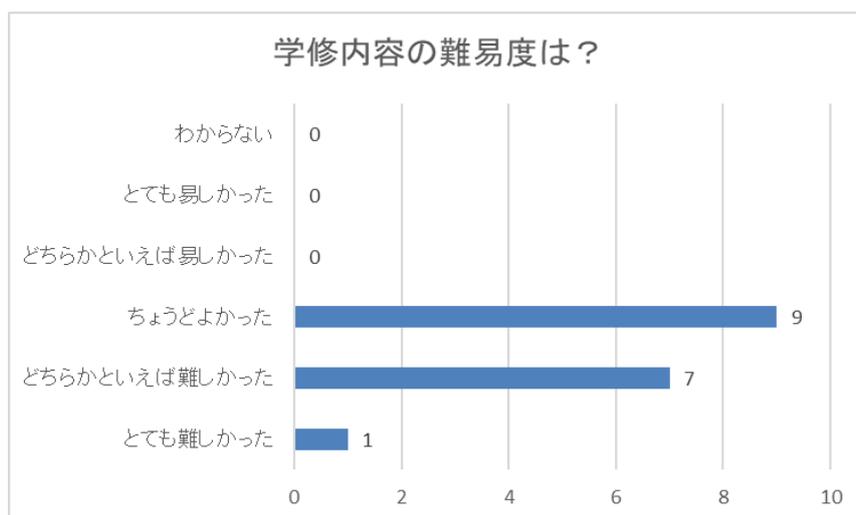
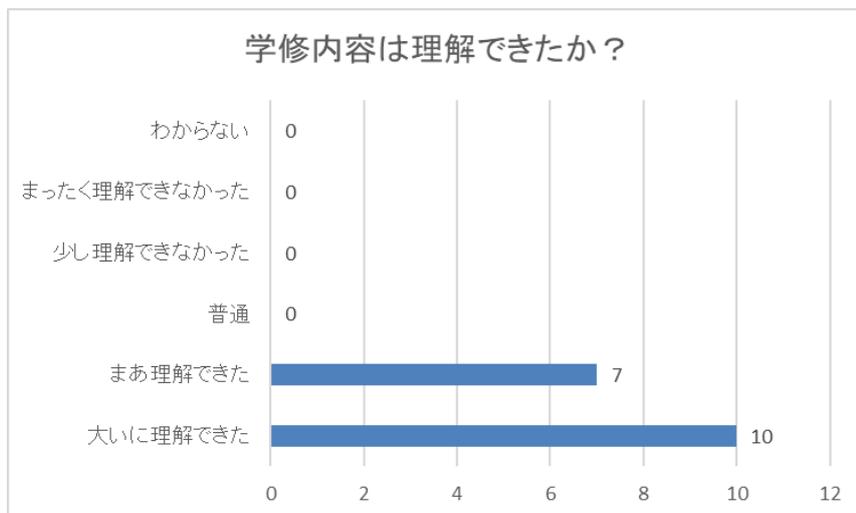
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、大きく変動する場合もあるものの数は少なく、小さく変動していることがわかる。

2021 年 1 月 17 日の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 1 月 14 日（木）である。



曜日別グラフから、A3 リカレント教育—生産性向上に貢献する—の場合は、受講者のアクセス数は、木曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが木曜日にあったからと考えられる。土曜日、金曜日が減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・有意義な時間をありがとうございました。少子高齢化社会の中でのリカレント教育の重要性、必要性がよく理解できました。本校はリカレント教育への取り組みは遅れておりますが、他校に負けずに頑張っていきたいと考えております。今後とも引き続きよろしくお願いたします。

・受講前は漠然としたイメージであったリカレント教育でしたが、講義を通じてその歴史や意義を理解することが出来ました。私の勤務先の専門学校では、社会人学生の割合が圧倒的に高く、普段からリカレント教育を実践していることになります。実際の社会人学生への指導や対応の経験に照らし合わせながら学ぶことで、リカレント教育の重要性を再認識しました。オンライン合同授業での川口先生の解説や参加者の発表を聞くことで、より理解が深まったと感じています。ありがとうございました。

・日本において今後リカレント教育の重要性が、この講義やオンライン授業を通し理解することが出来ました。国内全体の生産性をあげる一助を高等教育が担っていることを認識させられました。ありがとうございました。

・とても楽しい内容でした。今後の専門学校運営（18歳人口減少にともなう次の一手としてです。ただし最後に補填として考えてはいけないとのこと肝に銘じます）にも関わる内容として大いに参考になりました。ありがとうございました。

・日本の人口動態統計に絡み、このリカレント教育は、政府が力を入れています。しかも複数省庁が絡み、日本経済力と日本国力の今後の発展に寄与します。

・少子化・大学全入時代でも選ばれる専門学校としての方向性を確認することができました。ありがとうございました。

・生涯学習社会において求められるリカレント教育について、社会的な背景ならびに世界的な趨勢を踏まえ、高等教育機関における専門学校教育の役割を学ぶことができました。他分野や改めて本務校における職業教育（訓練）の位置づけや役割の知見を深めることができました。ありがとうございました。

・リカレント教育が求められている理由がよく理解できました。ありがとうございました。

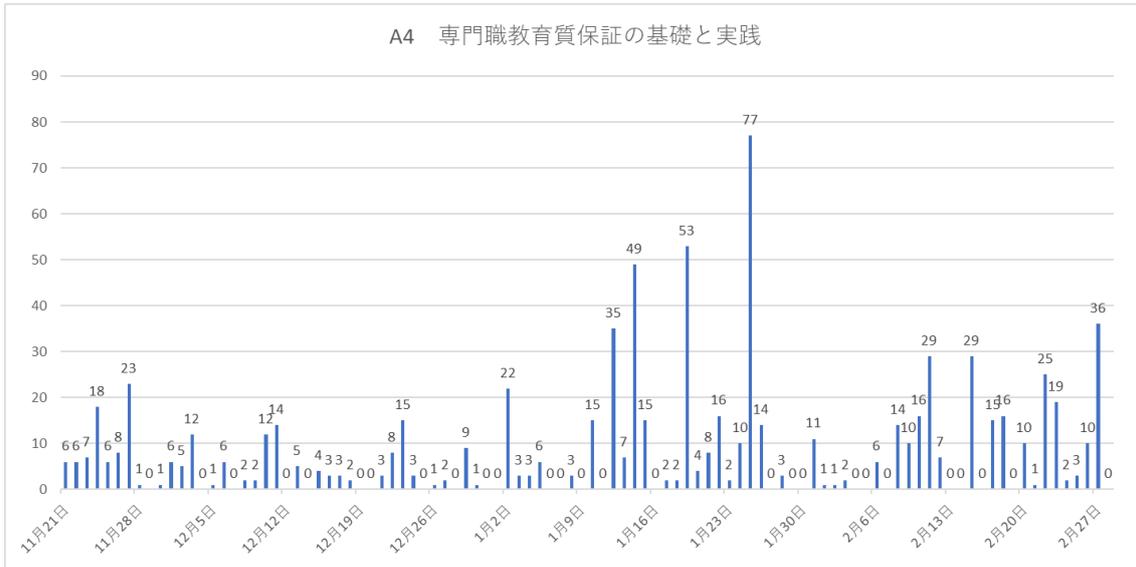
・自身でも社会人向けの市民講座を担当していることから、実体験をベースにして受講することができ、たいへん良い示唆を受けました。

・講義いただきありがとうございました。非常に有意義な時間となりました。

A4 専門職教育質保証の基礎と実践

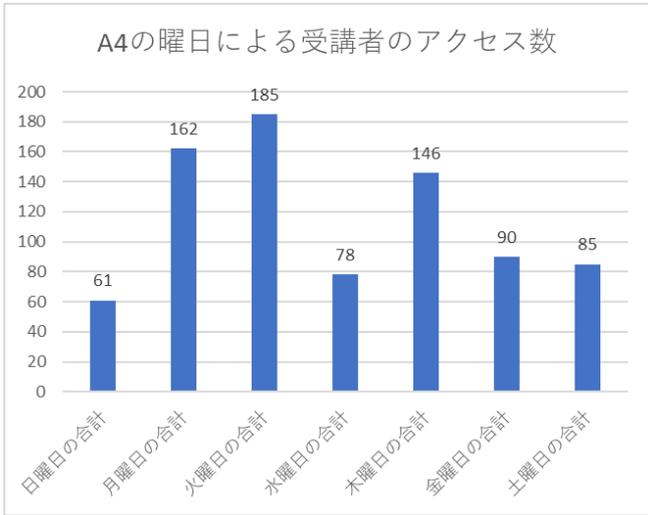


期別終了(期)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	0	99	0	0	31	99	コースログ
2021年02月21日	0	71	0	0	5	71	コースログ
2021年02月14日	0	76	0	0	4	76	コースログ
2021年02月7日	0	14	4	0	2	14	コースログ
2021年01月31日	0	107	0	0	2	107	コースログ
2021年01月24日	0	95	0	0	1	95	コースログ
2021年01月17日	1	113	5	0	0	114	コースログ
2021年01月10日	0	28	1	0	3	28	コースログ
2021年01月3日	0	47	4	0	8	47	コースログ
2020年12月27日	0	77	0	0	55	77	コースログ
2020年12月20日	0	13	0	0	9	13	コースログ
2020年12月13日	0	33	0	0	7	33	コースログ
2020年12月6日	0	33	0	0	3	33	コースログ
2020年11月29日	11	64	0	0	13	75	コースログ
2020年11月22日	0	152	0	7	133	152	コースログ
2020年11月15日	0	2	0	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	0	25	0	0	25	25	コースログ



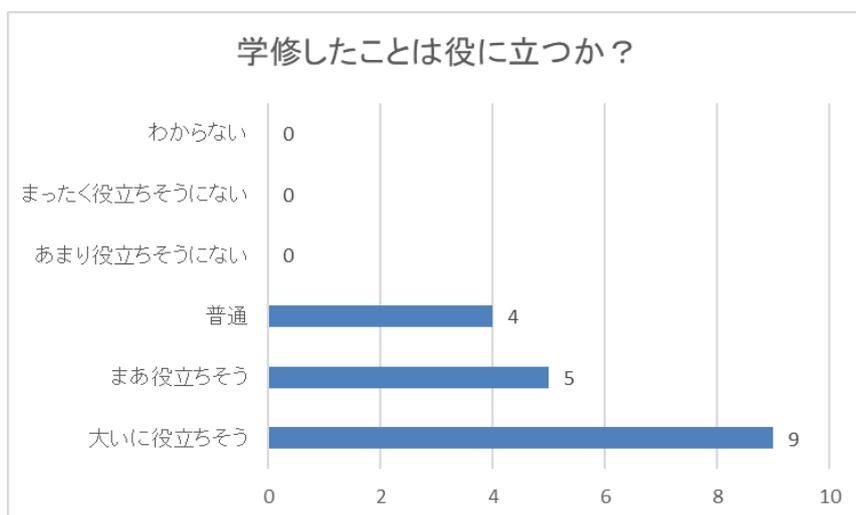
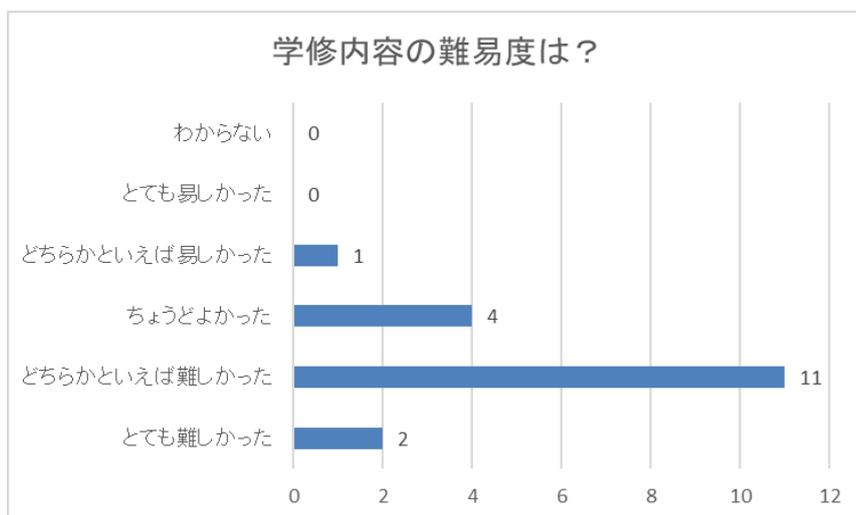
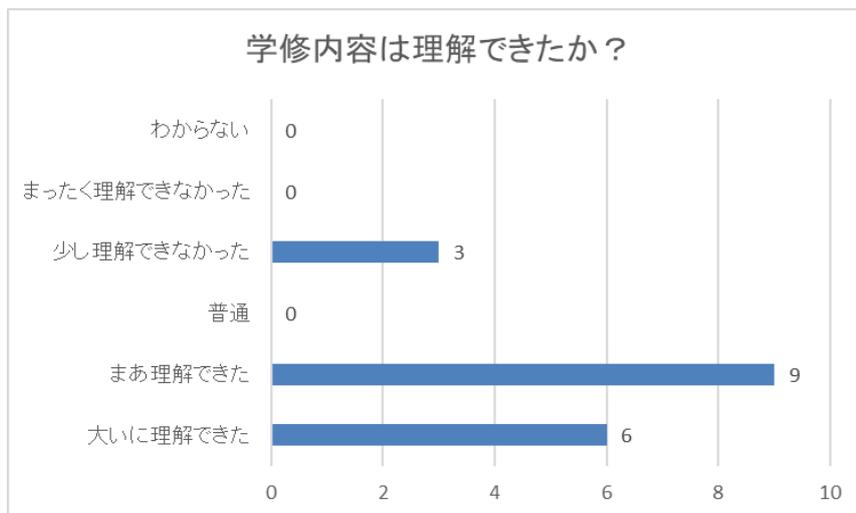
A4 専門職教育質保証の基礎と実践の真の受講者の全アクセス数は、807 件である。受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、大きく変動していることがわかる。

2021 年 1 月 17 日の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクリーング当日 1 月 14 日（木）、49 名である。しかし、アクセス数が最大なのは、1 月 25 日（月）、77 件、その次に、1 月 19 日（火）、53 件であり、1 月 14 日（木）は、3 番目である。



曜日別グラフから、A4 専門職教育質保証の基礎と実践の場合、オンラインスクリーングがあった木曜日でも 146 件と 3 番目に多いが、受講者のアクセス数が最大なのは火曜日、185 件、2 番目は月曜日、162 件である。水曜日、日曜日が減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・貴重な機会をありがとうございました。今後の学校運営に生かしていきたいと考えております。引き続きよろしく願いいたします。

・高等教育における質保証に必要とされる評価について、自分のなかで曖昧だった「アクレディテーション（認証）」・「オーディット（監査）」・「アセスメント」といった用語の意味が分かり、参考になりました。ありがとうございました。私が勤務する専門学校でも自己評価や学校関係者評価を導入していますが、これらの内部質保証の意義やあり方について、改めて確認してみようと思いました。

・専門職教育質保証の基礎と実践について私にとって非常に難しい内容ではございましたが、オンデマンド授業やオンライン授業を通じ丁寧にご教授いただきありがとうございました。

・社会の構造変化や、それに伴う高等教育機関の役割など（個々の単語や定義は難しかったですが）、話は楽しく、よく理解できました。ありがとうございました。

・レポートを書いているも自分のものになっていない感覚が残った。大きな枠組みの概念であるように感じる為、今後自分の身近な話題に引き寄せ、振り返っておきたいと感じる。

・大学における質保証の動向ならびに高等教育機関において求められる学修成果・教育成果について深く学ぶことができました。高等教育機関とされるようになった専門学校において、今後の社会的なニーズならびにキャリア支援を教育プログラムを通じ、可視化していくことが如何に重要であるかを再認識できました。ありがとうございました。

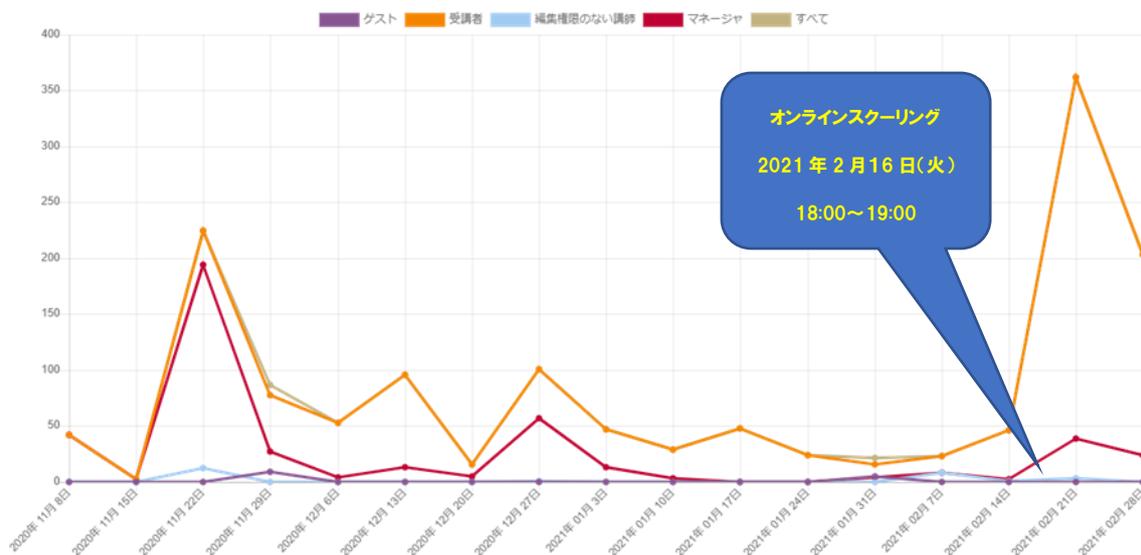
・現在求められている能力観、質保証が求められている理由がよく理解できました。ありがとうございました。

・質の最も重要なものは、学習成果ということに共感しました。日頃、いろいろなことに取り組んでいると、学生のために何をしているかということが後回しになりがちです。それを再確認できたことがよかったです。

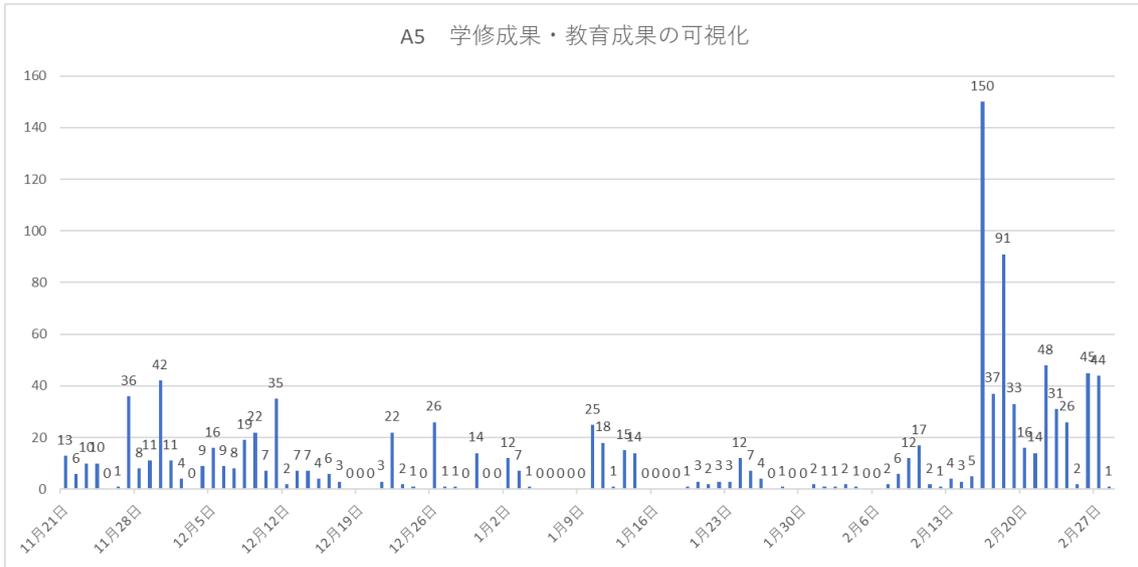
・講義いただきありがとうございました。非常に有意義な時間となりました。

・歳のせいかカタカナに弱く、日本語の変換で理解をするように努めました。教育関係については、英語圏での研究が高度なのかと理解しました。ご指導ありがとうございました。

A5 学修成果・教育成果の可視化

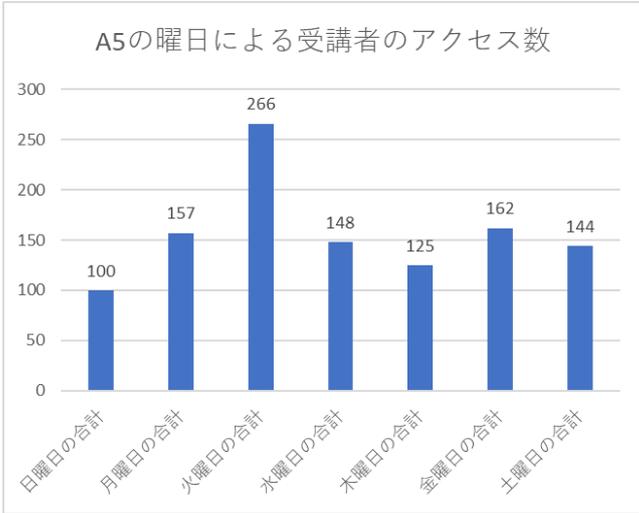


期間終了(期)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	0	203	0	24	203	コースログ
2021年02月21日	0	362	3	39	362	コースログ
2021年02月14日	0	46	1	2	46	コースログ
2021年02月7日	0	23	8	8	23	コースログ
2021年01月31日	5	16	0	4	21	コースログ
2021年01月24日	0	24	0	0	24	コースログ
2021年01月17日	0	48	0	0	48	コースログ
2021年01月10日	0	29	0	3	29	コースログ
2021年01月3日	0	47	0	13	47	コースログ
2020年12月27日	0	101	1	57	101	コースログ
2020年12月20日	0	16	0	5	16	コースログ
2020年12月13日	0	96	0	13	96	コースログ
2020年12月6日	0	53	0	4	53	コースログ
2020年11月29日	9	78	0	27	87	コースログ
2020年11月22日	0	225	12	194	225	コースログ
2020年11月15日	0	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	0	42	0	42	42	コースログ



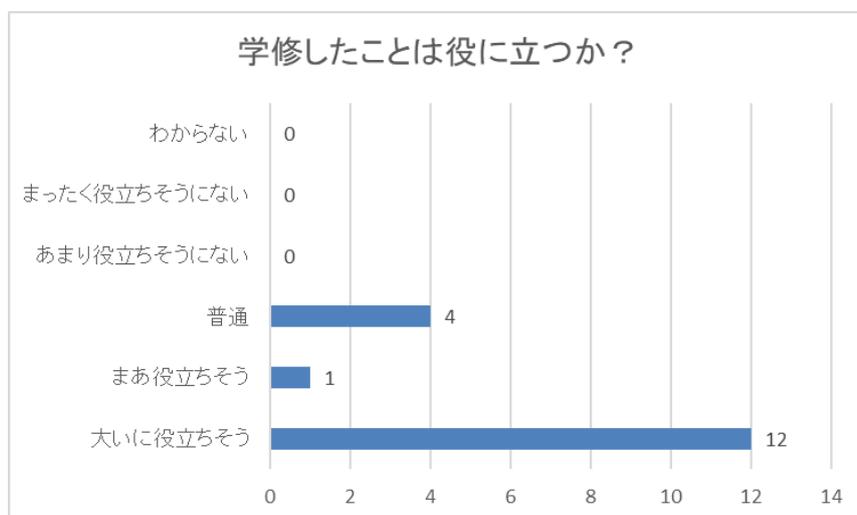
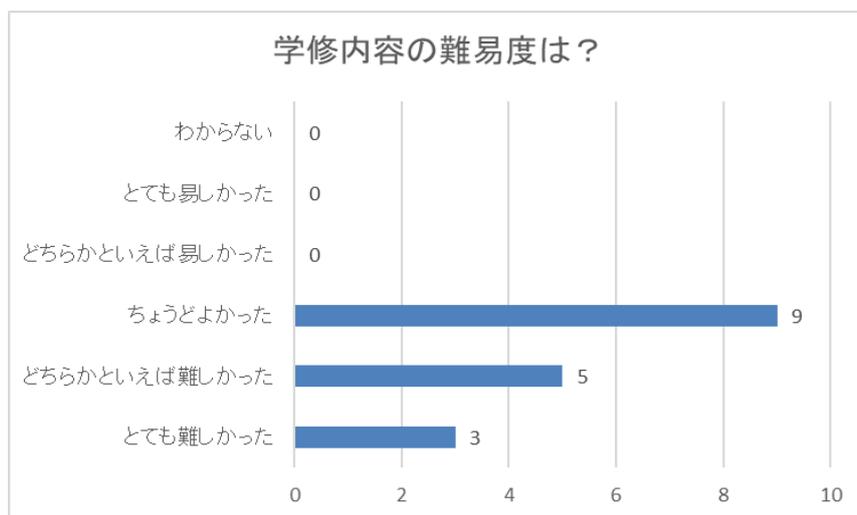
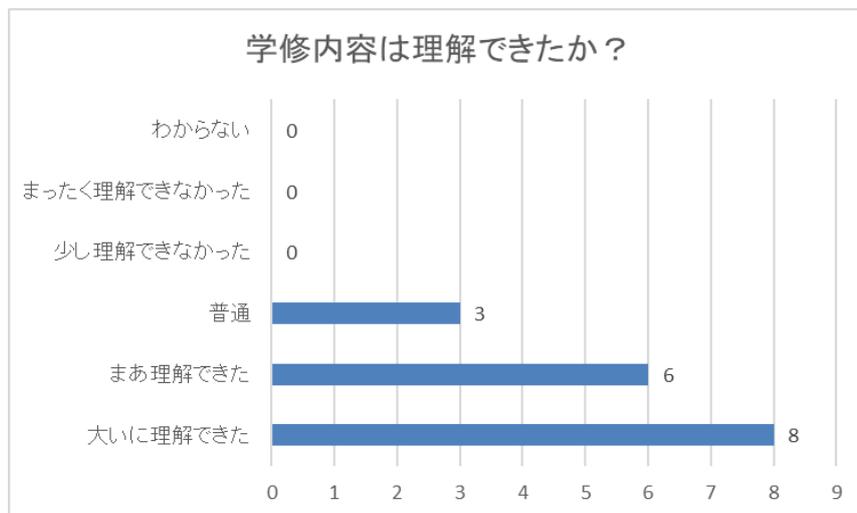
A5 学修成果・教育成果の可視化の真の受講者の全アクセス数は、1102 件である。
 受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合が多くあり、細かく変動していることがわかる。

2021 年 2 月 21 日の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクリーニング当日 2 月 16 日（火）、150 件である。



曜日別グラフから、A5 学修成果・教育成果の可視化の場合は、受講者のアクセス数は、火曜日が多い。これは、オンラインスクリーニングが火曜日にあったからと考えられる。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・可視化のエビデンスとして様々な方法があることは以前から認識していたが、実際に導入するとなると数々の困難がある。しかしながら今後の学校運営、生き残りのためには客観的な指標が必須と判断される。今回の講義で学修した成果を活かしていきたいと考える。長期にわたりご指導ありがとうございました。

・現在の高等教育に求められている学修成果・教育成果の可視化についての必要性やどのように行っていくのかなど分かり易くご講義いただきましてありがとうございました。今後の実践に繋げていきたいと思えます。

・本校においても学生の学習成果を各学科でどのように可視化していくのかを明確にするのが課題となっている。そのため来年度からは早めのカリキュラム作成や学生の学習成果を短い期間で区切りながら可視化していく取り組みを進める予定である。

・可視化の必要性に関して、社会的な変化をわかりやすく説明していただきありがとうございました。私にとってはアセスメント（の概念）の理解が鬼門で、まだまだ学習が必要だとおもっております。今回は本当にありがとうございました。"

・他の講座で3つのポリシーの重要性などを学んだ後であったため、本講義の内容は理解しやすかったです。本講義では、アセスメントの方法についての理論や方法を学ぶことができ、普段の授業評価の参考になると感じました。個人的な質問への回答も、オンライン授業で行っていただけ改めて感謝しております。ありがとうございました。

・現在求められている能力観、学修成果・教育成果の可視化が求められている理由がよく理解できました。

・学修成果と教育成果の捉え方の違いについて、高等教育への社会のニーズなども背景に、教育内容の質保証に関する知識が深まりました。特に他の専門学校の方からのお話もとても参考になりました。ありがとうございました。

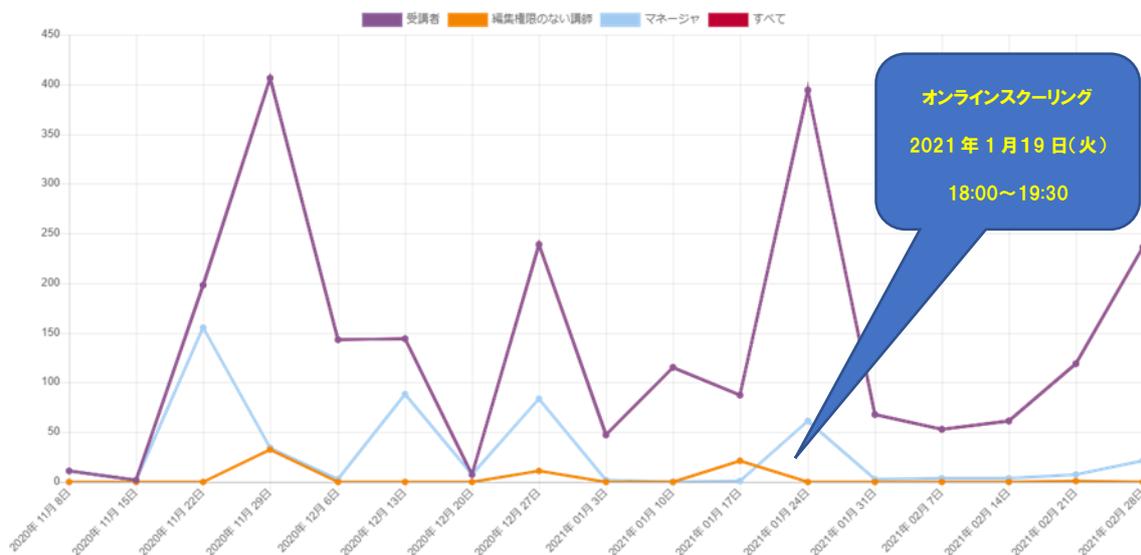
・講義を受けて、本学では比較的積極的に取り組んでいる状況が確認できたと思います。さらに、充実させたいです。

・介護福祉分野でも学修者のプロフィールを整理し、学修成果指標の作成ができると、社会に対して一層の魅力のアピールにつながると感じました。本校でも試行して、教員間の学生指導の指標にもしたいと感じています。ありがとうございました。

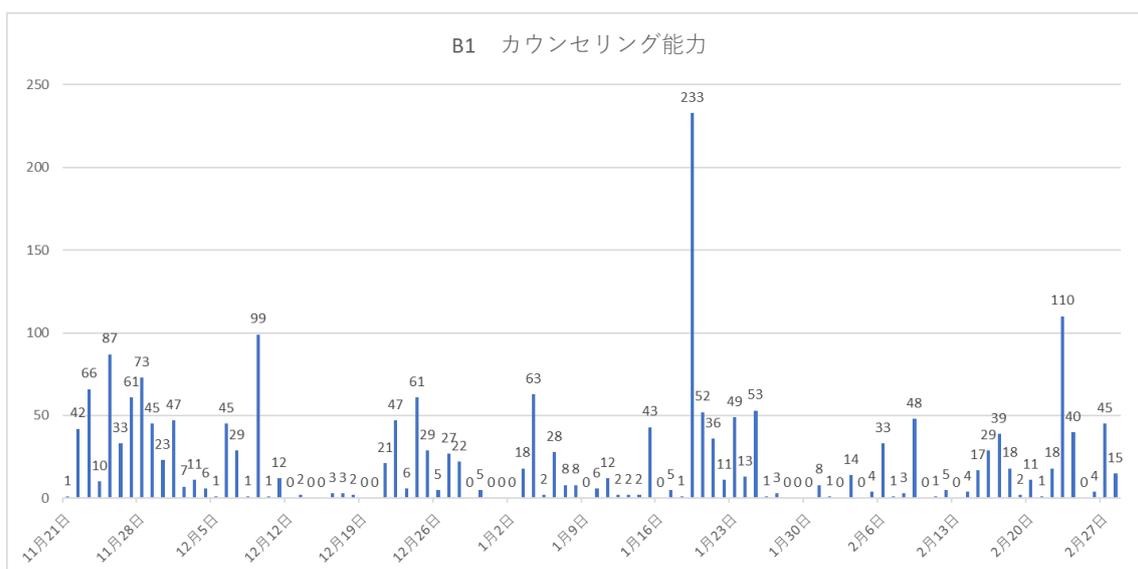
・学科と学校の相互関係を考えるきっかけとなりました。川口 昭彦先生、野田 文香先生ご指導誠にありがとうございました。

・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びとなりました。"

B1 カウンセリング能力



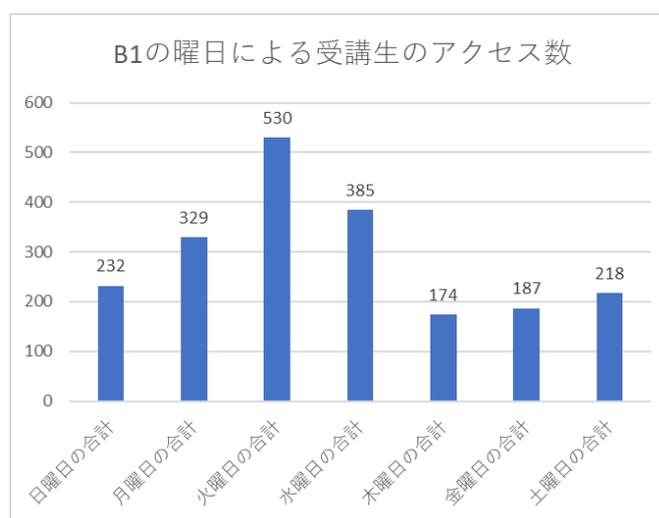
期間終了(週)	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	236	0	21	236	コースログ
2021年02月21日	119	1	7	119	コースログ
2021年02月14日	61	0	4	61	コースログ
2021年02月7日	53	0	4	53	コースログ
2021年01月31日	68	0	3	68	コースログ
2021年01月24日	394	0	61	394	コースログ
2021年01月17日	87	21	1	87	コースログ
2021年01月10日	115	0	0	115	コースログ
2021年01月3日	47	0	2	47	コースログ
2020年12月27日	239	11	84	239	コースログ
2020年12月20日	7	0	7	7	コースログ
2020年12月13日	144	0	88	144	コースログ
2020年12月6日	143	0	3	143	コースログ
2020年11月29日	406	32	34	406	コースログ
2020年11月22日	198	0	155	198	コースログ
2020年11月15日	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	11	0	11	11	コースログ



B1 カウンセリング能力の真の受講者の全アクセス数は、2055 件である。

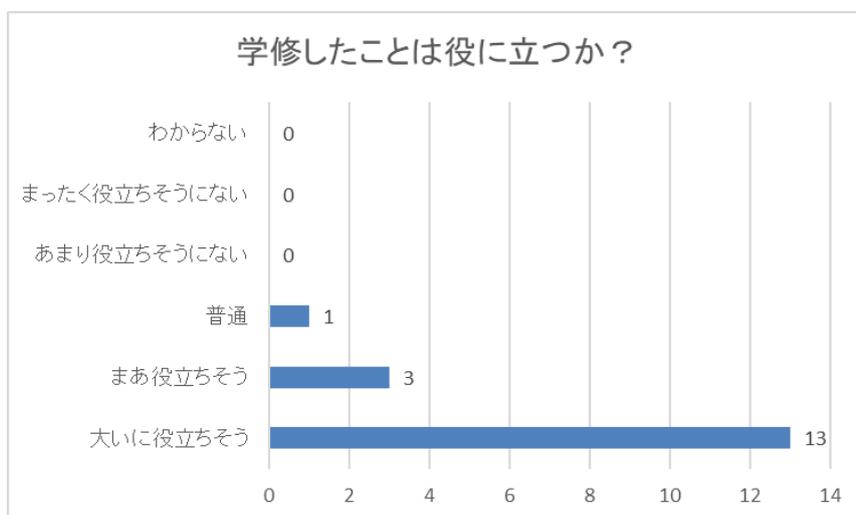
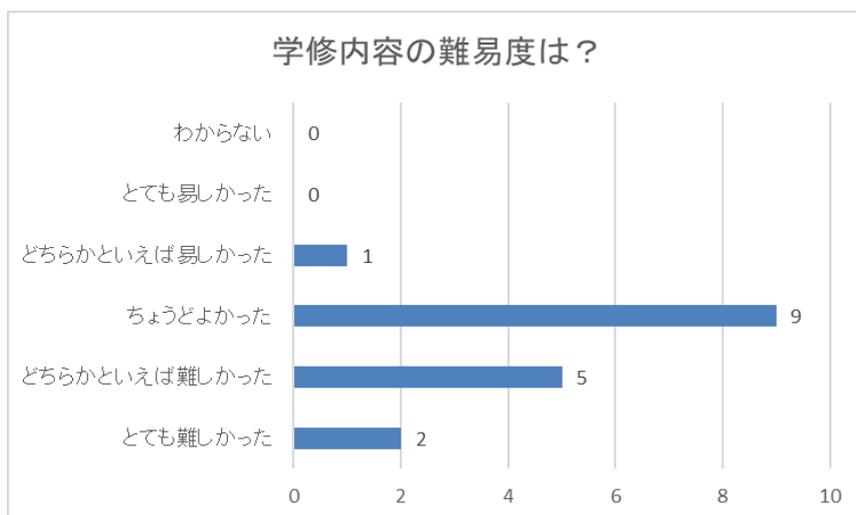
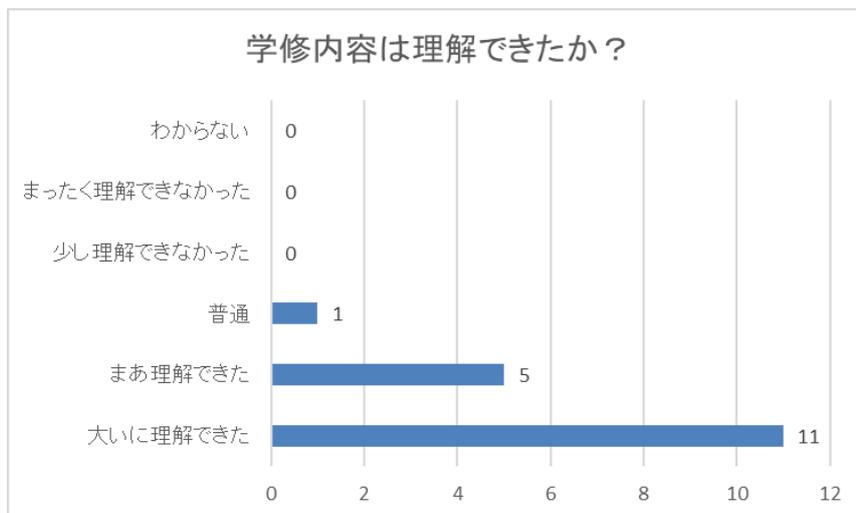
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、大きく変動していることがわかる。

2021 年 1 月 24 日の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクリーニング当日 1 月 19 日（火）、233 件である。



曜日別グラフから、B1 カウンセリング能力の場合は、受講者のアクセス数は、火曜日が多い。これは、オンラインスクリーニングが火曜日にあったからと考えられる。金曜日、木曜日が特に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・いつもありがとうございます。日々の学校業務の中で学生、保護者への対応が一番難しいと感じております。カウンセリングの基礎から再確認できたことを今後の業務にいかしていければと思います。本当にありがとうございました。

・カウンセリング能力という非常に教員の能力として重要なものを大変分かり易くご講義いただきましてありがとうございました。今後の学生指導に生かしていきたいと思います。

・今までの自分の面談の仕方を見直すきっかけになりました。カウンセリングと聞くと、どうも怪しい（失礼）印象がありましたが、考えを改めていきたいです。現在当校のスクールカウンセラーは、本人が考えることが重要で問題解決はその結果であるというような感じで、よく学生と話をしております。我々は問題解決にすぐ結果を求めてしまいますが、少し長い目でみていかないといけないと思うようになりました。

・多くの学生と面談をするなかで、自分なりに経験値は高めてきたつもりでいたが、この講義を受けてカウンセリングの難しさを再認識することができました。回数が多かったですが、基本的なカウンセリングの知識を動画で学べました。そして、オンライン授業での実際の大野先生の経験例を聞いたことも、とても参考になりました。今後の学生面談のために役立てたいと思います。ありがとうございました。

・聞くことへのこだわりを大事にせねばならないと感じました。

・教育活動の生命線ともいえる、教育心理を深く掘り下げた内容と思います。学生指導に一番大切なところですね。大野精一先生！ありがとうございました。

・自分の教員時代の経験を省察することができました。これからの教員生活に役に立つと思います。ありがとうございました。

・勤務校では、カウンセリング業務にあたることはないのですが、本講義の内容は、通常の授業や生徒とのコミュニケーションにおいて意識をしていく多くのことを学ぶことができました。カウンセリングマインドを持ちながら専門職としての役割をどのように果たしていくか、改めて考えることができました。ありがとうございました。

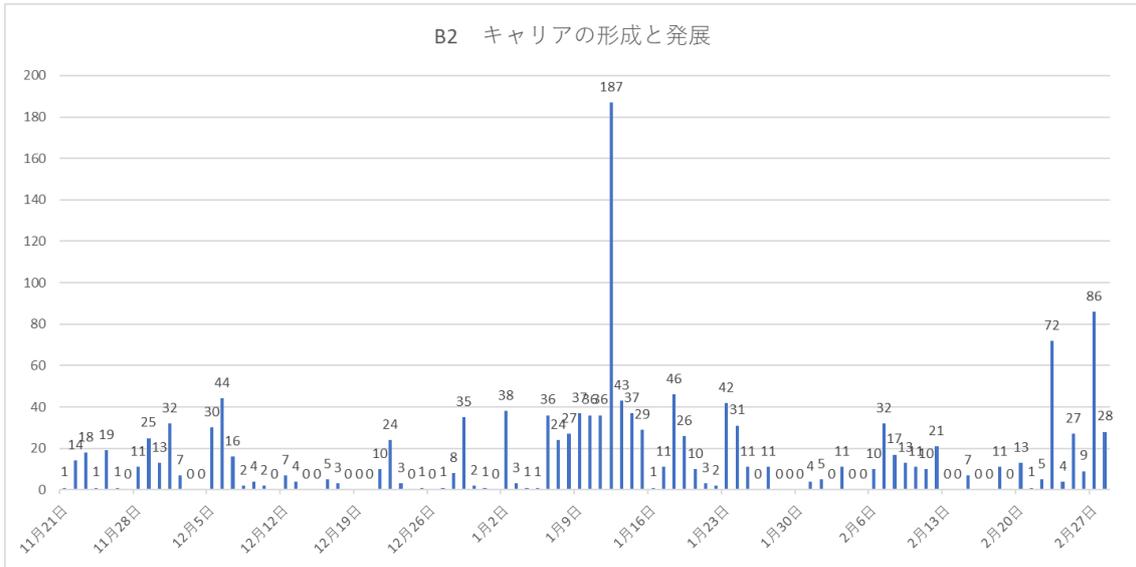
・講義全体を楽しく拝聴することができました。ライブ感のあるお話だったと思います。
ありがとうございました。

・講義いただきありがとうございました。大変勉強になりました。"

B2 キャリアの形成と発展

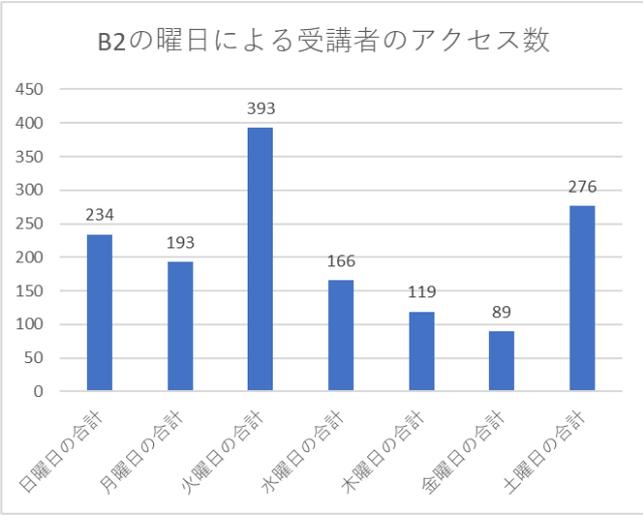


期間終了(期)	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	239	0	34	239	コースログ
2021年02月21日	32	0	10	32	コースログ
2021年02月14日	72	0	23	72	コースログ
2021年02月7日	58	0	11	58	コースログ
2021年01月31日	28	0	2	28	コースログ
2021年01月24日	160	0	0	160	コースログ
2021年01月17日	361	2	29	361	コースログ
2021年01月10日	179	8	68	179	コースログ
2021年01月3日	89	0	2	89	コースログ
2020年12月27日	77	0	63	77	コースログ
2020年12月20日	3	0	3	3	コースログ
2020年12月13日	35	0	2	35	コースログ
2020年12月6日	128	0	14	128	コースログ
2020年11月29日	75	0	31	75	コースログ
2020年11月22日	172	2	155	172	コースログ
2020年11月15日	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	13	0	13	13	コースログ



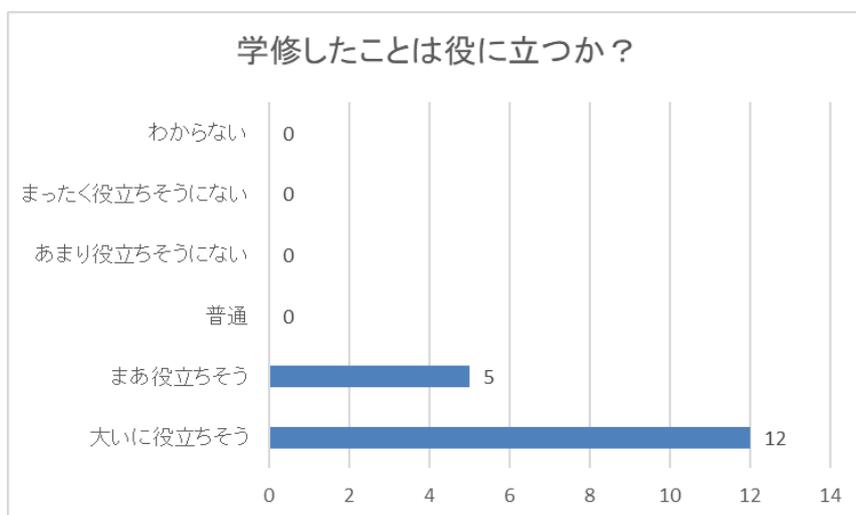
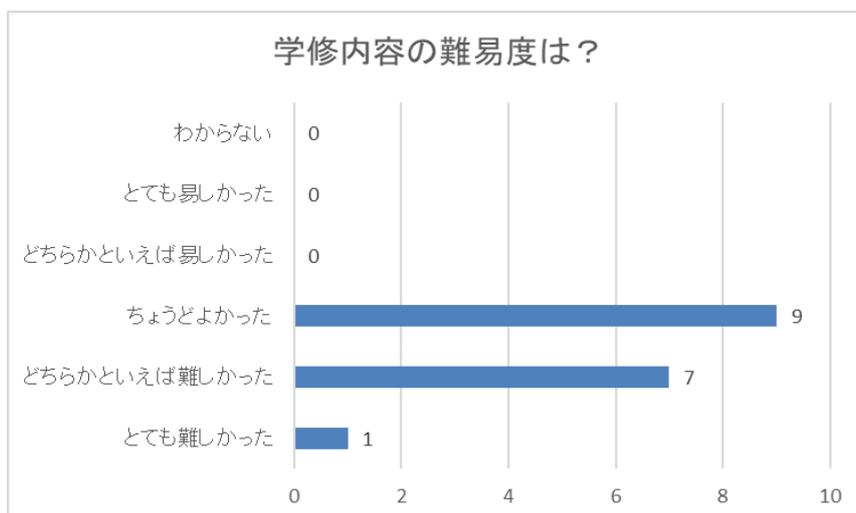
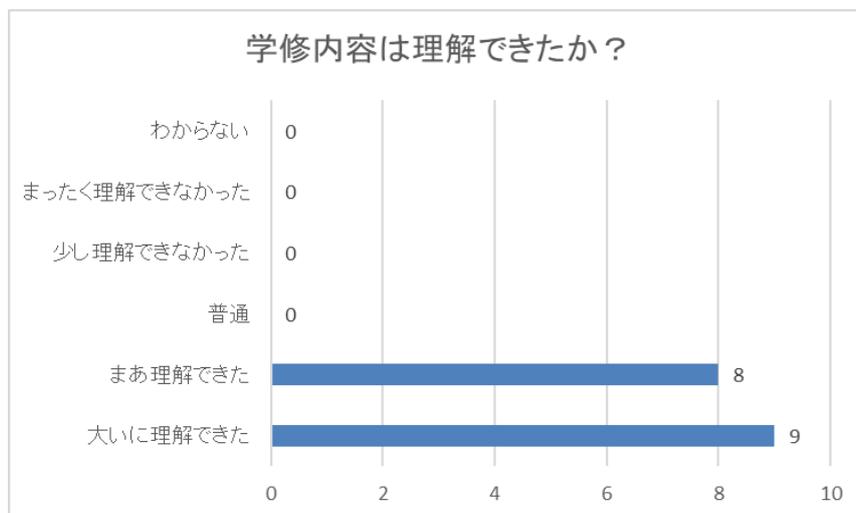
B2 キャリアの形成と発展の真の受講者の全アクセス数は、1470 件である。
 受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、大きく変動していることがわかる。

2021 年 1 月 17 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 1 月 12 日（火）、187 件である。



曜日別グラフから、B2 キャリアの形成と発展の場合は、受講者のアクセス数は、火曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが火曜日にあったからと考えられる。木曜日、金曜日が極端に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・単なる職歴という意味でのキャリアではなく、より個人の人生とつながる本質的な意味でのキャリアの概念を学ぶことができました。ありがとうございました。課題レポートの作成を通じながら、これまでの自分の半生を振り返る良い契機となったように感じています。教員としての今後のキャリア形成にとって何が必要なのか、すぐに明確かつ具体的な答えは出ないと思いますが、ここで学んだことを忘れず意識していきたいです。

・私は教育に関する専門の教育を受けておりませんでしたので、(教職課程も履修していませんでした)曖昧だった言葉の意味が定義されてよくわかりました。ただ、概念的なことはまだ完全に理解できていませんので、提示されていました参考図書を読みたいと思います。ありがとうございました。

・専門学校で教員として資質・能力向上のために何が求められることかが大変よくわかりました。今後も研鑽していきたいです。ご講義いただきありがとうございました。

・いつもありがとうございます。専門学校は出口(就職先)が一番大切であると思います。キャリアの形成の講義で学んだことを今後の学生指導にいかしていければと考えております。引き続きよろしく願いいたします。"

・いままで考えていなかった事項を勉強させて頂いており、大野先生、三輪先生の授業の回し方は素晴らしいと思います。

・教員としての基盤の脆弱さへの不安から脱却するきっかけをいただきました。ありがとうございました。

・自分のキャリアをふりかえると同時に、教師の専門性についてあらためて考察することができました。ありがとうございました。

・「臨機応変」というのはもともと好きな言葉です。この講義では「複雑であいまいな沼地」という表現が気に入りました。

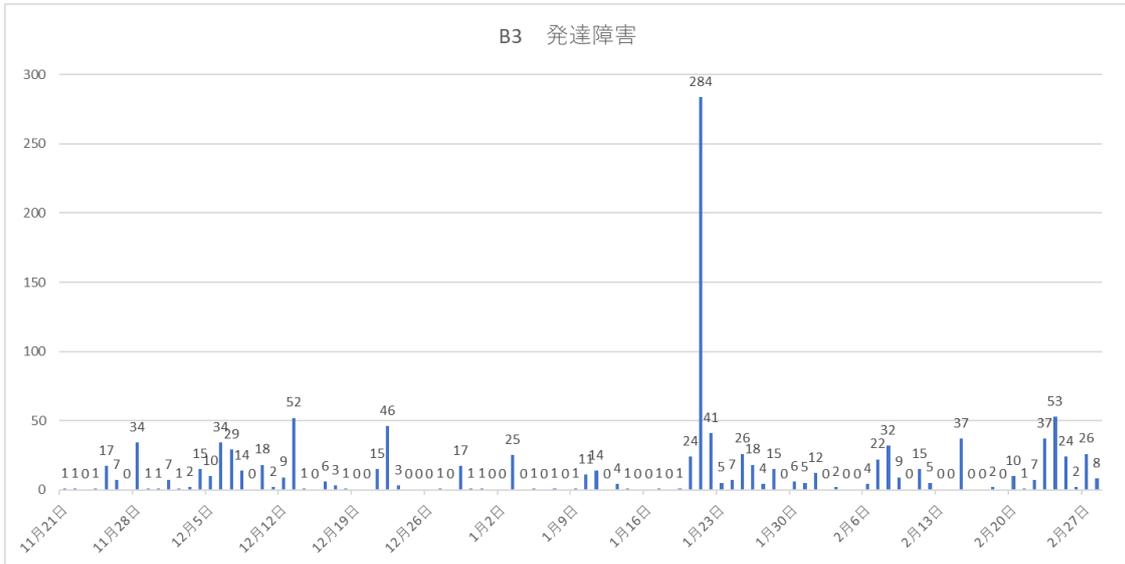
・教育実践者としての資質・能力を客観的・俯瞰的にとらえ直す必要性を学ぶことができました。そのための省察が常に必要であり、その作業を通じ、幾ばくかでも今後の授業改善につなげていきたいです。ありがとうございました。

・講義いただきありがとうございました。キャリア形成について整理することができました。

B3 発達障害



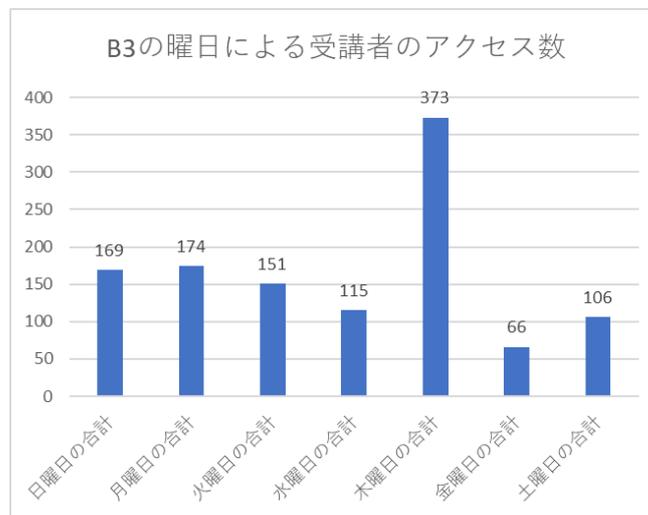
期間終了(期)	受講者	編集権限のない講師	講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	161	0	0	22	161	コースログ
2021年02月21日	51	0	0	7	51	コースログ
2021年02月14日	61	0	0	4	61	コースログ
2021年02月7日	52	12	0	2	52	コースログ
2021年01月31日	76	0	0	2	76	コースログ
2021年01月24日	362	0	0	32	362	コースログ
2021年01月17日	27	6	0	1	27	コースログ
2021年01月10日	14	0	0	0	14	コースログ
2021年01月3日	46	0	0	2	46	コースログ
2020年12月27日	110	14	0	55	110	コースログ
2020年12月20日	5	0	0	3	5	コースログ
2020年12月13日	124	0	0	1	124	コースログ
2020年12月6日	72	0	0	2	72	コースログ
2020年11月29日	60	4	0	34	60	コースログ
2020年11月22日	116	0	1	113	116	コースログ
2020年11月15日	2	0	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	10	0	0	10	10	コースログ



B3 発達障害の真の受講者の全アクセス数は、1154 件である。

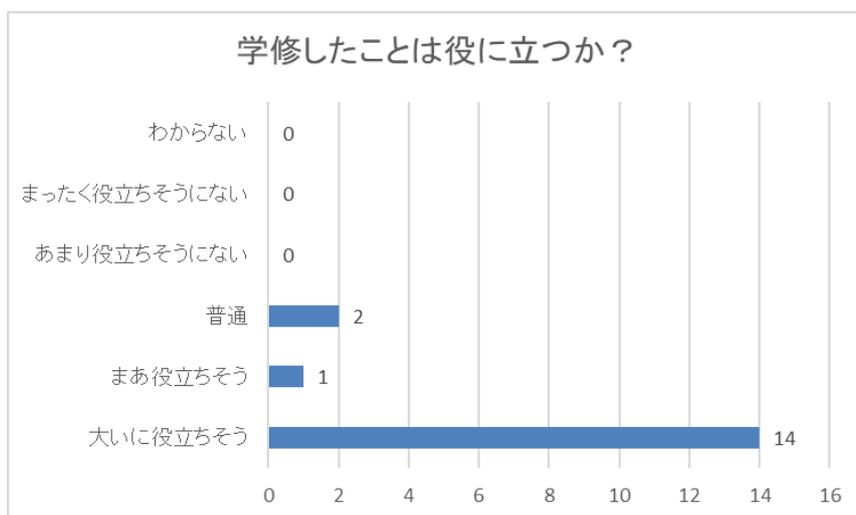
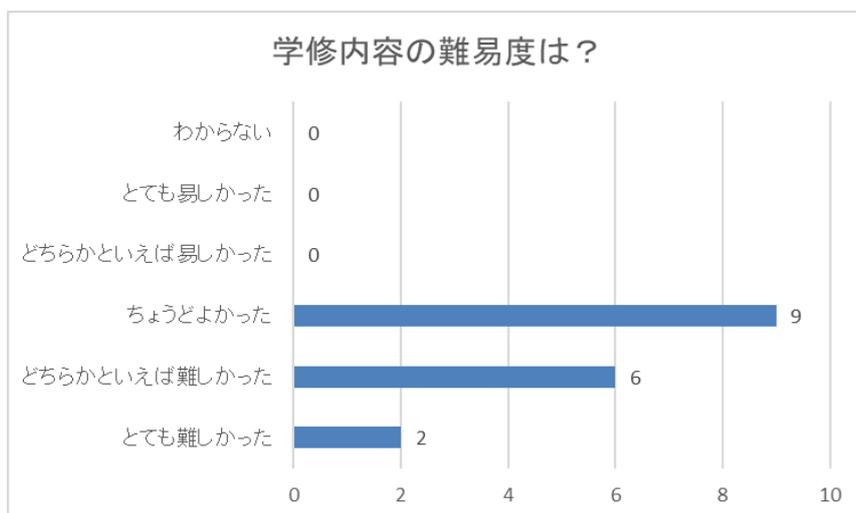
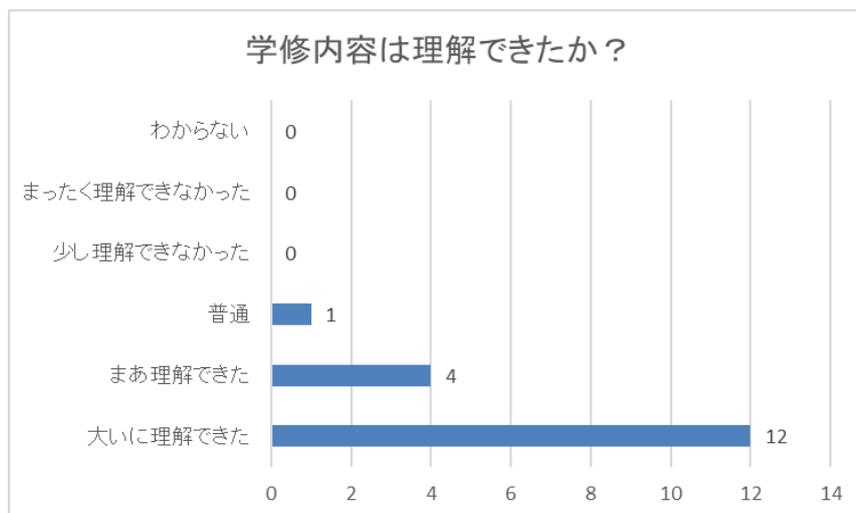
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合が多く、多少変動するが、極端に変動するところは少ない。

2021 年 1 月 24 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 1 月 21 日（木）、284 件である。



曜日別グラフから、B3 発達障害の場合は、受講者のアクセス数は、木曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが木曜日にあったからと考えられる。金曜日が極端に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・貴重な時間をありがとうございました。発達障害の学生数は年々増加しているように感じられます。大学と異なり筆記試験などで選別しているわけではありませんので、同じクラス内に発達障害を持つ学生とそうでない学生が混在している現状、どのようにクラス運営すべきか？日々悩んでいる状況です。本日の研修内容を踏まえて今後も対応していきたいと思えます。

・現在教育現場で起こっている発達障害に関する問題や悩みなどを非常に分かり易くご講義いただき、そしてオンライン授業を通じ解決もさせていただき非常に良かったです。ありがとうございました。

・今回の講座は発達障害の知識の端緒だと思いますが、学習できてよかったです。またオンデマンド授業もよかったです。リアルタイム授業の方がより理解が深まりました。今後は発達障害を持って入学する学生も増えると思いますが、今回の講義をもとに対応していきたいと思えます。ありがとうございました。

・発達障害と診断されている学生たちより、グレーの学生が増えてきている中で、教師の学生への関わり方の難しさを感じていた。今回の講義でそのような学生にどう対応していけばよいのかを本校の教師たちにも広めていけたらと思う。

・日々の学指導にあたり、一部の学生に発達障害の可能性を感じるがありますが、本講義を通じて発達障害の特徴や対応への注意点を学ぶことができ、とても参考になりました。4つの認知特性のバランスを指標とするなど、学生の行動観察の指標に役立つ知識が得られましたので、合理的配慮も踏まえつつ、今後の学生指導に応用させたいと思えます。対面の質疑応答も含め、分かりやすい講義でした。ありがとうございました。"

・専門職としての教員なので、教職課程を取っていません。この発達障害はとても役に立っております。専門職教員としても一番必要な学修かと思えます。岩澤一美先生 大変ありがとうございました。"

・発達障害のある学生についての指導について、振り返ることができました。ありがとうございました。

・短い授業時間にもかかわらず、様々な障害の特徴と合理的配慮について要点を教えていた

だき、私は教員としての経験を省察することができました。ありがとうございました。

- ・本学では、このようなケースが多く、重要なテーマのひとつであると考えました。

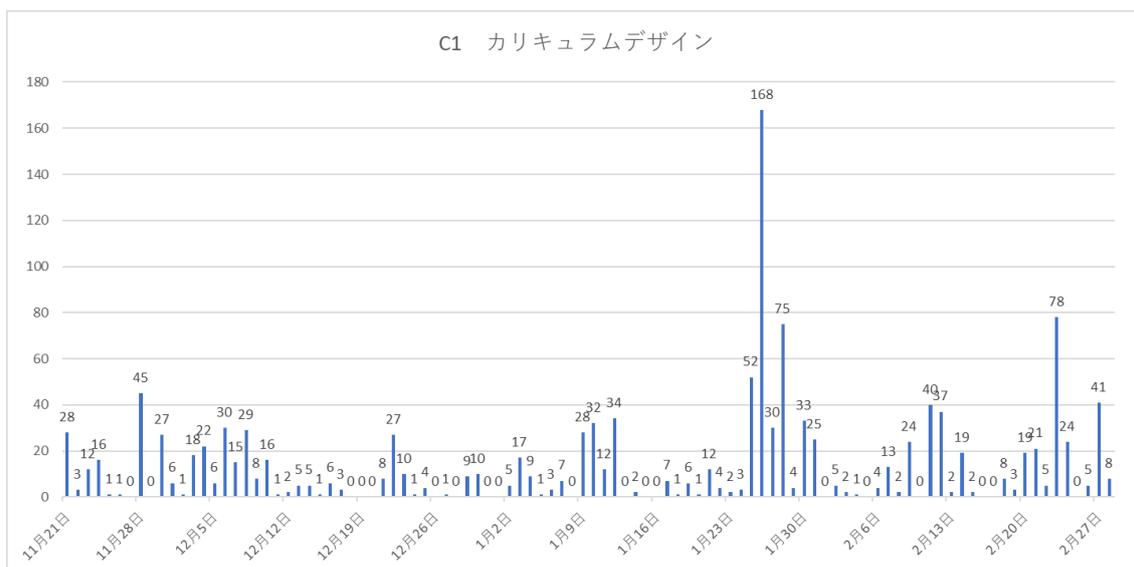
- ・発達障害についての基礎的な理解とともに、様々な生徒たちの個性やニーズに教育を提供する際に留意すべき知見を多く学ぶことができました。今後も多様化というキーワードとともに、生徒たちの良い面をより引き出すという視点からも、合理的配慮の在り方を考えていこうと思います。ありがとうございました。

- ・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

C1 カリキュラムデザイン



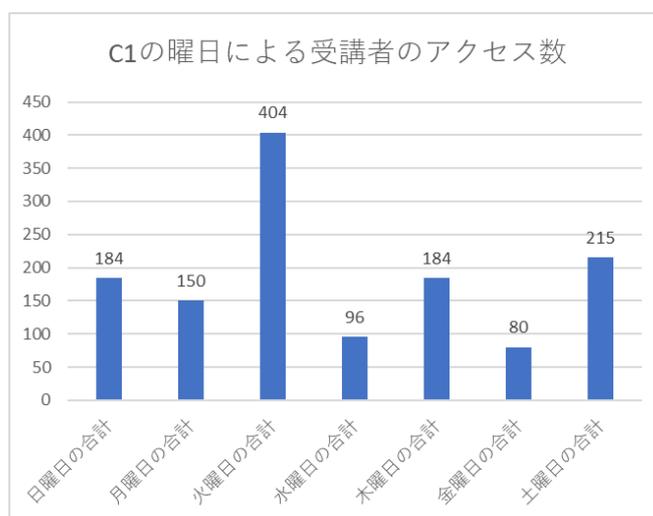
期間終了(週)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	0	163	0	0	22	163	コースログ
2021年02月21日	0	54	0	0	7	54	コースログ
2021年02月14日	0	124	0	0	4	124	コースログ
2021年02月7日	0	65	29	0	13	65	コースログ
2021年01月31日	1	406	23	0	19	407	コースログ
2021年01月24日	0	41	12	0	0	41	コースログ
2021年01月17日	0	58	7	0	3	58	コースログ
2021年01月10日	0	80	0	0	0	80	コースログ
2021年01月3日	0	43	0	0	2	43	コースログ
2020年12月27日	0	108	0	0	72	108	コースログ
2020年12月20日	0	15	0	0	9	15	コースログ
2020年12月13日	0	75	0	0	5	75	コースログ
2020年12月6日	0	112	0	0	2	112	コースログ
2020年11月29日	1	110	36	0	24	111	コースログ
2020年11月22日	0	270	15	2	222	270	コースログ
2020年11月15日	0	2	0	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	0	11	0	0	11	11	コースログ



C1 カリキュラムデザインの真の受講者の全アクセス数は、1313 件である。

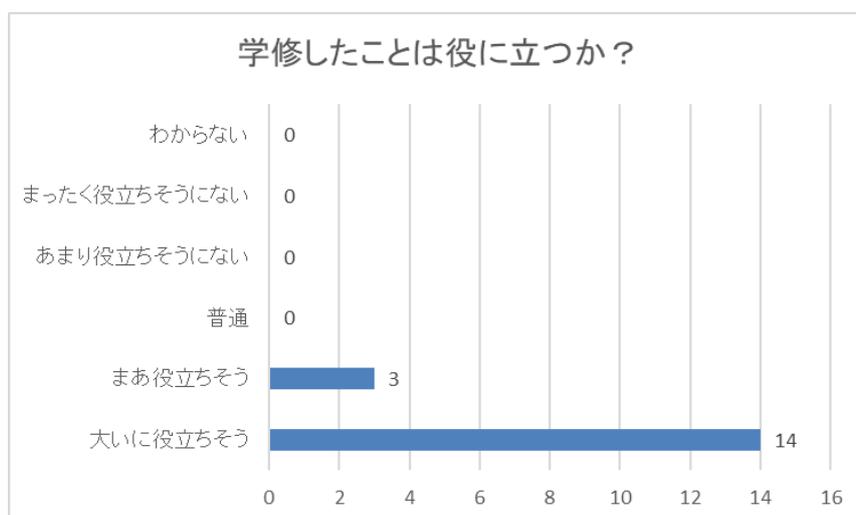
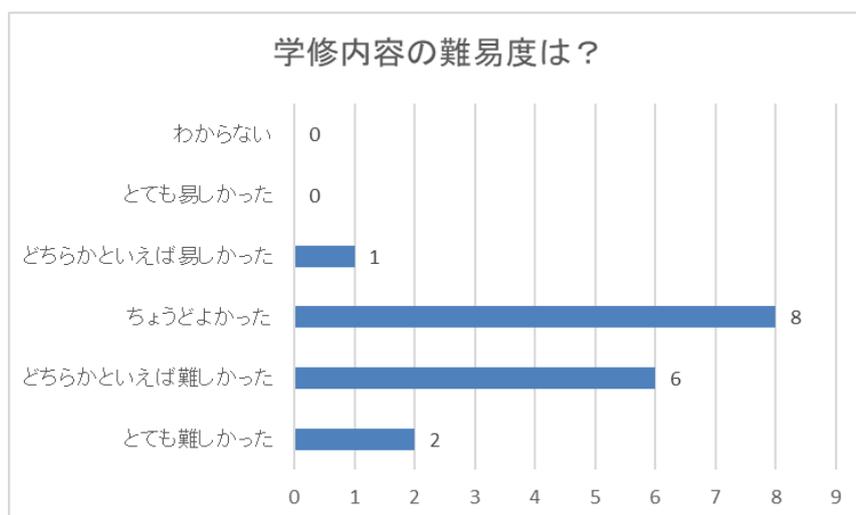
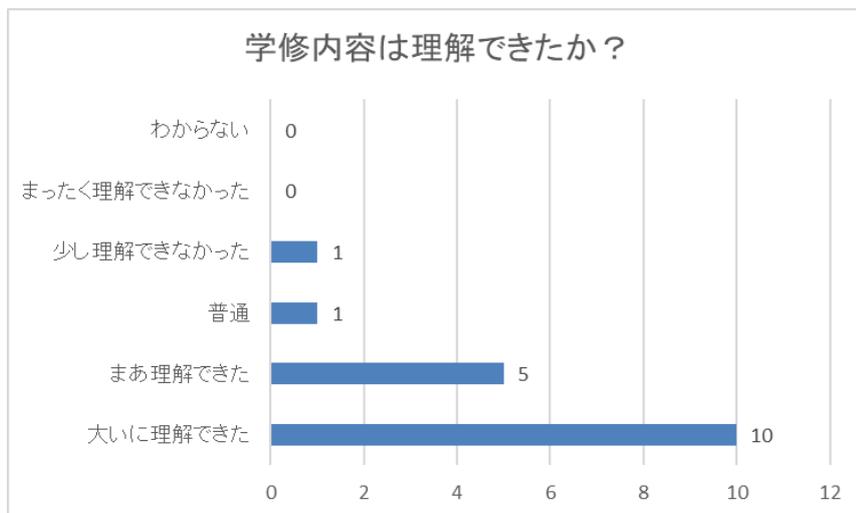
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、多少変動している。

2021 年 1 月 31 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 1 月 26 日（火）、168 件である。



曜日別グラフから、C1 カリキュラムデザインの場合は、受講者のアクセス数は、火曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが火曜日にあったからと考えられる。水曜日、金曜日が極端に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・授業デザインを考えていく中で、自分に合った方法で、学生の「学ぶ力」を身に付けさせる学習方法を今後も自分自身が学び続けていきたいと思える講義でした。

・まさに今現在の授業に直結する内容のご講義でした。さらに教育用語を覚えることの重要性を感じました。非常に実のあるご講義ありがとうございました。

・貴重な時間、内容をありがとうございました。私は授業担当教員ではないので、講義内容は正直難しかったというか、ピンとこない部分もございました。しかしながら学校運営において重要なポイント、ヒントをたくさん頂戴したと思います。今後の参考とさせていただきます。

・授業の内容で、先生の仰っていたことは、うなずかされるものばかりで、また参考としてあげていただいた理論も説明をしていただいたころはとてもよく理解できました。ただ、あとは自分自身の問題で、いかに表面的な理解にとどまらず十分に知識や経験として身につけられるかだと思っています。まだまだ先は長いですが、カリキュラムデザインのスタートに立ったところで、まだまだ先は長いですが勉強していこうと思います。授業ありがとうございました。

・カリキュラムと教育課程の違いなど、基本的な用語の意味について学び直すことが出来ました。教員歴を重ねるにつれて、正直なところカリキュラムデザインにも慣れやマンネリ化が生じていると感じていました。本講義を通じて、これからの先を見据えたカリキュラムデザインの方法や課題を知ることが出来ましたので、次年度の授業運営の改善につなげたいと思います。色々な気づきがあり、とても参考になる講義でした。ありがとうございました。

・ケラーの ARCS モデルを参考に、実際の授業を変えてみる事ができました。今後も継続して工夫していきます。ありがとうございました。

・いつの間にか教員あので、覚悟と基礎ができてませんでした。沖先生 ありがとうございました。

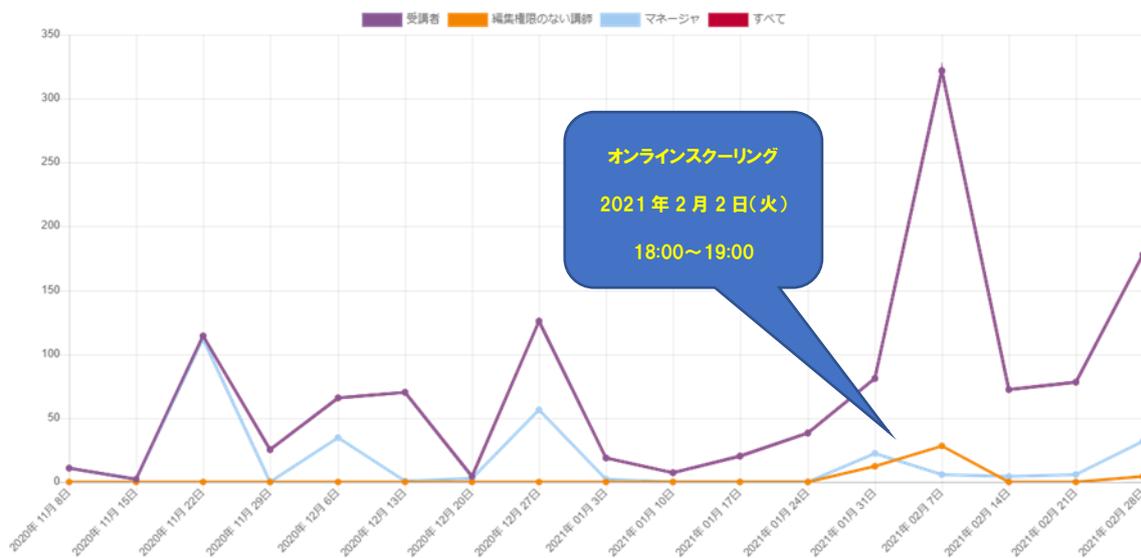
・短い授業時間にもかかわらず、学習理論の変遷にもふれながら、カリキュラムの設計、実施、評価のありようの要点を教えてくださいました。ありがとうございました。

・学修体験の総体を考えることが重要であるように思いました。また、先達の理論を知っていると分析がしやすくなると感じました。

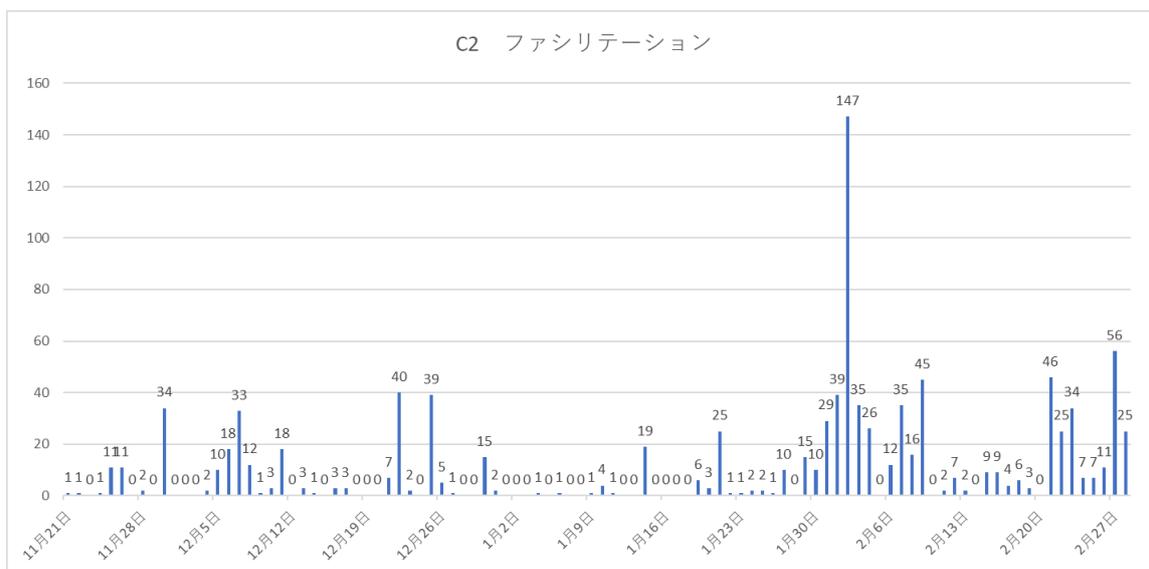
・具体的な授業改善に関する理論と方法を学ぶことが出来ました。そして今後の自身の授業改善のヒントを得ることも出来ました。講義内容の理論的な内容やカリキュラム改善などを通じ、自身の省察を深めて行きたいと思います。どうもありがとうございました。

・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

C2 ファシリテーション



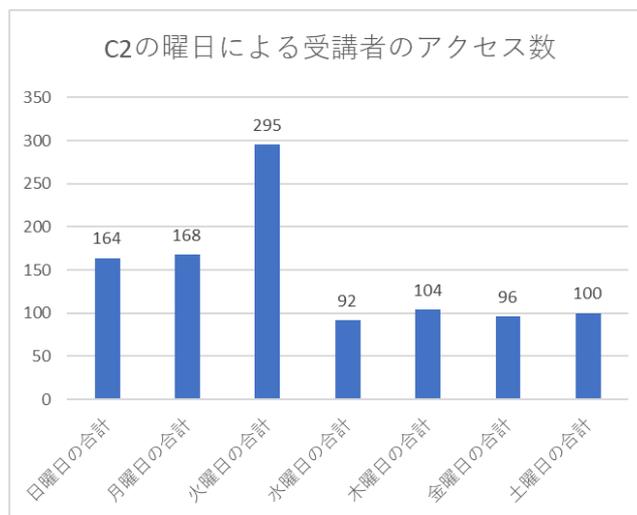
期最終日(週)	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	178	4	32	178	コースログ
2021年02月21日	78	0	6	78	コースログ
2021年02月14日	72	0	4	72	コースログ
2021年02月7日	322	28	6	322	コースログ
2021年01月31日	81	12	22	81	コースログ
2021年01月24日	38	0	0	38	コースログ
2021年01月17日	20	0	0	20	コースログ
2021年01月10日	7	0	0	7	コースログ
2021年01月3日	19	0	2	19	コースログ
2020年12月27日	126	0	56	126	コースログ
2020年12月20日	4	0	3	4	コースログ
2020年12月13日	70	0	1	70	コースログ
2020年12月6日	66	0	35	66	コースログ
2020年11月29日	25	0	0	25	コースログ
2020年11月22日	114	0	112	114	コースログ
2020年11月15日	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	11	0	11	11	コースログ



C2 ファシリテーションの真の受講者の全アクセス数は、1019 件である。

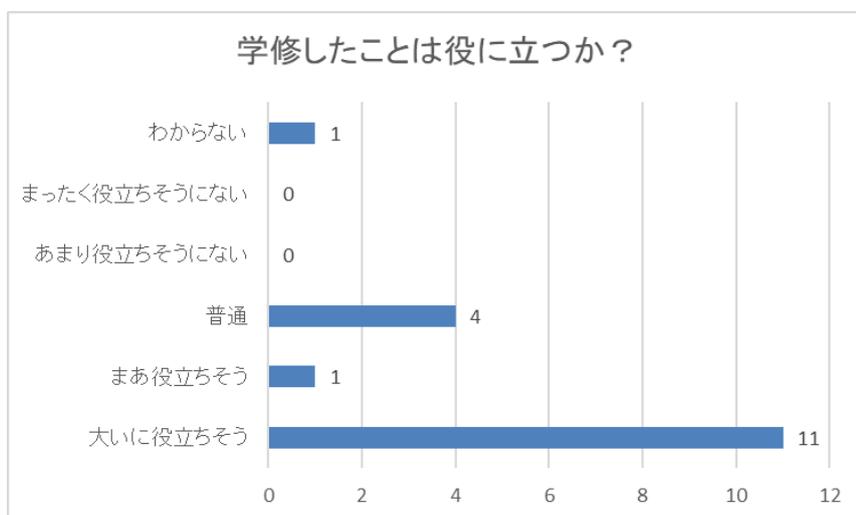
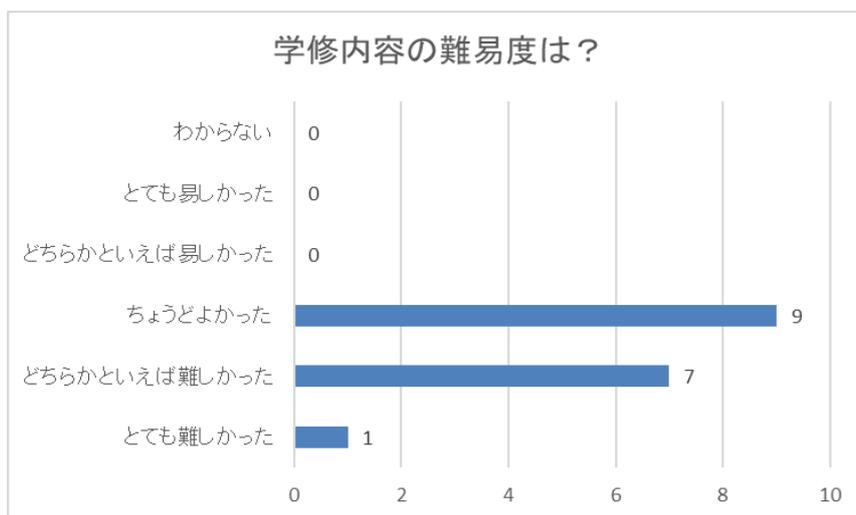
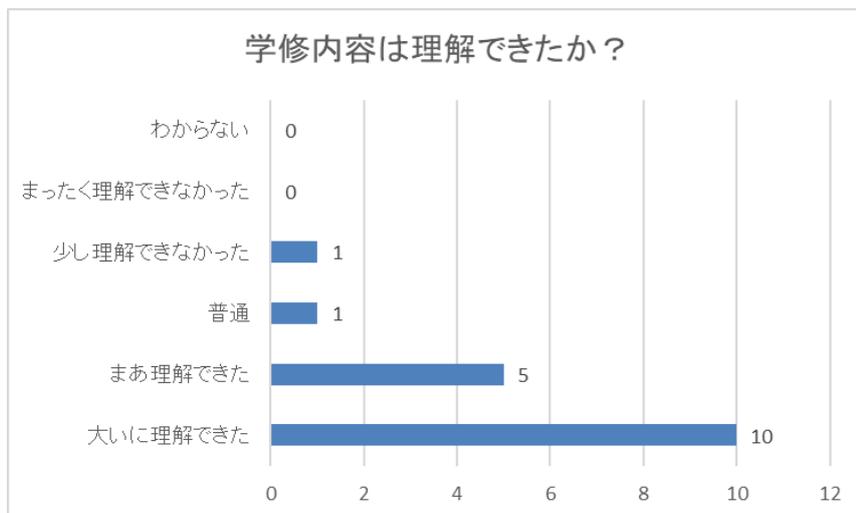
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合が多く、大きく変動している。

2021 年 2 月 7 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 2 月 2 日（火）、147 件である。



曜日別グラフから、C2 ファシリテーションの場合は、受講者のアクセス数は、火曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが火曜日にあったからと考えられる。日曜日、月曜日に増えている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・授業や会議を行う際のファシリテーションの重要性や実用性を学ばせていただきました。また、オンライン授業では分かり易い講義で、さらに Zoom についての発見などもあり大変役立つ講義でした。ありがとうございました。

・いつもありがとうございます。オンラインでもコメントさせていただきましたが、時間の経過があつという間でした。非常に有意義な講義だったとおもいます。本当にありがとうございました。正直、「紙とペンを持参」と指示があつたときに「絶対何かやらされる。嫌だな。」と思ってしまいましたが、実際に受講してみると非常に面白く有意義な内容でした。私は教員ではないため、直接授業を実施する機会は殆どありませんが日常業務にいかしていきたいと思います。

・ファシリテーションの役目や運営方法など具体的な内容でわかりやすい講義でした。

・本講義ではファシリテーションの意義・基本内容を学べただけでなく、即実践に活かせるプログラムデザイン曼茶羅図のようなテクニックも知ることができ、大変勉強になりました。オンライン合同授業でも曼茶羅図のほか、ライブ・レコーディングの実践法といった具体例を学べたことは、すごく視野が広がる経験になりました。ありがとうございました。

・文部科学省の教員免許を持たない、教育とは縁のない社会からの教員となった私にとって、一番学習すべき課題でした。三田地真美教授には、大変感謝しております。ありがとうございました。

・プロセス・スキルとしての教育、教授方法としてのアクティブラーニングについては考えるところがありますが、短い授業時間にもかかわらず、行動主義的ファシリテーションのありようについて教えていただきました。ありがとうございました。

・実際にスクーリングでグループワークを体験でき、なんとなくですが理解できたような気がします。他の受講者の方と話ができて、とても楽しい授業でした。またファシリテーションの意味は誤解していたころがあつたのですが、プロセスを整える人という説明は納得ができました。本当にありがとうございました。

・オンラインの授業の仕方としてたいへん参考になりました。ありがとうございました。

・具体的なファシリテーションの理論的な背景に加え、より実践的な講義内容がとても参考になりました。勤務の関係でオンライン授業を受講できずとても残念でしたが動画教材からも多くの方法や気づきを得られ、今後の自身の授業改善にとっても参考になりました。ありがとうございました。

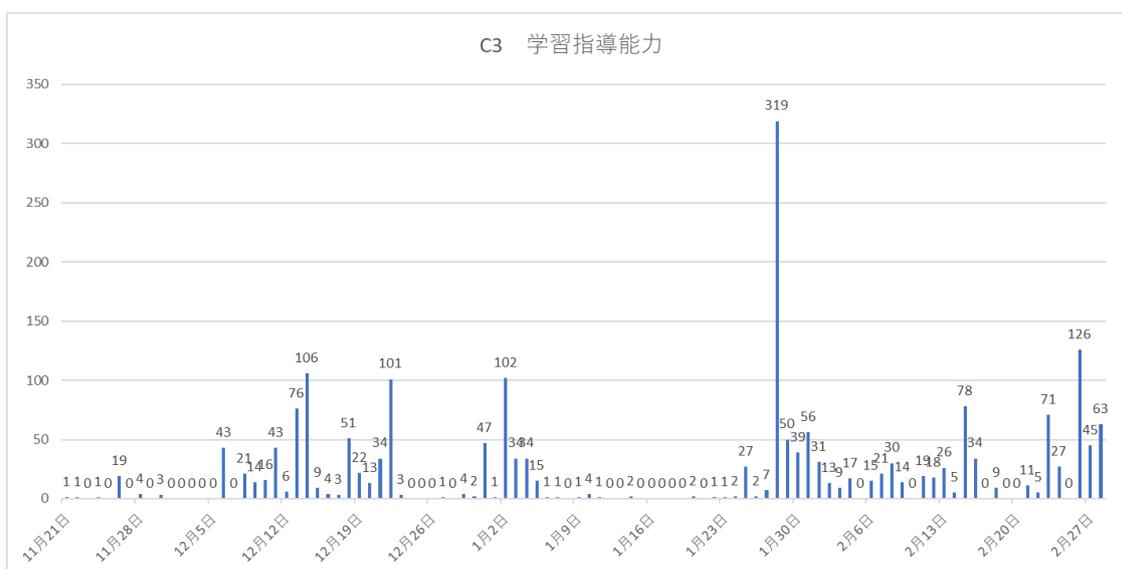
・すぐに授業で活用できる様々なヒントをたくさんいただき、とても嬉しく、さっそく活用させていただいています。が、やり込みの不十分さを日々感じています。これまで以上にしっかり準備して取り組みたいと思います。ありがとうございました。

・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。"

C3 学習指導能力

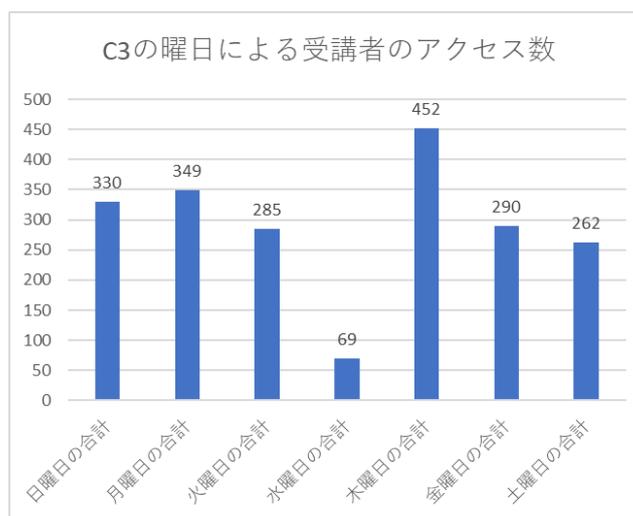


期間終了(期)	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	342	0	20	342	コースログ
2021年02月21日	132	0	6	132	コースログ
2021年02月14日	112	0	4	112	コースログ
2021年02月7日	106	0	2	106	コースログ
2021年01月31日	502	0	125	502	コースログ
2021年01月24日	26	20	0	26	コースログ
2021年01月17日	3	0	0	3	コースログ
2021年01月10日	56	0	3	56	コースログ
2021年01月3日	192	0	2	192	コースログ
2020年12月27日	171	0	78	171	コースログ
2020年12月20日	203	0	103	203	コースログ
2020年12月13日	176	0	61	176	コースログ
2020年12月6日	48	0	5	48	コースログ
2020年11月29日	24	0	0	24	コースログ
2020年11月22日	133	1	130	133	コースログ
2020年11月15日	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	14	0	14	14	コースログ



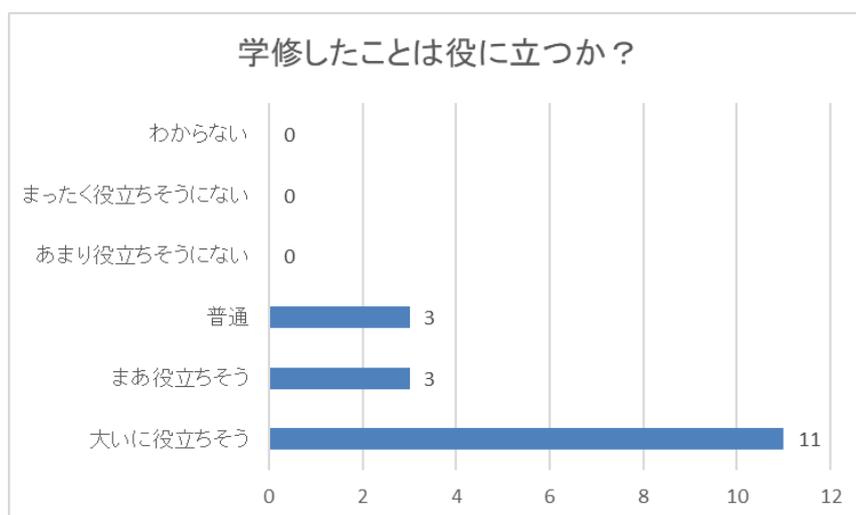
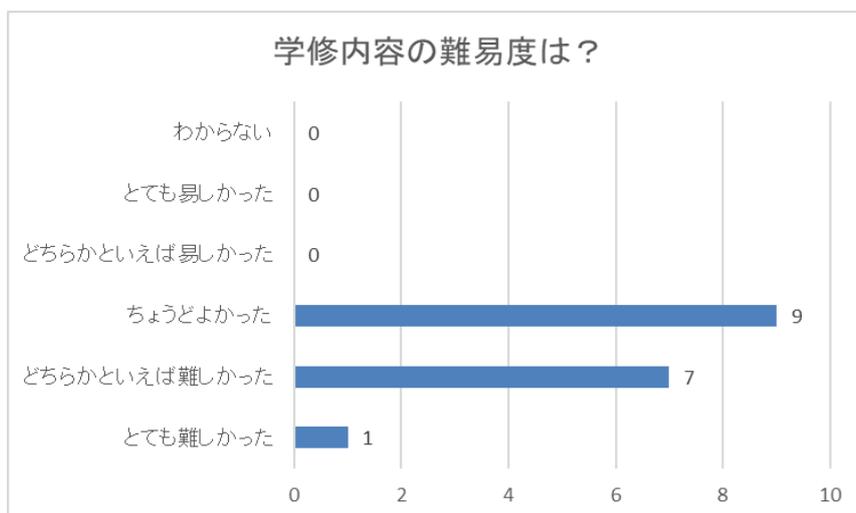
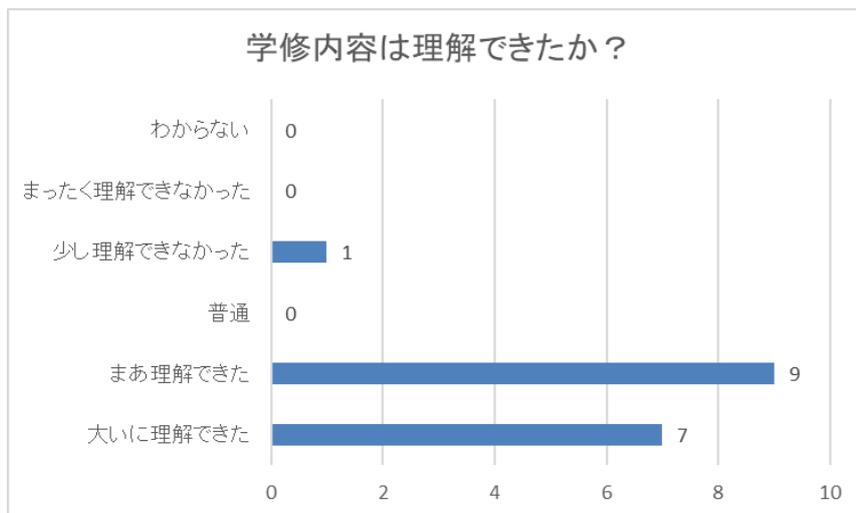
C3 学習指導能力の真の受講者の全アクセス数は、2037 件である。

受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、大きく変動していることがわかる。2021 年 1 月 31 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクリーニング当日 1 月 28 日（木）、319 件である。



曜日別グラフから、C3 学習指導能力の場合は、受講者のアクセス数は、木曜日が多い。これは、オンラインスクリーニングが木曜日にあったからと考えられる。なぜか水曜日が極端に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・学習指導能力ということで実際教育現場に立っているのだけれども今まで気づいていなかったことに気づかされました。自身を高めるうえでも非常に重要な講義となりました。ありがとうございました。

・業務都合で途中参加となり申し訳ありませんでした。今後の学校運営に非常に参考となる話ばかりでした。引き続きよろしく願いいたします。

・初めは教員の能力向上のヒントを学習し、教員の方との共同で授業改善ができればと考えていましたが、教員の能力向上だけではなく、学校職員の能力向上にも応用できる内容だと思いました。特に修得レポートで記入しました「ラウンドテーブル」を活用して、教職員の意識改善と前向きな雰囲気づくりに役立てたいと思います。

・やはり全10回の講義は時間的に大変でしたが、抽象的な概念が多い前半は難しく感じましたが、第7回のKateのアクションリサーチといった具体例の紹介があると理解しやすくなりました。学習指導能力は終わりのない課題ですので、今回の講義で学んだ理論・技法をこれからの学校活動に反映させていきたいと思います。ありがとうございました。

・私としては、教師の資質・能力と学習指導能力を「教科や現代的課題の知識・技能・技法による指導力の向上から」「対人関係力・授業観・学生観・教育観・探求心をふり返る（省察する）力の育成へ」と捉え直していただいていることがもっとも共感します。大学で教職の学生向けに、三輪先生ご翻訳の『省察的实践とは何か』を読む授業をいたしましたが、なかなかここまで伝えられませんでした。ありがとうございました。

・多くのインプットがありました。具体的な課題をイメージしていくことができました。ありがとうございました。

・専門性が高い専門学校においては、特に学習指導能力という観点から自身のキャリア開発が非常に重要であることを学ぶことができました。そのための具体的な理論や方法について大変参考になりました。自身でも取り入れていきたいと思います。どうもありがとうございました。

・教育の専門家ではない、専門学校教員としてのアイデンティティの揺らぎに対し、具体的な解決の手法をいくつか提示していただきました。今後の専門学校教員としての自分に必

要なものを自らつかみ取っていけるよう、学び続けたいと思います。ありがとうございました。

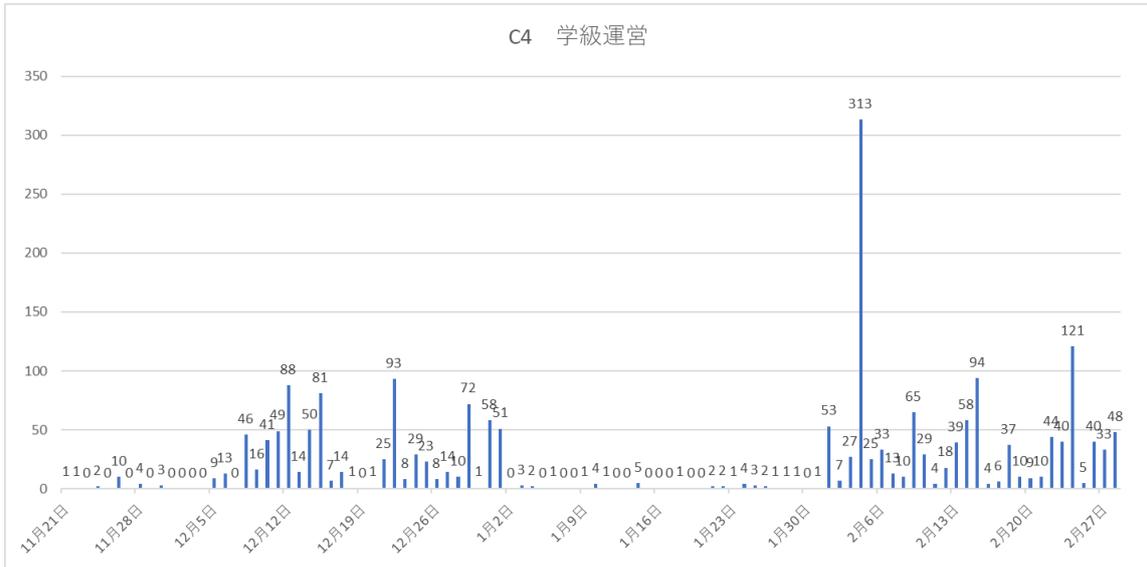
・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。"

・専門馬鹿で、教育のイロハを知らませんでした。教育学をも講座でご指導頂き誠にありがとうございました。

C4 学級運営



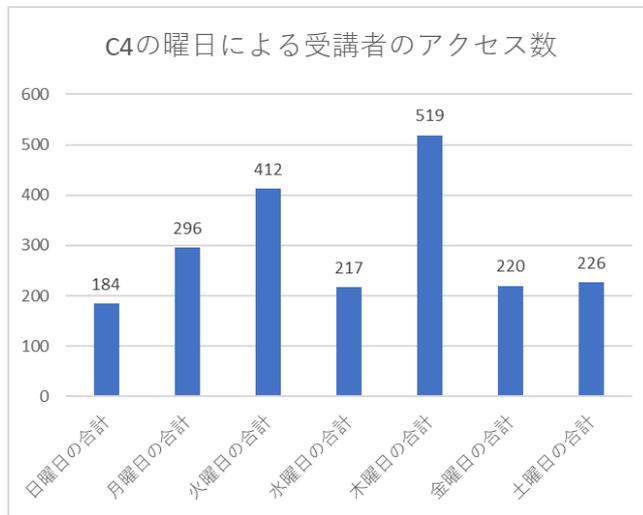
期間終了(期)	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	347	9	26	347	コースログ
2021年02月21日	171	0	6	171	コースログ
2021年02月14日	223	0	5	223	コースログ
2021年02月7日	515	44	50	515	コースログ
2021年01月31日	31	20	2	31	コースログ
2021年01月24日	10	0	0	10	コースログ
2021年01月17日	21	15	0	21	コースログ
2021年01月10日	8	0	0	8	コースログ
2021年01月3日	197	0	2	197	コースログ
2020年12月27日	232	0	73	232	コースログ
2020年12月20日	151	0	3	151	コースログ
2020年12月13日	251	0	122	251	コースログ
2020年12月6日	27	0	5	27	コースログ
2020年11月29日	16	0	0	16	コースログ
2020年11月22日	136	9	125	136	コースログ
2020年11月15日	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	11	0	11	11	コースログ



C4 学級運営の真の受講者の全アクセス数は、2074 件である。

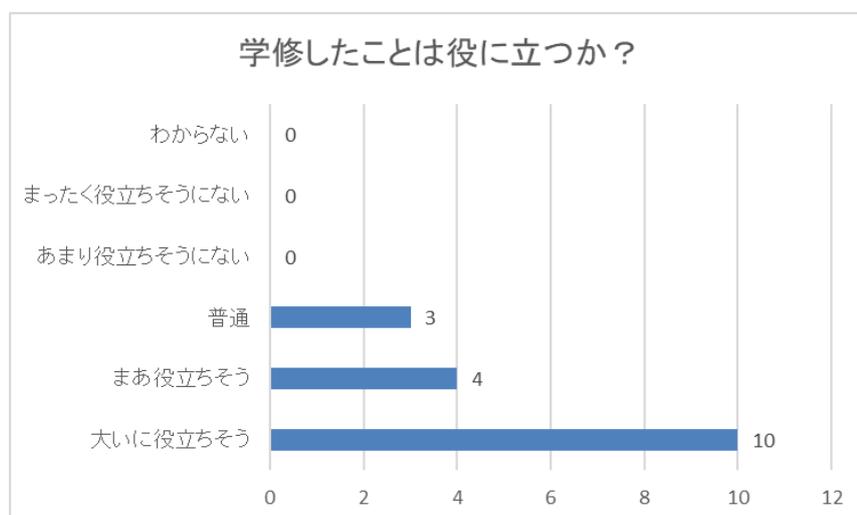
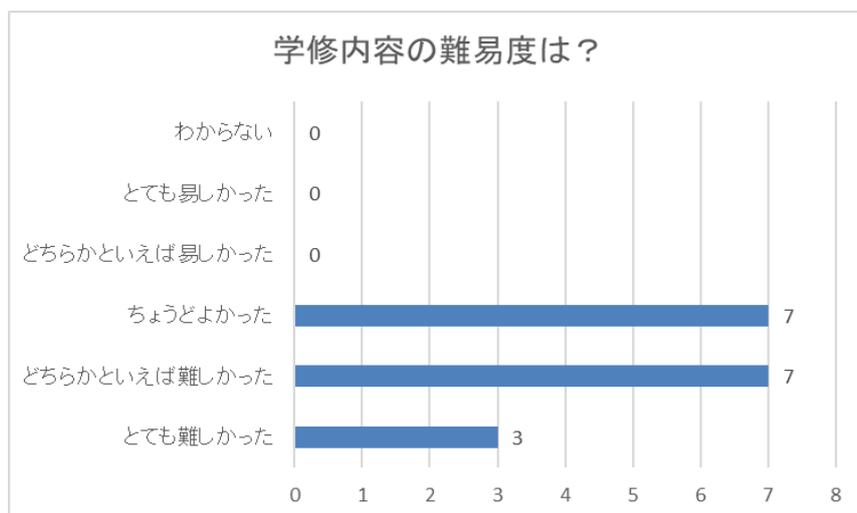
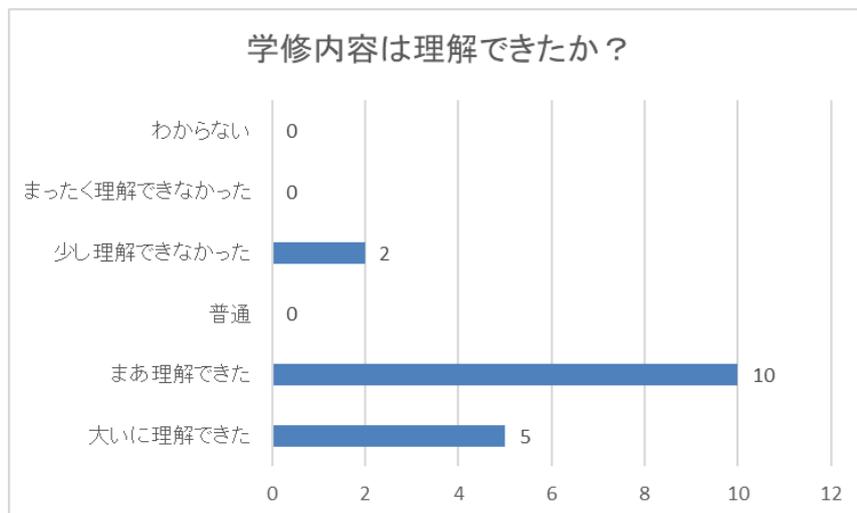
受講者グラフからアクセス数が 0 など極端に少なくなる場合があり、大きく変動している。

2021 年 2 月 7 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 2 月 4 日（木）、313 件である。



曜日別グラフから、C4 学級運営の場合は、受講者のアクセス数は、木曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが木曜日にあったからと考えられる。火曜日にアクセス数が増える。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・自身も担任を持っておられますので、学級運営には日々考えさせられることが多々あります。そのような中で今回の講義で得たもの、考えさせられたことは非常に重要なものでした。今後も今回学ばさせていただいたことを活用し学級運営に励んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

・いつもありがとうございます。私は教員ではないため、実践に落とし込むことは難しいかもしれません。しかしながら学校運営において先生からご教授いただいた内容は必ず役に立つと考えられます。今回はこのような素晴らしい場をご提供いただき本当にありがとうございました。

・理論に基づいた授業で、学級運営に関しての考えが整理できました。実際にある参考資料をもっと学習しなければと思いました。また現場（当校）でおきている現象に関して当てはめてみたいとも感じています。ありがとうございました。

・全10回の講義であったので、正直少し大変でした。私の勤務する専門学校は社会人が多く、学級の学生自治に委ねやすい環境にあります。しかし、もし自分が高校新卒者などが多い学校に勤務していると想定した場合、本講義の内容は参考になると思えました。学びの3つの場の概念図などは、現在の学校状況を振り返るにあたっても有益でした。ありがとうございました。"

・私は、長らく中学校、高等学校、大学へと学級担任やゼミ教員を続けてまいりましたが、このように学級自体のあり様、あり方について考察することはありませんでした。しかし、私自身の力不足を恥じながらも振り返ってみると、私もまた学級の成員であったわけでのように分析的に省察できなかつたかもしれません。ご指導ありがとうございました。

・勤務の関係で、残念ながらオンラインでは受講できませんでしたが、学級運営について理論的な枠組みで学びへ向かう、学びを支える学級の在り方について深く学ぶことが出来ました。ありがとうございました。クラス担任制という専門学校が多いと思われ、本務校においてもクラス担任制により学級運営がなされており、直接的、間接的にとっても参考になる内容でした。どうもありがとうございました

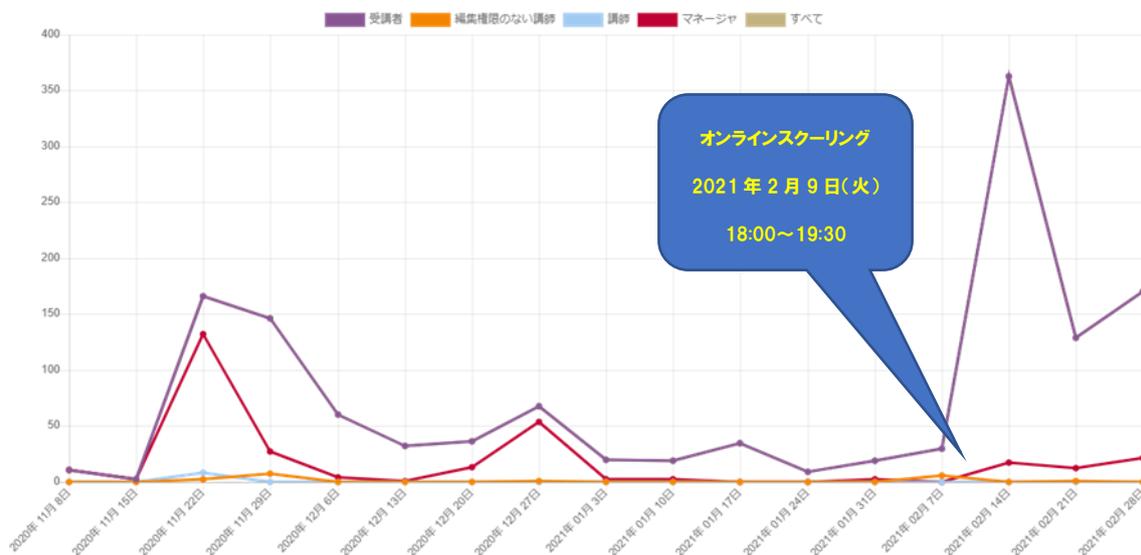
・教員履歴の浅い小生としては、学修システム、方法論等の勉強となりました。

・少し難しいところがありましたが、多くのインプットがありました。具体的に課題をイメージしていくことができました。ありがとうございました。

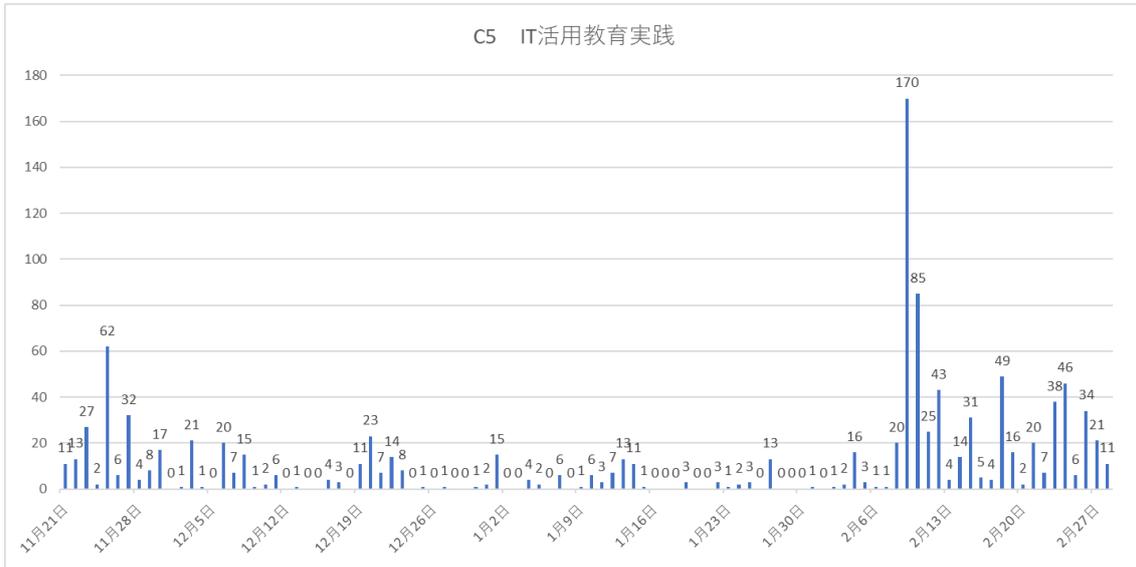
・勉強不足で大変難しく感じました。レポートは書きましたが、自分のものになっている感じが乏しいのが正直な感想です。ただ、専門学校教員として大変に重要な学びであるので、これを機会に学びを進めたいという強い決意は持っています。ありがとうございました。

・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。"

C5 IT 活用教育実践



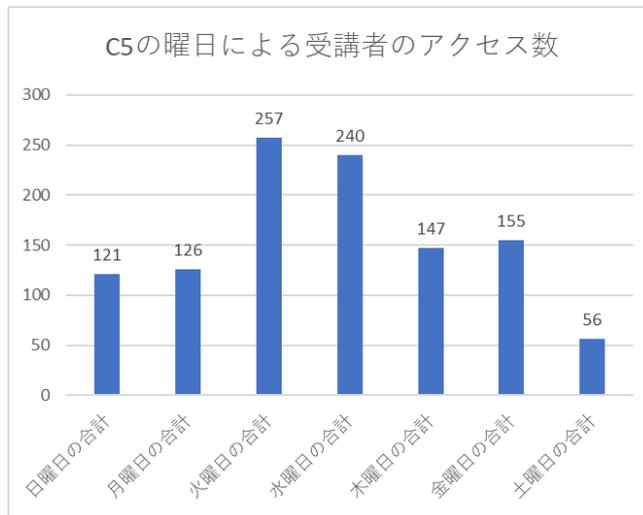
期間終了(期)	受講者	編集権限のない講師	講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	170	0	0	21	170	コースログ
2021年02月21日	129	1	0	12	129	コースログ
2021年02月14日	363	0	0	17	363	コースログ
2021年02月7日	30	6	0	0	30	コースログ
2021年01月31日	19	0	0	2	19	コースログ
2021年01月24日	9	0	0	0	9	コースログ
2021年01月17日	35	0	0	0	35	コースログ
2021年01月10日	19	0	0	2	19	コースログ
2021年01月3日	20	0	0	2	20	コースログ
2020年12月27日	68	1	0	54	68	コースログ
2020年12月20日	36	0	0	13	36	コースログ
2020年12月13日	32	0	0	1	32	コースログ
2020年12月6日	60	0	0	4	60	コースログ
2020年11月29日	146	7	0	27	146	コースログ
2020年11月22日	166	2	8	132	166	コースログ
2020年11月15日	2	0	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	11	0	0	11	11	コースログ



C5 IT活用教育実践の真の受講者の全アクセス数は、1102件である。

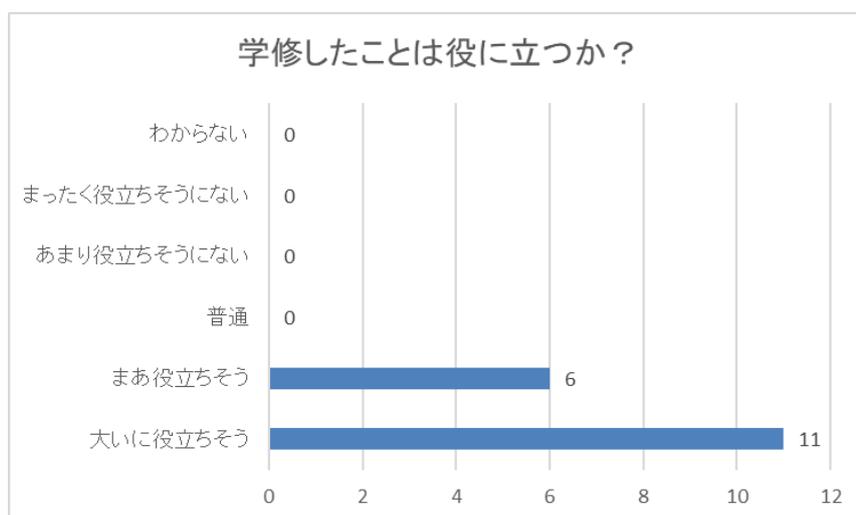
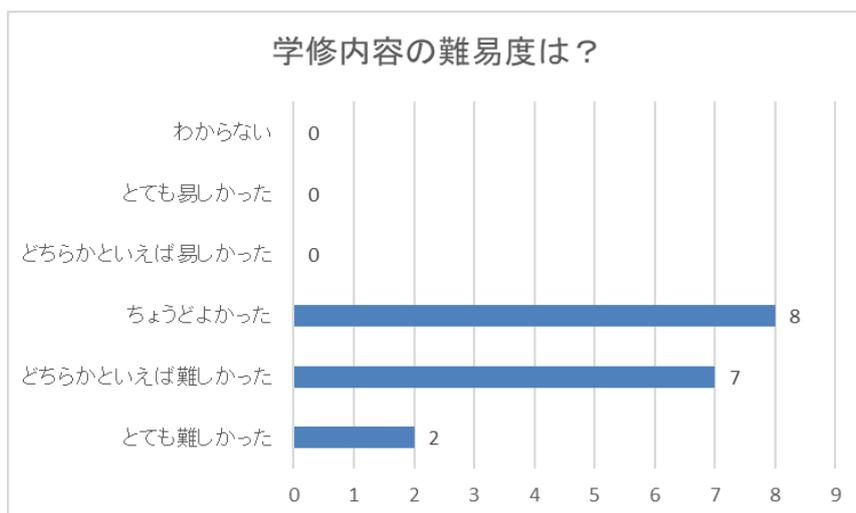
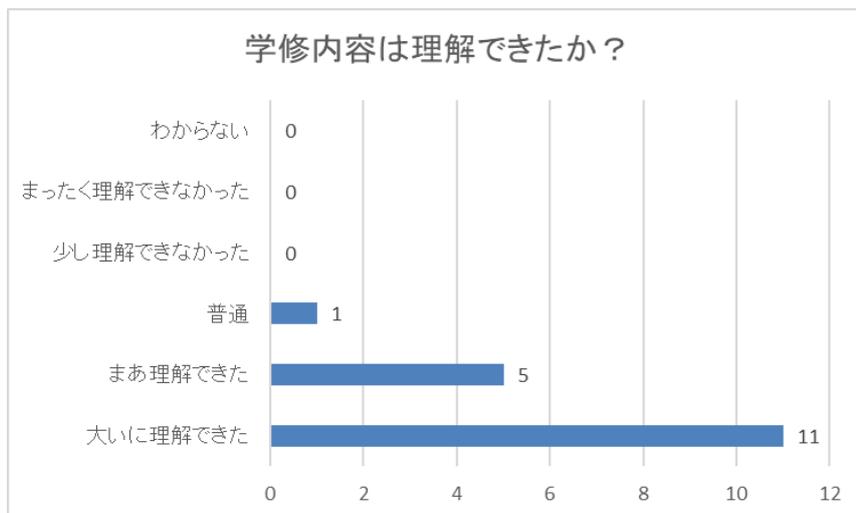
受講者グラフからアクセス数が0になる場合があり、細かく変動していることがわかる。

2021年2月14日（日）の1週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日2月9日（火）である。



曜日別グラフから、C5 IT活用教育実践の場合は、受講者のアクセス数は、火曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが火曜日にあったからと考えられる。水曜日のアクセス数が増え、土曜日に極端に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・貴重な内容をご教授いただきありがとうございました。コロナの影響で急遽進んだ感じが否めないICT活用ですが、アフターコロナの時代となってもなくなることは有り得ないと考えます。例えば採用試験などは今後一層ZOOMを活用した一次試験などが増えると予想されます。そうした時代の波に乗り遅れないように引き続き頑張っていきたいと思えます。

・オンデマンドを受講した時期と現在の時期では全く社会の状況が変化しており、改めて講義を受けさせていただいてIT活用の必要性が非常に良く分かりました。オンライン授業を受けスクラッチというツールの安全性などもよくわかりましたので挑戦してみたいという意欲が湧きました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

・プログラムの知識が乏しく、オンデマンド授業は難しいところもありましたが、内容はとても興味深く、単にITというだけでは意味がないことが良くわかりました。社会の変化が早く、技術の発展に追いついていけない自覚がありますが、紹介していただいたHPやプログラムは、うまく使えば学生の能力は確実に高くなるんだろうなと実感しました。ありがとうございました。

・普段の業務でWordやExcel、PowerPointなどを利用していますが、プログラミングは全く不得手で、人任せにしてきました。本講義でScratchの紹介があり、素人ながらも挑戦できるツールがあることを知れたことは有意義でした。教育現場でのIT活用例の実際をもう少し教えて欲しかったのが本音です。今後の教育でIT活用が不可欠となることは間違いないので、本講義はもう少し回数が多くても良いと思います。ありがとうございました。"

・授業時間が非常に短いにもかかわらず、ITの普及時代の能力観、構築主義（構成主義）的なIT活用教育、学校教育におけるIT活用文化、カリキュラムについての要点をお教えいただきました。私は高校教師、大学非常勤講師時代に、Squeakを導入し、大学教員になってからも学生に見せたことがあります。ありがとうございました。

・コロナ禍で大きくIT活用の流れが教育界で加速された状況に加え、今後求められる学校におけるIT活用についての方向性を深く学ぶことが出来ました。それぞれの専門学校の特性を踏まえ、実現可能なチャレンジを自身も自覚的に取り組んでいきたいと思えます。どうもありがとうございました。

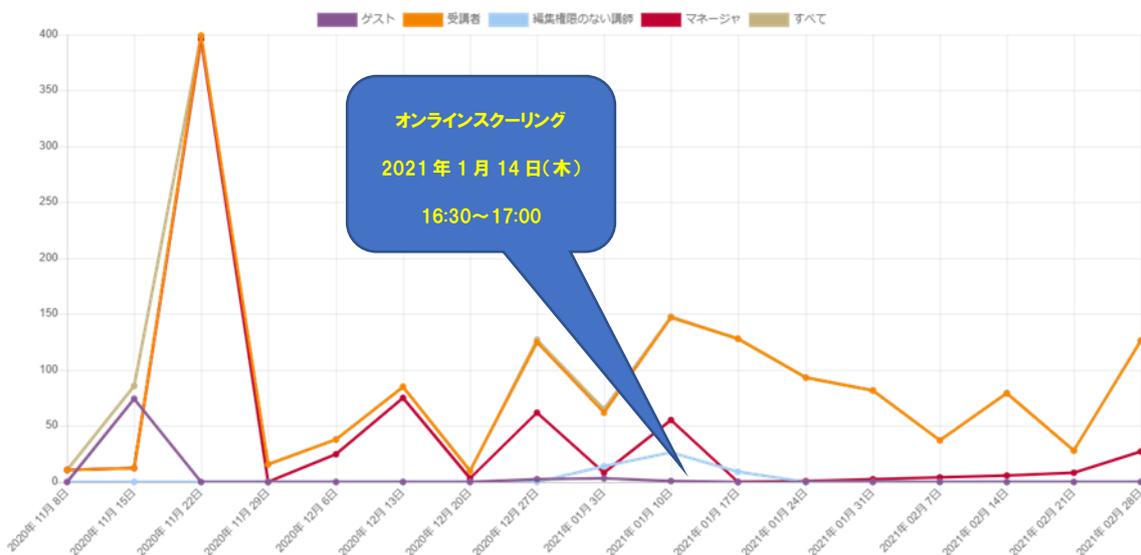
・学科の今の立場が、私たちの必要とする入授業でした。斎藤俊則先生ありがとうございました。

・必要性・重要性は十分に感じる事ができたが、何から手を付けてよいのか、具体的イメージに乏しいのが実情です。少なくともチャレンジする気持ちだけは持ち続けたいと思っています。

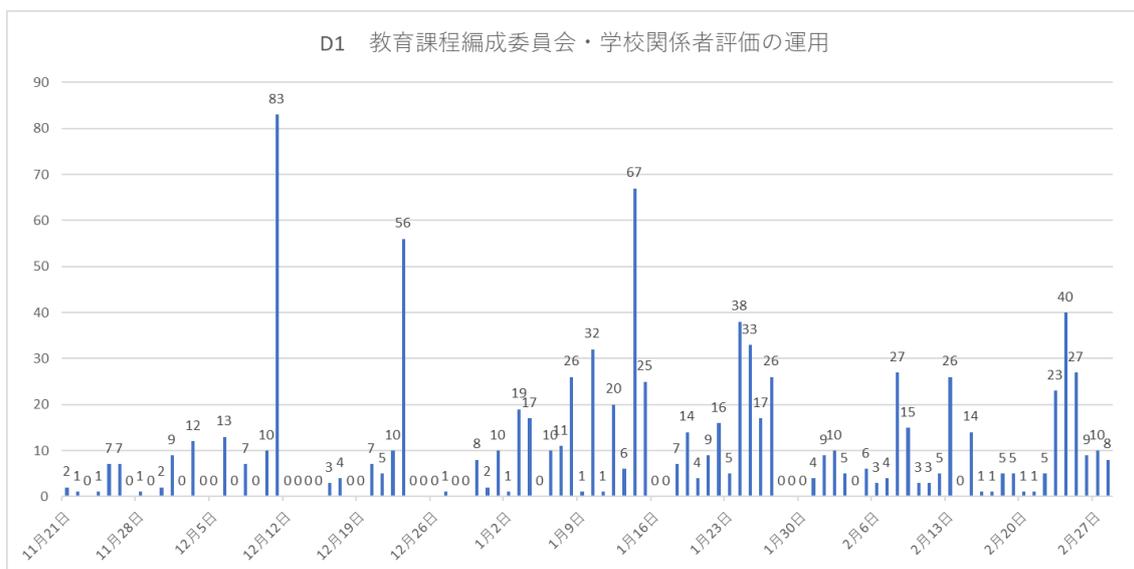
・いろいろな対外的な状況を考え、整理することができました。ありがとうございました。

・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びとなりました。

D1 教育課程編成委員会・学校関係者評価の運用



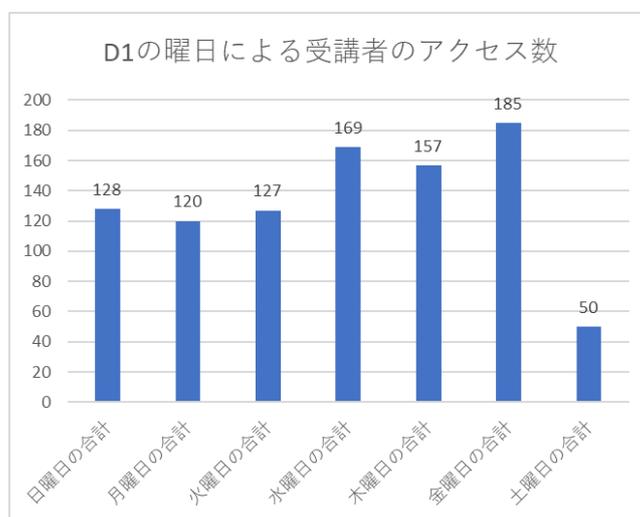
期間終了(日)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	0	126	0	27	126	コースログ
2021年02月21日	0	28	0	8	28	コースログ
2021年02月14日	0	79	0	6	79	コースログ
2021年02月7日	0	37	0	4	37	コースログ
2021年01月31日	0	82	0	2	82	コースログ
2021年01月24日	0	93	0	1	93	コースログ
2021年01月17日	0	128	9	0	128	コースログ
2021年01月10日	1	147	26	55	148	コースログ
2021年01月3日	3	62	14	8	65	コースログ
2020年12月27日	2	125	0	62	127	コースログ
2020年12月20日	0	10	0	3	10	コースログ
2020年12月13日	0	85	0	75	85	コースログ
2020年12月6日	0	38	0	25	38	コースログ
2020年11月29日	0	16	0	0	16	コースログ
2020年11月22日	0	399	0	396	399	コースログ
2020年11月15日	74	12	0	12	86	コースログ
2020年11月8日	0	11	0	11	11	コースログ



D1 教育課程編成委員会・学校関係者評価の運用の真の受講者の全アクセス数は、936件である。

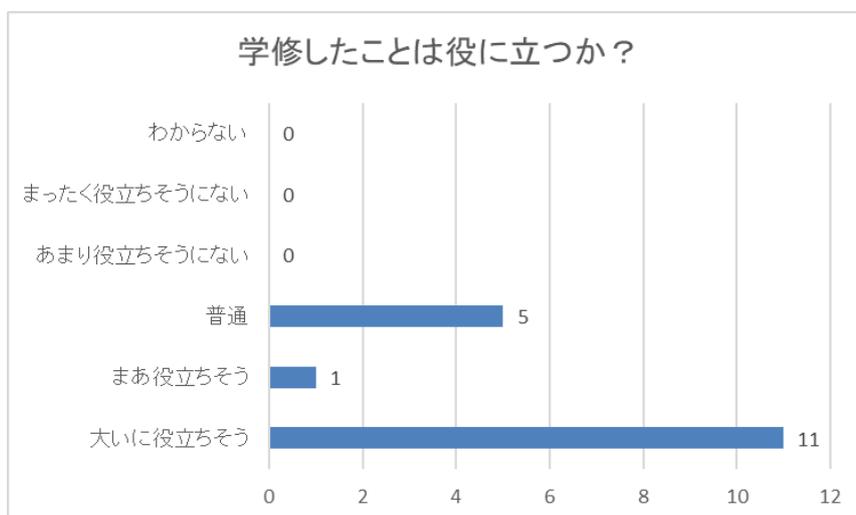
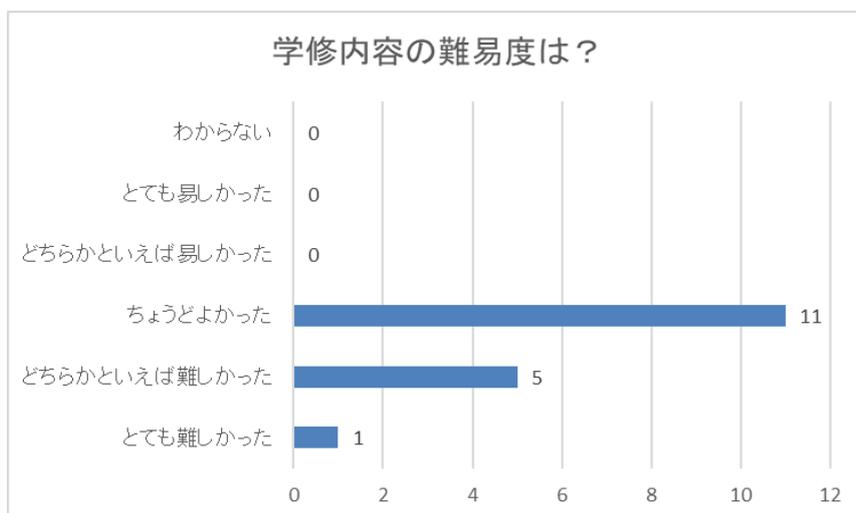
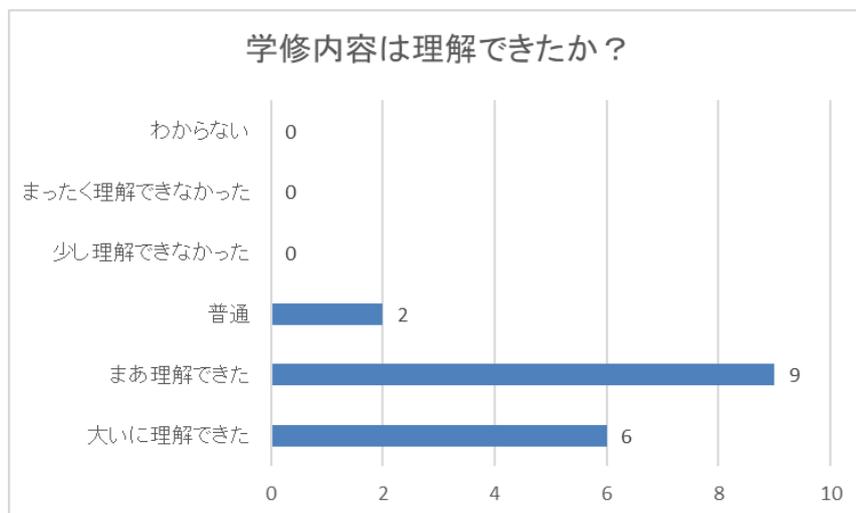
受講者グラフからアクセス数が0になる場合があり、大きく変動していることがわかる。

2021年1月17日（日）の1週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日1月14日（木）、67件である。しかし、アクセス数が最大なのは、12月11日（金）、83件、1月14日（木）は、2番目である。



曜日別グラフから、D1 教育課程編成委員会・学校関係者評価の運用の場合、オンラインスクーリングがあった木曜日でも157件と3番目に多いが、受講者のアクセス数が最大なのは金曜日、185件、2番目は、水曜日、169件である。土曜日に極端に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・いつもありがとうございます。第三者評価の際には非常にお世話になりました。常日頃、日常業務に忙殺されて忘れがちな内容のリマインドの機会を頂戴しありがとうございます。今後の学校運営の参考にさせていただきたく存じます。江島先生が回復されることを願ってやみません。

・教育課程編成委員会や学校関係者評価についてこの講義を通じ改めて自身の学校を振り返り見る良い機会となりました。次回第三者評価を受審する上での学修もさせていただきました。ありがとうございました。

・ちょうど学科として、職業実践専門課程認可を目指しておりますので良い勉強となりました。ありがとうございました。

・教育課程編成委員会や学校関係者評価は、通常の授業のように頻繁に行うものではないため、その意義や内容を忘れてしまいがちになります。本講義を通じて、これらの重要性を学ぶことができました。私も管理職としてこれらの活動に関わっているので、学んだ知識を次回の委員会や評価に役立てたいと思います。ありがとうございました。

・知識としては以前から業務として知っていたことが多かったのですが、レポートをまとめるときに実際に振り替えるともっと活用方法があるのではないかと思いました。特に学校関係者評価の方が、職業実践専門課程で開催を義務付けられているためにおこなっているように感じ、反省しております。この講座の受講をきっかけに再度目的を明確にしていきたいと思います。

・恥ずかしながら、これまでは“しなければならぬから実施する”というスタンスが多少あったが、今回の講義で教育課程編成委員会・学校関係者評価の意義を再確認でき、意味ある委員会にすることの動機づけとなった。また、他校の先生方の取り組みを聞く機会は大変貴重であった。ありがとうございました。"

・SD・FD、授業改善が求められている背景、特に法令、私も大学教員時代求められていた授業評価アンケート、分析について省察することができました。ありがとうございました。

・講義いただきありがとうございました。

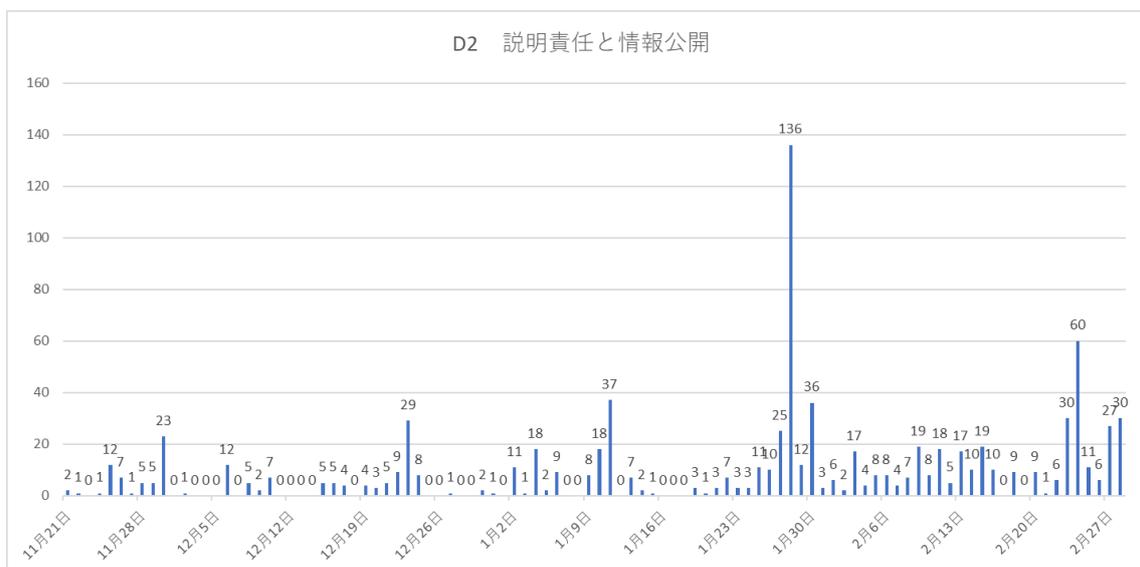
・多くのインプットと気づきや学びがありました。ありがとうございました。

・教育課程編成委員会ならびに学校関係者評価についての具体的な要件を学ぶことができました。今後の職業教育の質の向上にはこれらの運用の実効性と内実を如何に充実させるかが問われていると思います。ありがとうございました。

D2 説明責任と情報公開



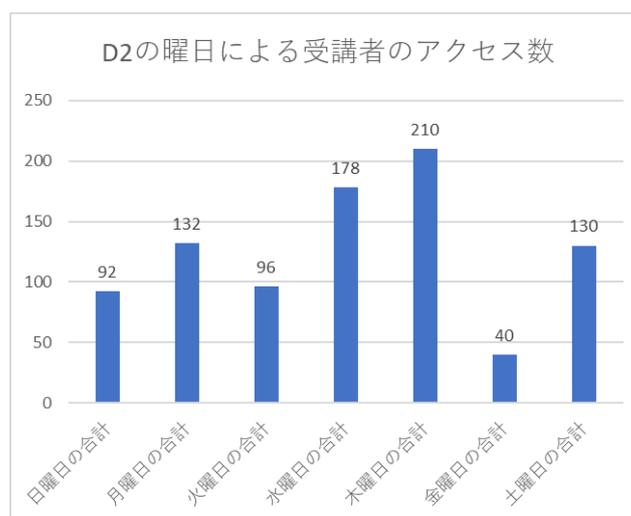
期間終了 (日)	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	177	0	23	177	コースログ
2021年02月21日	48	0	8	48	コースログ
2021年02月14日	84	0	4	84	コースログ
2021年02月7日	49	0	2	49	コースログ
2021年01月31日	235	0	21	235	コースログ
2021年01月24日	25	5	1	25	コースログ
2021年01月17日	47	0	0	47	コースログ
2021年01月10日	60	0	5	60	コースログ
2021年01月3日	30	5	10	30	コースログ
2020年12月27日	97	0	54	97	コースログ
2020年12月20日	16	0	6	16	コースログ
2020年12月13日	14	0	8	14	コースログ
2020年12月6日	38	0	24	38	コースログ
2020年11月29日	31	0	0	31	コースログ
2020年11月22日	94	0	91	94	コースログ
2020年11月15日	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	18	0	18	18	コースログ



D2 説明責任と情報公開の真の受講者の全アクセス数は、878 件である。

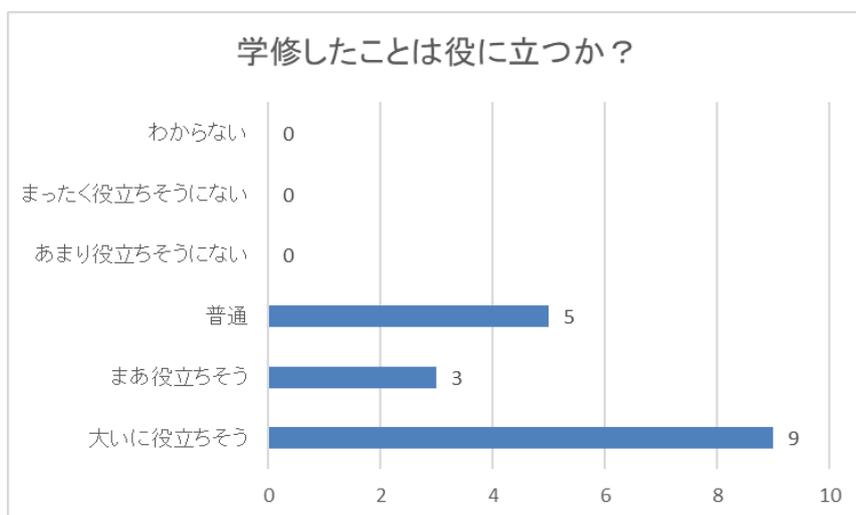
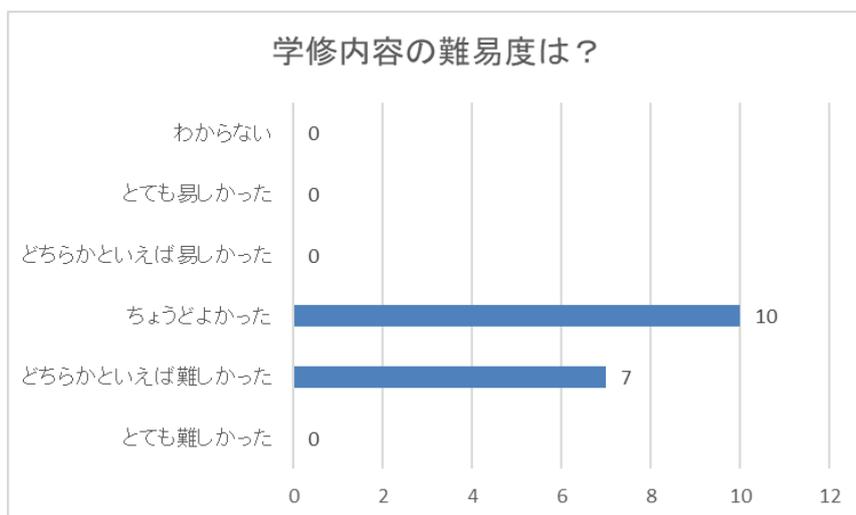
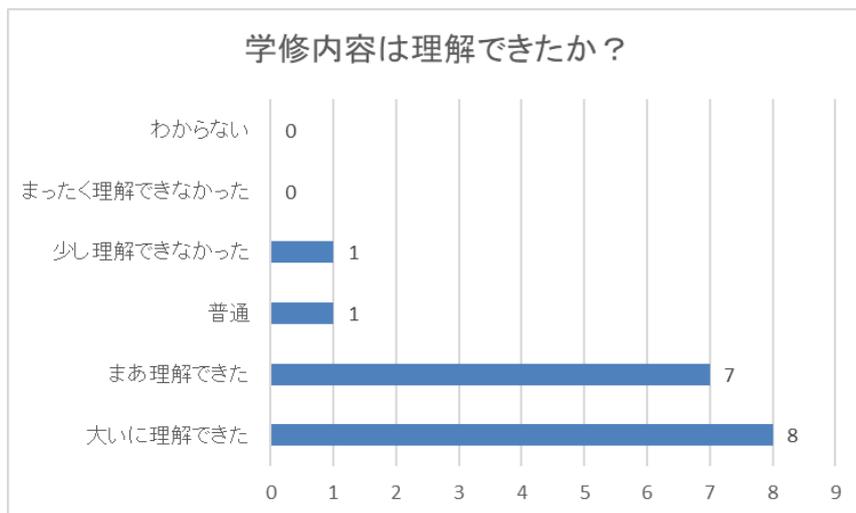
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、多少変動していることがわかる。

2021 年 1 月 31 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 1 月 28 日（木）、136 件である。



曜日別グラフから、D2 説明責任と情報公開の場合は、受講者のアクセス数は、木曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが木曜日にあったからと考えられる。金曜日が極端に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・業務都合で途中からの参加となり大変失礼しました。講義の中でも発言させていただきましたが、ゲームCG系の専門学校としての難しさを感じながら、社会に向けて情報発信を続けていければと考えております。引き続きよろしく願いいたします。

・説明責任と情報公開について講義・オンライン授業を通じてよく学ぶことができました。ありがとうございました。

・本講義を通じて高等教育機関に求められる説明責任や情報公開の理論を再確認できました。他の講義内容と重複する部分が多く、当初は少し整理しても良いのかなとも思いましたが、課題レポートを書くにあたっては繰り返しの内容が役に立っているように感じました。ありがとうございました。

・社会の変化による説明責任と情報公開の必要性について考えることができました。またオンデマンド授業では情報公開の愚痴的な流れや項目も確認することができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。

・社会変革や Society5.0 といった大きな視点で自分の業務を捉え直すことが特に難しく感じました。ただ、これも社会の変化に対応し続ける為のアップデートの一つと感じる為、大変貴重な機会をいただいたと思っています。ありがとうございました。

・高等教育機関に位置付けられる専門学校において社会的要請から情報公開と説明責任が求められ、その枠組みの一つには職業実践専門課程などの認定などもあることから、ますますその必要性和方法に関する在り方を検討していくことが重要であると学ぶことが出来ました。ありがとうございました。

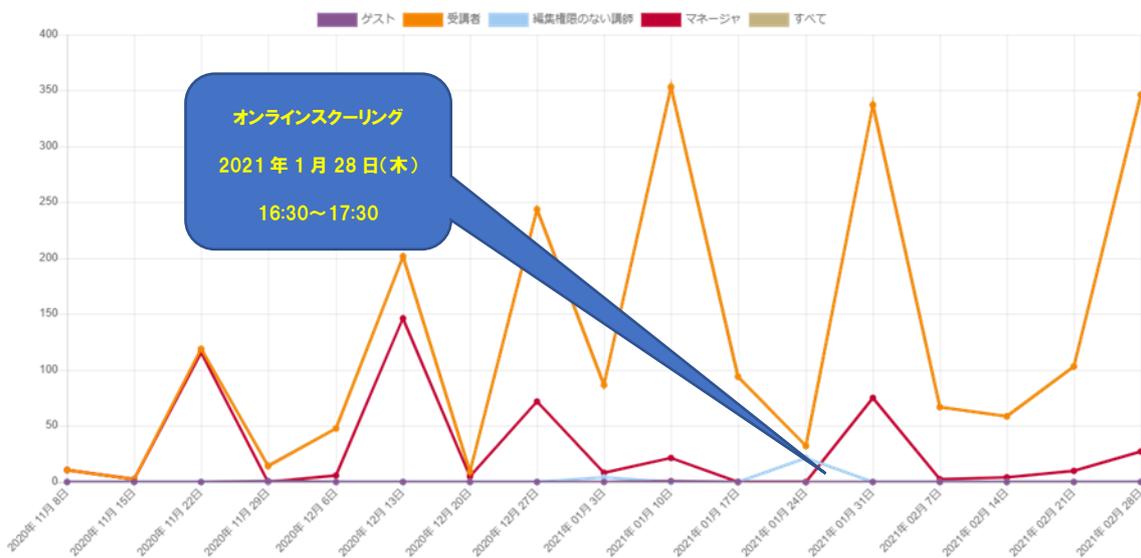
・情報が具体的に整理されていて役に立ちました。ありがとうございました。

・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。"

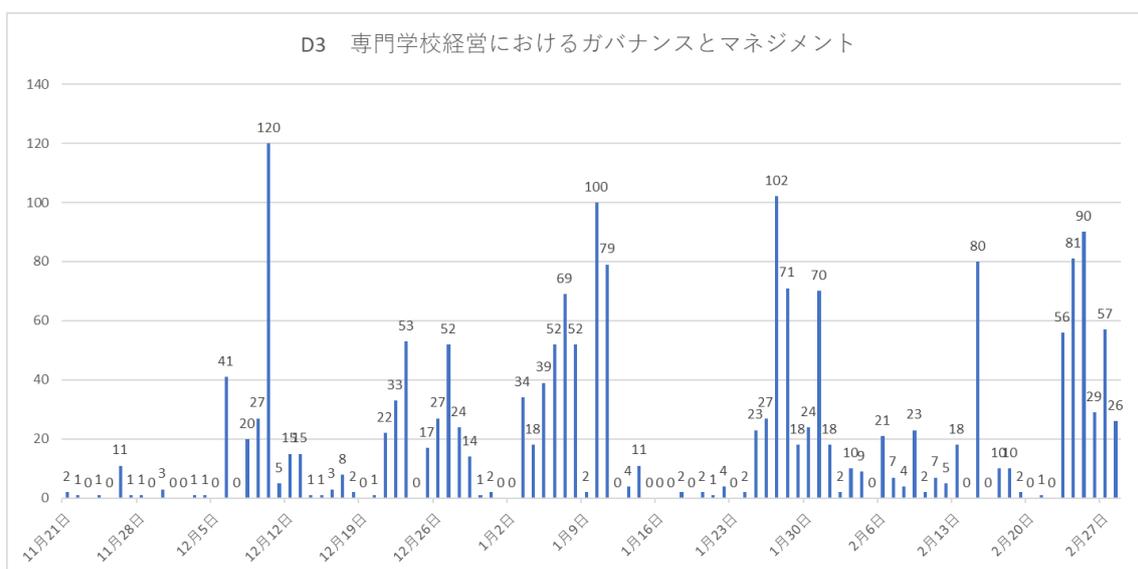
・なぜ、説明責任と情報公開が必要かよくわかりました。ありがとうございました。

・この講習を受けなければ、日常生活・仕事の流れで見過ごしている事が多いことに気づきました。ありがとうございました。

D3 専門学校経営におけるガバナンスとマネジメント



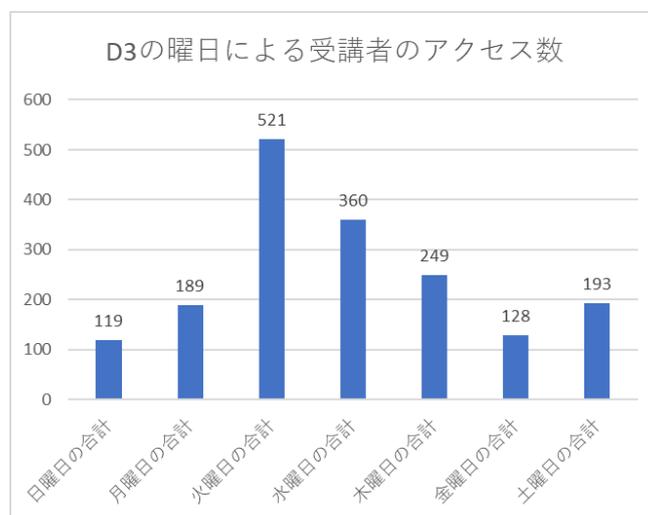
期間終了(期)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	0	346	0	27	346	コースログ
2021年02月21日	0	103	0	10	103	コースログ
2021年02月14日	0	59	0	4	59	コースログ
2021年02月7日	0	67	0	2	67	コースログ
2021年01月31日	0	337	0	75	337	コースログ
2021年01月24日	0	32	21	0	32	コースログ
2021年01月17日	0	94	0	0	94	コースログ
2021年01月10日	1	353	0	21	354	コースログ
2021年01月3日	0	87	4	8	87	コースログ
2020年12月27日	0	244	0	72	244	コースログ
2020年12月20日	0	9	0	5	9	コースログ
2020年12月13日	0	202	0	146	202	コースログ
2020年12月6日	0	48	0	6	48	コースログ
2020年11月29日	1	14	0	0	15	コースログ
2020年11月22日	0	119	0	116	119	コースログ
2020年11月15日	0	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	0	11	0	11	11	コースログ



D3 専門学校経営におけるガバナンスとマネジメントの真の受講者の全アクセス数は、1900 件である。

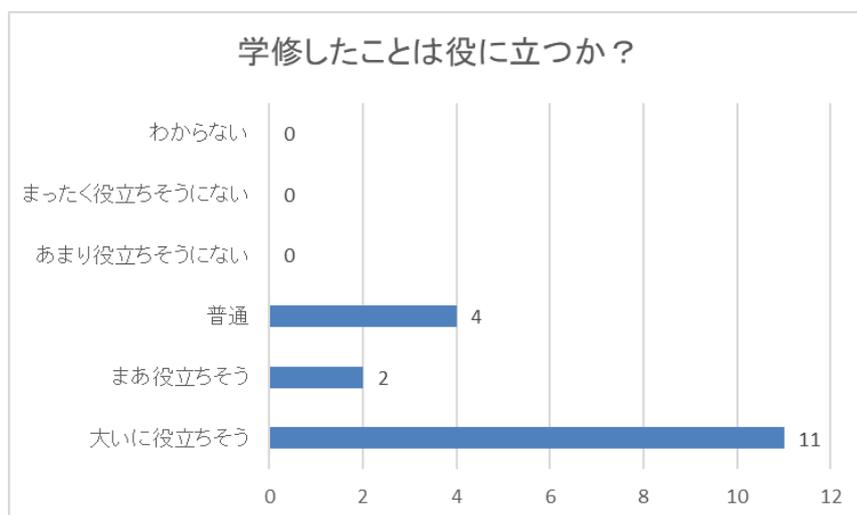
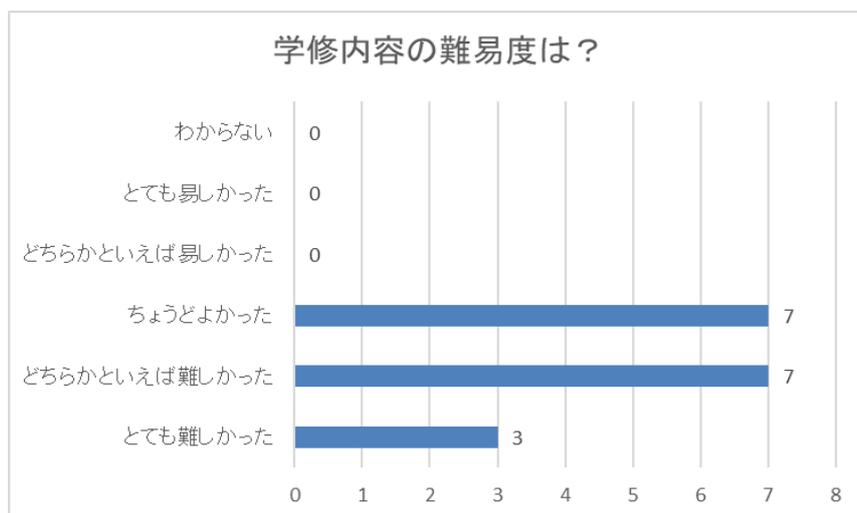
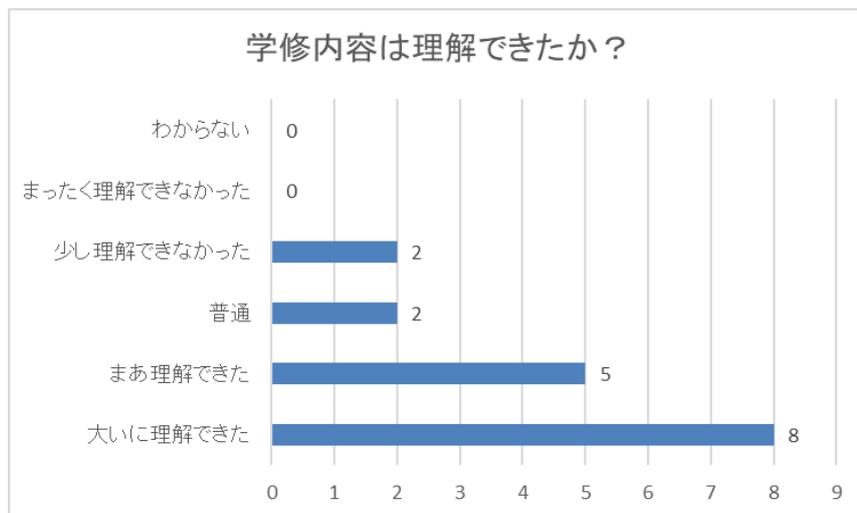
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、全体的に非常に大きく変動していることがわかる。

2021 年 1 月 31 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、1 月 27 日（水）、102 件であり、オンラインスクーリング当日 1 月 27 日（木）、71 件ではない。



曜日別グラフから、D3 専門学校経営におけるガバナンスとマネジメントの場合、オンラインスクーリングがあった木曜日でも 249 件と 3 番目に多いが、受講者のアクセス数が最大なのは火曜日、521 件、次に、水曜日、249 件である。金曜日、日曜日に極端に減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・いつもお世話になっております。先ほど説明責任のコメント欄に記載させていただきましたが、ゲームCG系の専門学校として社会に向けて情報発信を継続していければと考えております。引き続きよろしく願いいたします。

・学校全体にかかわることで非常に内容的に難しいものでしたが、改めて自身の学校を振り返る点で非常にためになる講義でした。ありがとうございました。

・講義内容が細分化されていて、全体を学習するのはやや大変に感じました。しかし、教員だけでなく、管理職、経営層とキャリアアップを図る上では、このような学校マネジメント・ガバナンスの全体像を掴むことは不可欠になります。私は現在、教務側の管理職ですが、不慣れた事務側の知識なども学ぶことができ参考になりました。ありがとうございました。

・会計と財務の回は今まで業務として携わって事がなく、理解が追いつきませんでした（私の基礎知識不足です）。ただ、ガバナンスとして考えると必要な項目だと思いましたので、気にしていこうかと思っています。その他の授業も非常にわかりやすかったです。ありがとうございました。

・普段触れることの少ない領域について学ばせてもらい、大変貴重な機会となりました。ただ、私自身の理解が十分でない為、すぐに役立つレベルにまで消化できておりません。今後も学び続ける必要性を高く感じました。ありがとうございました。

・多くのインプットと気づきがありました。特に、法律の整理や、官庁の組織図などが今後の役に立ちそうです。ありがとうございました。

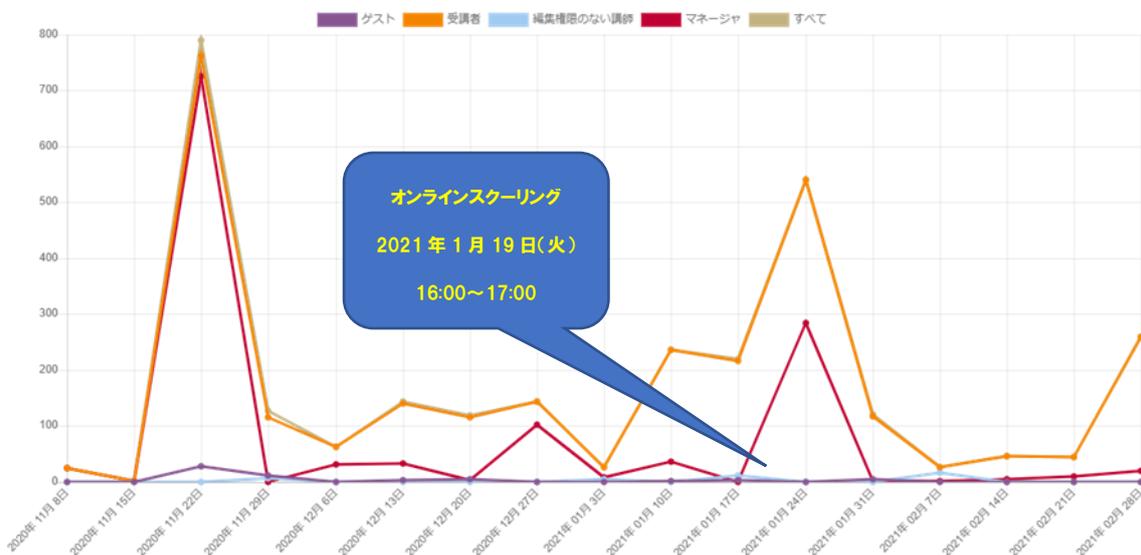
・専門学校を俯瞰的に学ぶことが出来ました。改めて専門学校の経営という大きな視点で考えることが出来たことで当該業界のみに視野が狭くなる現場からは、見えてこない問題意識や課題について考える機会となりました。ありがとうございました。

・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

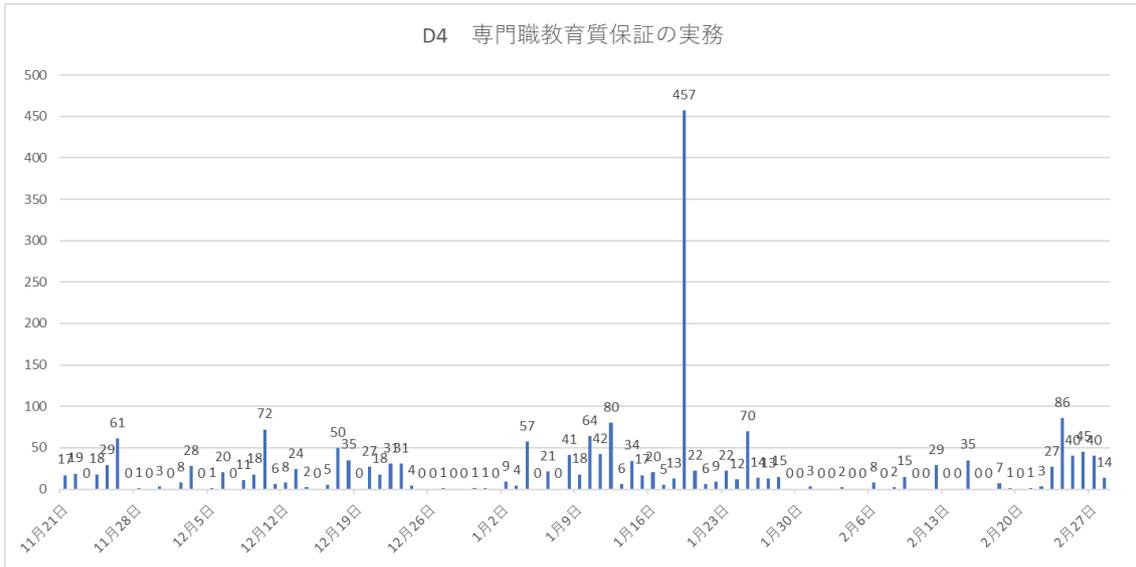
・最初は、教学マネジメント・ガバナンスという言葉がわかりませんでした。大学教員だったのにその方面に全く関心がありませんでした。ありがとうございました。

・教学マネジメント・ガバナンスを普段はあまり考えることはありません。考えるチャンスをいただきあり待とうございました。

D4 専門職教育質保証の実務

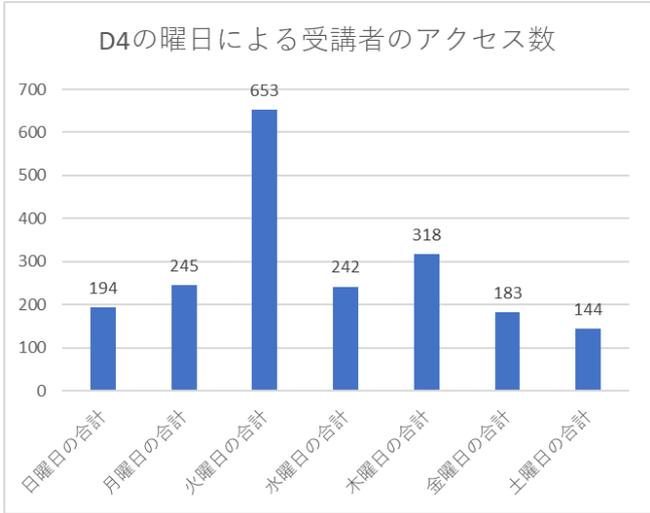


期間終了(期)	ゲスト	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	0	259	0	20	259	コースログ
2021年02月21日	0	44	0	10	44	コースログ
2021年02月14日	0	46	0	4	46	コースログ
2021年02月7日	0	26	16	2	26	コースログ
2021年01月31日	4	117	0	2	121	コースログ
2021年01月24日	0	540	0	285	540	コースログ
2021年01月17日	3	216	12	0	219	コースログ
2021年01月10日	1	236	0	37	237	コースログ
2021年01月3日	0	27	4	8	27	コースログ
2020年12月27日	0	143	0	102	143	コースログ
2020年12月20日	4	115	0	3	119	コースログ
2020年12月13日	3	140	0	33	143	コースログ
2020年12月6日	0	62	0	32	62	コースログ
2020年11月29日	11	116	7	0	127	コースログ
2020年11月22日	28	762	0	726	790	コースログ
2020年11月15日	0	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	0	25	0	25	25	コースログ



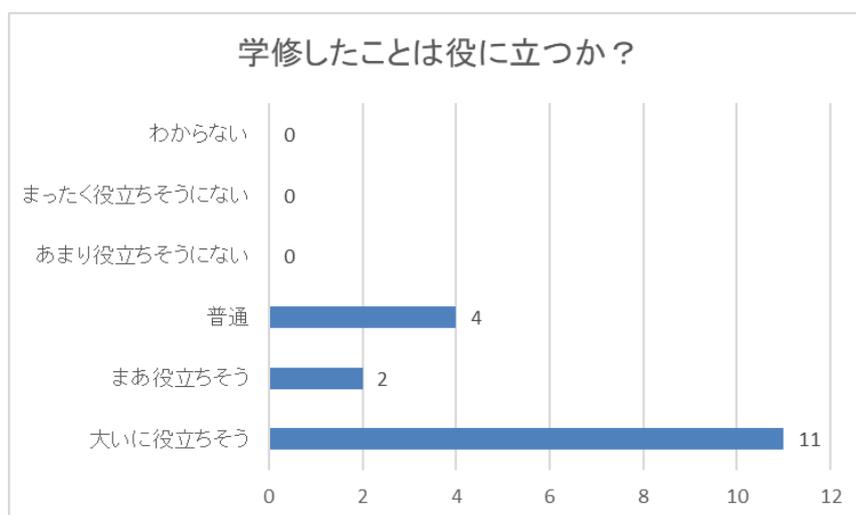
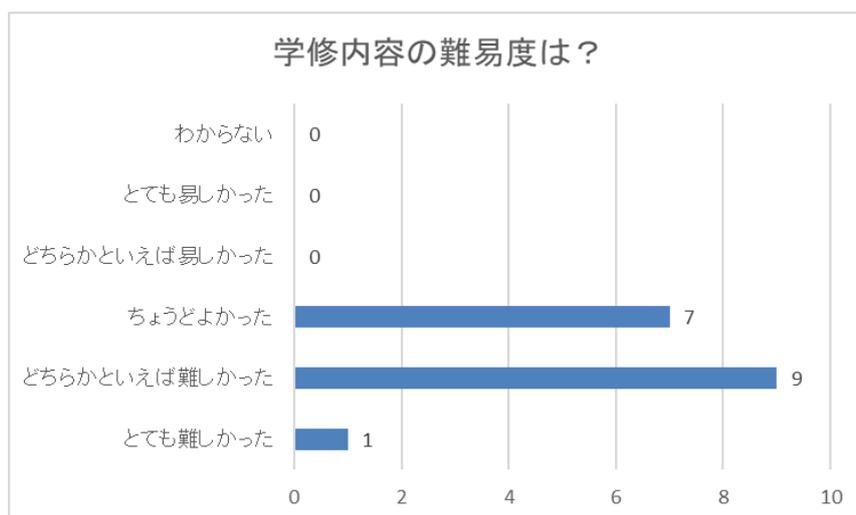
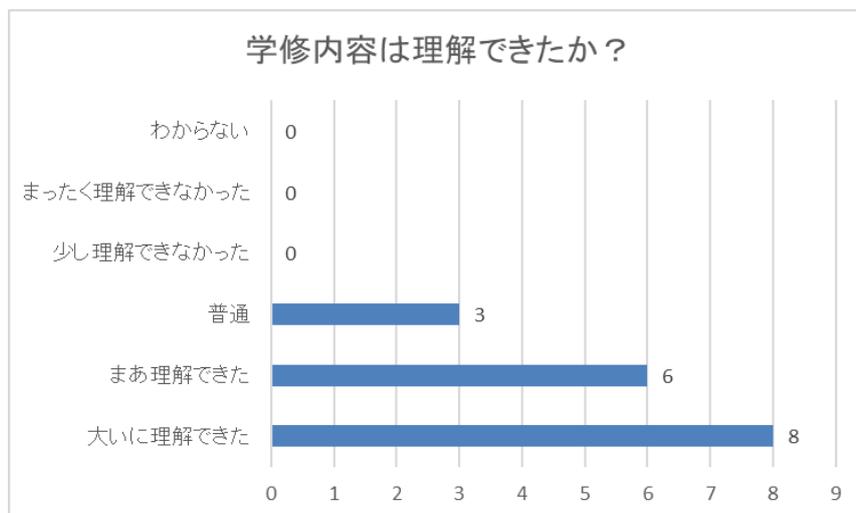
D4 専門職教育質保証の実務の真の受講者の全アクセス数は、1979 件である。
 受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、細かく変動していることがわかる。

2021 年 1 月 24 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 1 月 19 日（火）、457 件である。



曜日別グラフから、D4 専門職教育質保証の実務の場合は、受講者のアクセス数は、火曜日が多い。これは、オンラインスクーリングが火曜日にあったからと考えられる。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・職員室での参加で、川口先生に答弁できず申し訳なく思っております。昼間部・夜間部がありまして、窓口業務に立つこともあり、時間休をもらって別室参加ができればよいのですが、、、 よろしく願います。

・今回の講義を聞き、アセスメントポリシーの重要性や学修成果と教育成果の違いもよくわかりました。分かり易く細かいところまでご講義いただきありがとうございました。

・学んできた3ポリシーのことは知識として知っている状態でしたが、実際に教務課の業務として何をすべきかがよくわかりました。短期間の視点ではなく、ポリシーの策定から評価まで一貫して教務運営をしていかないと強く思いました。ありがとうございました。

・専門職質保証の歴史を知ることができて勉強になりました。大学と専門学校では規模や学生数、資金量、そして社会的影響力にかなりの違いがありますが、質保証にとって必要なことには大きな差がないように感じました。今後の学内・学外の評価の実施の際に、今回の動画講義やオンライン授業での質疑応答の内容を思い出し、活用していきたいと思えます。ありがとうございました。

・いつもありがとうございます。専門学校において「質の保証」が一番難しい問題かつ一番大切な問題だと認識しております。特に出口＝進路を考えた場合、そこから逆算した質の保証が必要不可欠であることは否めないかと。今後も研修で習得した知識を活かしてよりよい学園作りを目指したいと思えます。"

・とにかく早急に三つのポリシーの策定が必要であると強く感じているところです。講座で学んだことを手掛かりに、策定を進めたいと思えます。ありがとうございました。

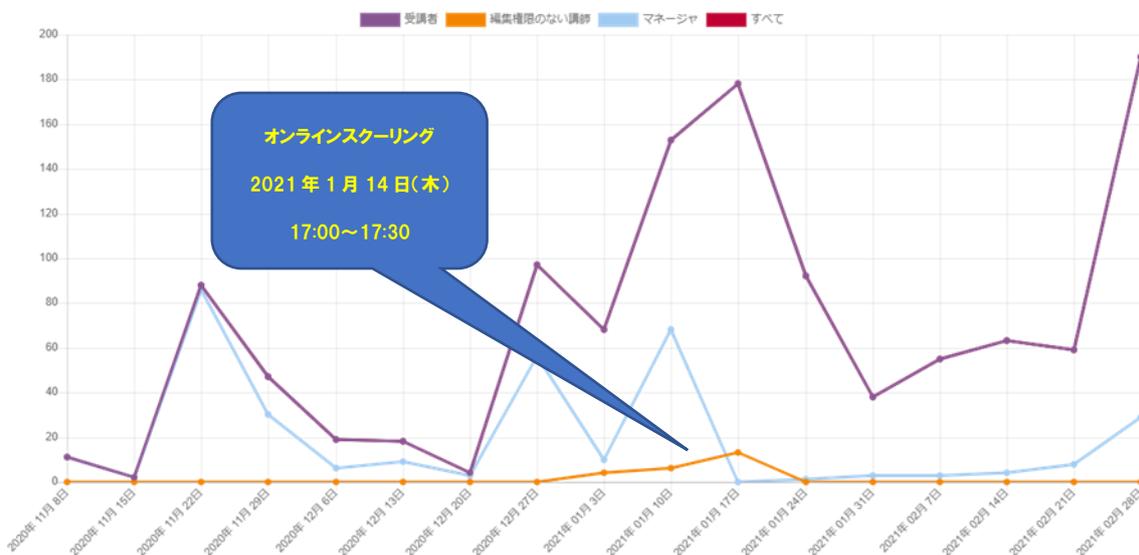
・多くのインプットと気づきがありました。特に、国際的な認証評価については知見がなかったため、勉強になりました。また、評価の基準についての解説も興味深かったです。ありがとうございました。

・最近の質保証に関する最新動向や評価に関する基礎的な知識から第三者評価についてまで、幅広く学ぶことが出来ました。今後もその必要性が高まることも理解できました。本学においてもこのような取り組みの更なる推進に向け注力していきたいと思えます。ありがとうございました。

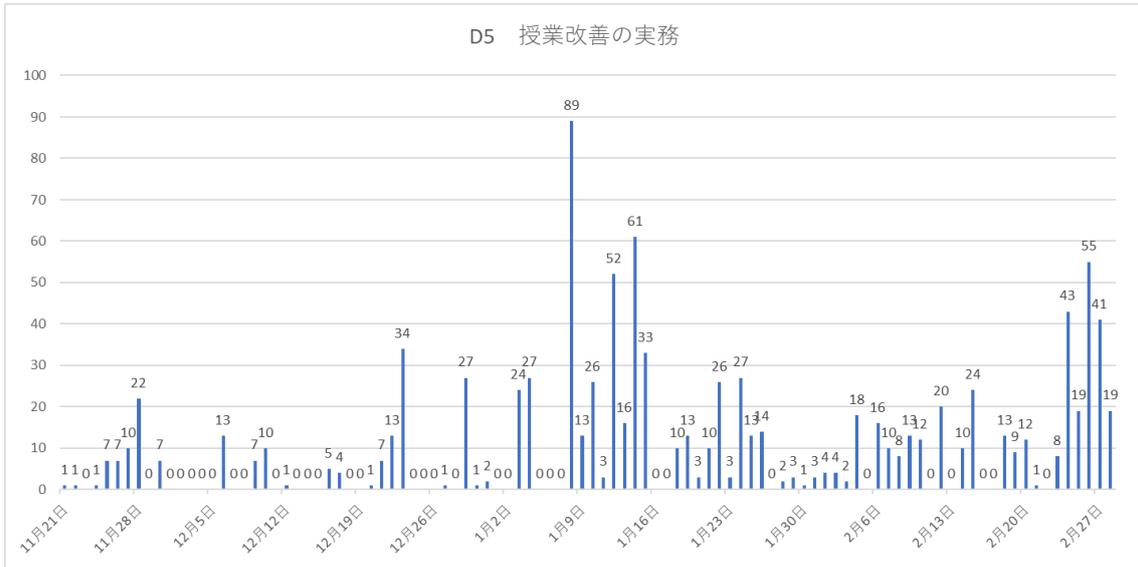
・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。"

・授業評価は何度も受けていますが、内部質評価という用語は全く知りませんでした。ありがとうございました。

D5 授業改善の実務



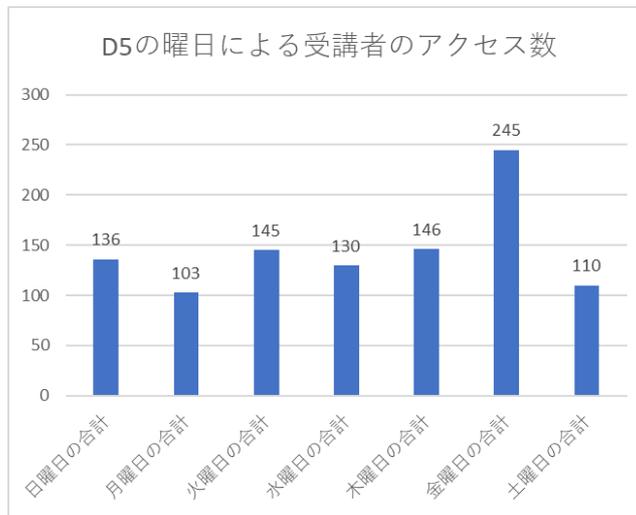
期最終日(期)	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	190	0	29	190	コースログ
2021年02月21日	59	0	8	59	コースログ
2021年02月14日	63	0	4	63	コースログ
2021年02月7日	55	0	3	55	コースログ
2021年01月31日	38	0	3	38	コースログ
2021年01月24日	92	0	1	92	コースログ
2021年01月17日	178	13	0	178	コースログ
2021年01月10日	153	6	68	153	コースログ
2021年01月3日	68	4	10	68	コースログ
2020年12月27日	97	0	56	97	コースログ
2020年12月20日	4	0	3	4	コースログ
2020年12月13日	18	0	9	18	コースログ
2020年12月6日	19	0	6	19	コースログ
2020年11月29日	47	0	30	47	コースログ
2020年11月22日	88	0	86	88	コースログ
2020年11月15日	2	0	2	2	コースログ
2020年11月8日	11	0	11	11	コースログ



D5 授業改善の実務の真の受講者の全アクセス数は、1015 件である。

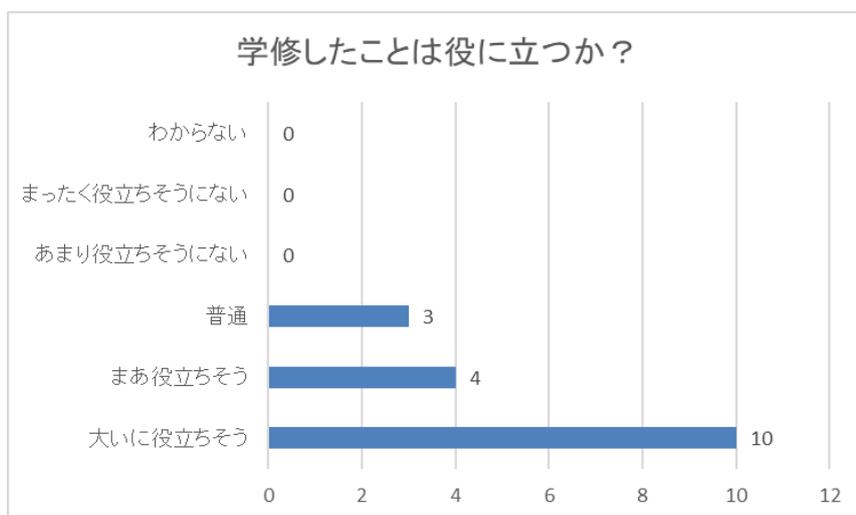
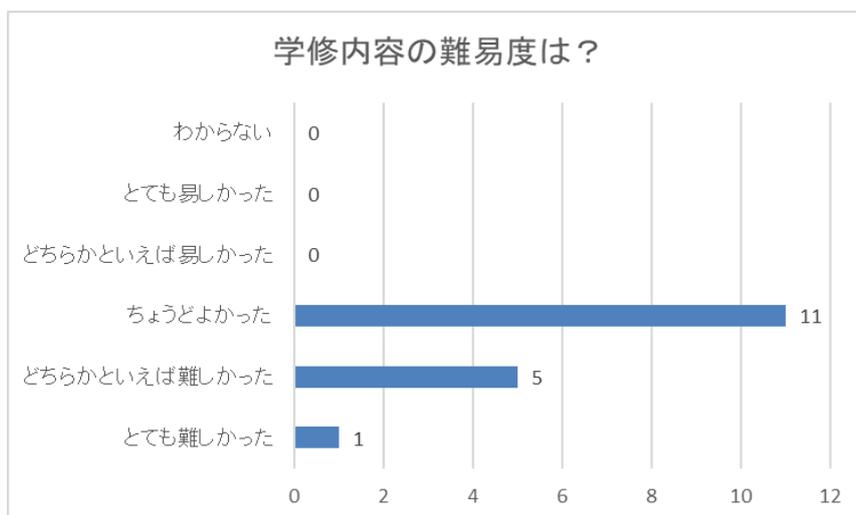
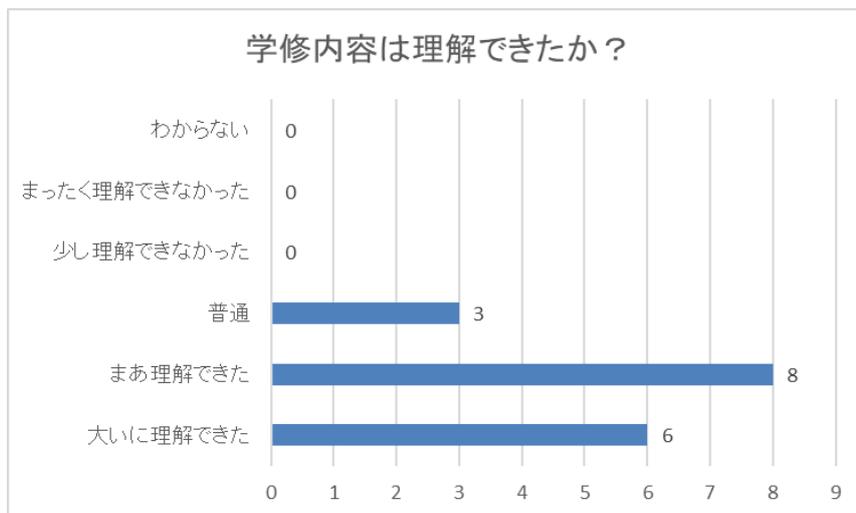
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、大きく変動していることがわかる。

2021 年 1 月 17 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 1 月 14 日（木）、61 件である。



曜日別グラフから、D5 授業改善の実務の場合、オンラインスクーリングがあった木曜日でも 146 件と 2 番目に多いが、受講者のアクセス数が最大なのは金曜日、245 件、3 番目に、火曜日、145 件である。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・いつもありがとうございます。今後の学校運営の参考とさせていただきます。江島先生のご回復をお祈り申し上げます。

・授業改善について日々問題点を意識しそれを改善していくことが学生にとって学校にとってそして自分自身にとって利益につながることに再認識させていただきました。ありがとうございました。

・コロナ禍が続くなか、本校でもオンライン授業が当たり前のような雰囲気になっていましたが、先日改めて WEB 学習についての学生アンケートを実施しました。概ねは肯定的な回答でしたが、やはり対面授業を希望する意見もあったため、今後の授業運営のあり方を検討しているところです。そのようなタイミングでの授業改善の実務の講義でしたので、基本を振り返る良い機会になりました。ありがとうございました。

・何度か受講していた内容とリンクするところも多く、断片的だった知識がいろいろつながったように感じます。授業は学校としての本質が問われるところですので、今回の研修をもとに考えていきたいと思えます。ありがとうございました。

・授業改善の必要性について、改めて認識することができた。特に ARCS モデルを活用したチェックシートが参考になった。

・課題が今の職場になかったので、少し理解を変えて参加させて頂きました。申し訳ありません。

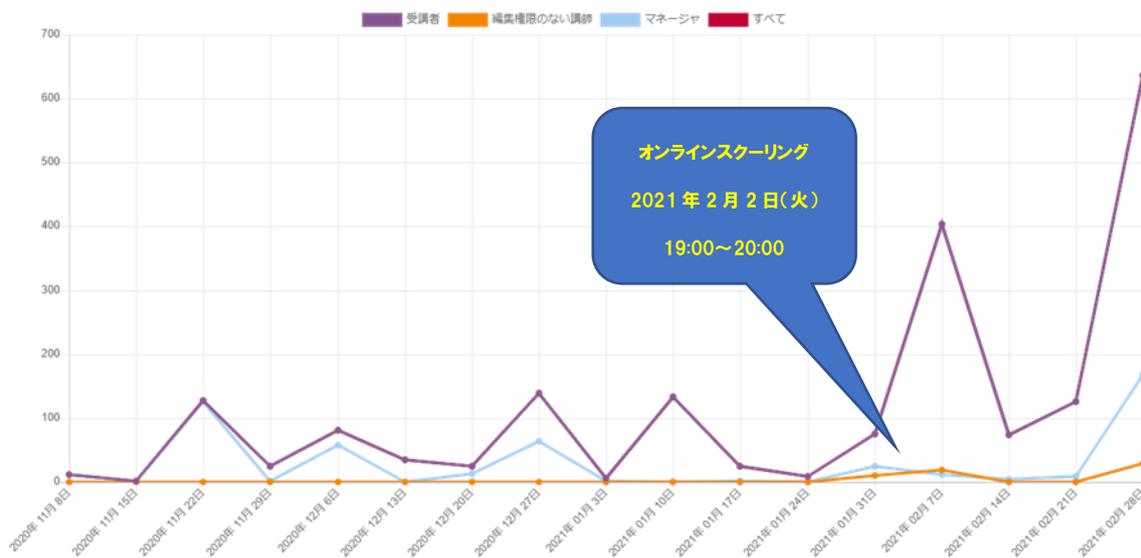
・いろいろと気づきがありました。特に、アンケートの標準化については勉強になりました。ありがとうございました。

・講義いただきありがとうございました。大変勉強になりました。

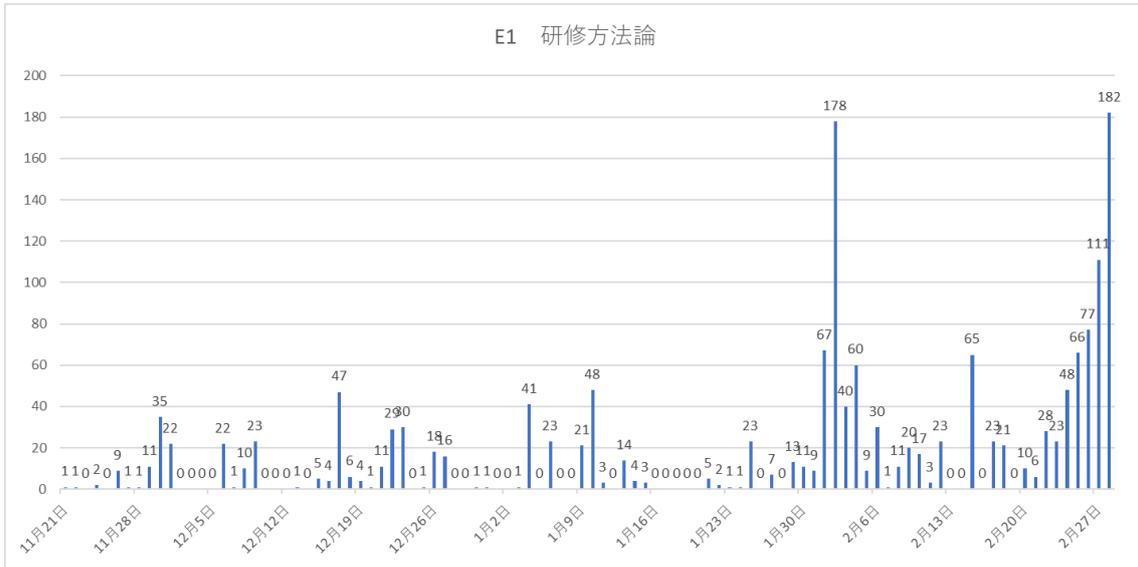
・授業改善につながる方法や評価についての具体的な内容を幅広く学ぶことができました。これらを全てを学内で取り入れることは容易ではないと思いますが、今後の質向上の取り組みや自己評価・学校関係者評価ならびに第三者評価などに繋がる非常に重要な実務であることを学ぶことができました。ありがとうございました。

・ ARCS モデルは知っていました。ありがとうございました。

E1 研修方法論



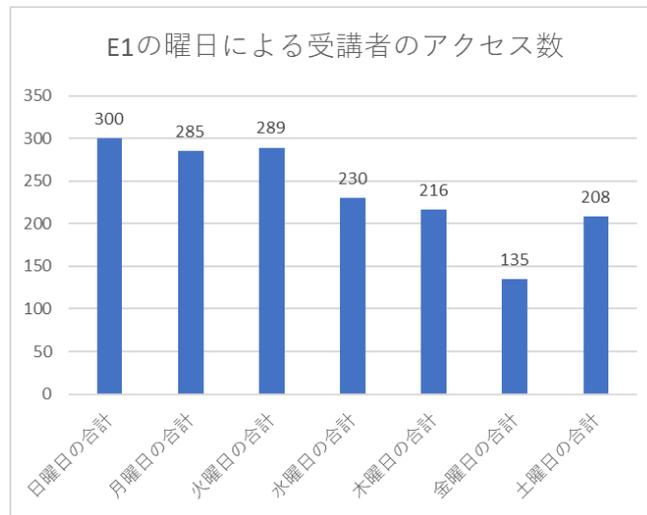
期間終了(期)	受講者	編集権限のない講師	マネージャ	すべて	ログ
2021年02月28日	636	29	168	636	コースログ
2021年02月21日	126	0	9	126	コースログ
2021年02月14日	74	0	4	74	コースログ
2021年02月7日	403	18	11	403	コースログ
2021年01月31日	75	10	25	75	コースログ
2021年01月24日	9	0	0	9	コースログ
2021年01月17日	25	0	1	25	コースログ
2021年01月10日	133	0	0	133	コースログ
2021年01月3日	5	0	2	5	コースログ
2020年12月27日	139	0	64	139	コースログ
2020年12月20日	24	0	13	24	コースログ
2020年12月13日	35	0	0	35	コースログ
2020年12月6日	81	0	58	81	コースログ
2020年11月29日	24	0	1	24	コースログ
2020年11月22日	127	0	125	127	コースログ
2020年11月15日	1	0	1	1	コースログ
2020年11月8日	11	0	11	11	コースログ



E1 研修方法論の真の受講者の全アクセス数は、1663 件である。

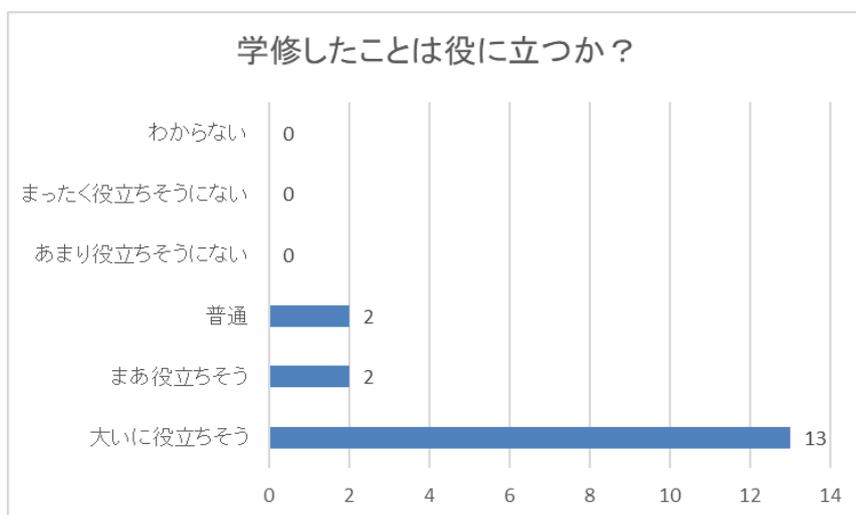
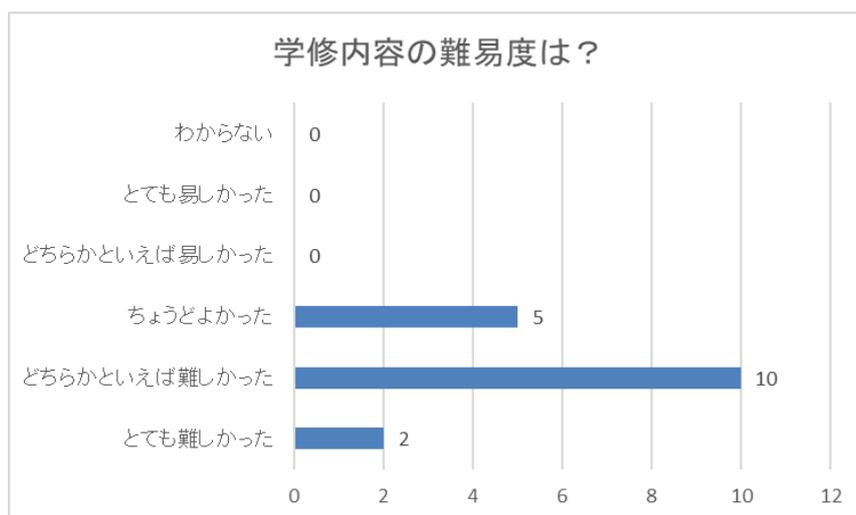
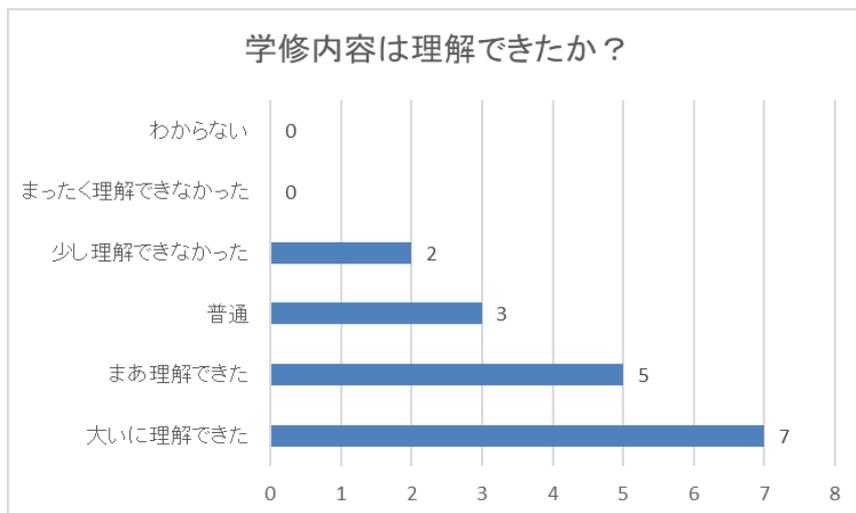
受講者グラフからアクセス数が 0 になる場合があり、大きく変動していることがわかる。

2021 年 2 月 7 日（日）の 1 週間で、受講者のアクセス数が最大なのは、オンラインスクーリング当日 2 月 2 日（火）である。



曜日別グラフから、E1 研修方法論の場合は、オンラインスクーリングがあった火曜日でも 289 件と 2 番目に多いが、受講者のアクセス数が最大なのは日曜日、300 件、3 番目は、月曜日、285 件である。金曜日が大きく減っている。

科目アンケートの結果



○この科目に関するご意見を記入してください。

以下の文章は原文のまま。氏名、学校名が書かれている場合は消した。

・非常に有意義な時間をありがとうございました。私は教員ではないため、授業を実際に行う機会は殆どありませんが今後の日常業務にいかしていきたいと思います。"

・リモート授業で活用できる内容でわかりやすかったです。

・研究についてどのように行えばよいのかの糸口を発見させていただきました。撮影など実際に行うことで新しい発見もあり今後も活用させていただきたいと思います。また、Zoomの使い方についても知らなかった機能を知ることができ非常に良かったです。ありがとうございました。

・研修方法論という科目名に違わず、本講義は進行のプロセスが理解しやすく勉強になりました。コミュニケーションの分析フォームなど、具体的な方法論を示していただけただことで、自分自身の授業内容や学生との関わりを効果的に振り返ることができました。他の講座(C2ファシリテーション)の曼陀羅図と同様、実際に使いやすい方法が紹介されることは専門学校教員にとってすごく役立ちます。ありがとうございました。

・行動主義的な研修(授業)ファシリテーションのプロセス・スキルのありよう、アクティブ・ラーニングの解釈にふれることができました。動画による説明、実習もしていただき非常にわかりやすかったです。ありがとうございました。

・文字に起こして自分の指導を振り返る機会はほとんどなく、大変いい機会になりました。今後はぜひ教員間の授業見学でも使いたいと思います。ありがとうございました。授業力をあげるには、一にも省察、二にも省察、省察あるのみ、を実感しました。ありがとうございました。

・講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

・今まで授業や研修の内容、進め方に関する学習をしたことがなく、全て独学か過去の引継ぎでしたので、とても新鮮で楽しかったです。(その分、実際にシートを書いたり、考えたりすることは一番時間がかかった講座でした。今となってはいい思い出です。)本当にありがとうございました。

・授業法における「気付き」のヒントを三田地先生から頂きました。ありがとうございました。

た。

・勤務の関係でオンラインでは参加できず残念でしたが、とても参考になり今後の授業改善にも繋がる取り組みや省察方法などを具体的に学ぶことが出来ました。ありがとうございました。別途、ご指示ありましたフォームでも回答いたします。

全体的考察

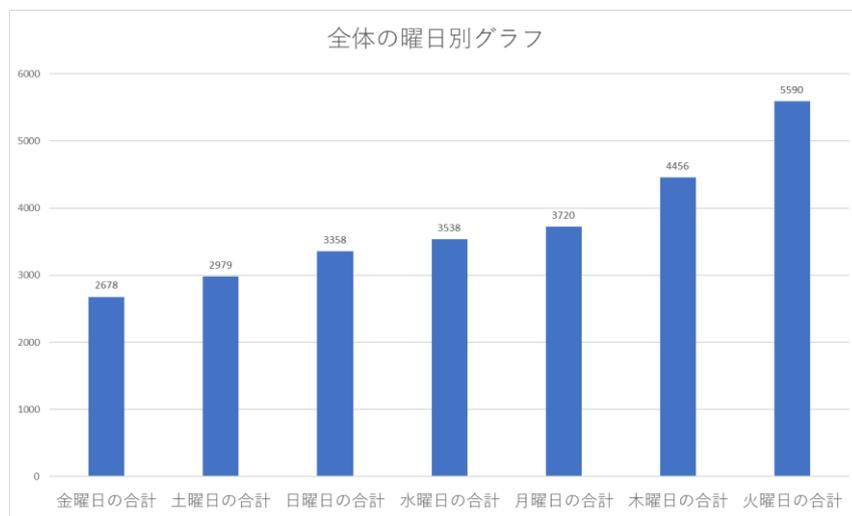
①全体としての受講者のアクセス数について

多くの講座が、前半の開講時、オンラインスクーリングの前後、閉講直前の3つに、高いアクセスの山（ピーク）があることが特徴的であるが、前半のピークは、Moodleの管理者によるダミー受講者のアクセスによる。オンラインスクーリングの期間にはアクセス数が上がることである。

オンラインスクーリングの前後は一通り聴講したことを復習し、オンラインスクーリングに参加し、修得レポート執筆の準備をする。閉講直前は、修得レポート提出に間に合うように完成し、アンケートなどに答えていると推察される。

ただし、D3のように、オンラインスクーリングの前にピークが繰り返えされているのは興味深い。

それでは、全体としては、受講者は何曜日によくアクセスするのだろうか。

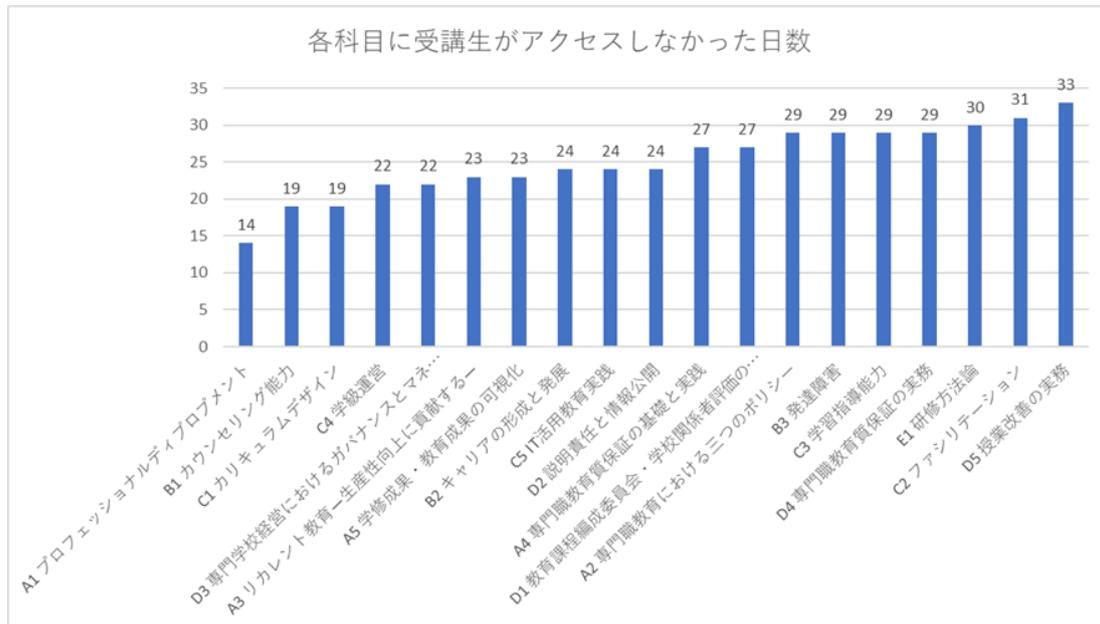


アクセス数が少ない曜日は、金曜日、次に土曜日・日曜日であり、アクセス数が多い曜日は火曜日、次に木曜日が多いことがわかる。火曜日、木曜が多いのは、オンラインスクーリングが多いからであるだろう。勤務時間が少ない土曜日や日曜日にアクセス数が集中するわけではない。

②各科目で受講者がアクセスしなかった日の日数

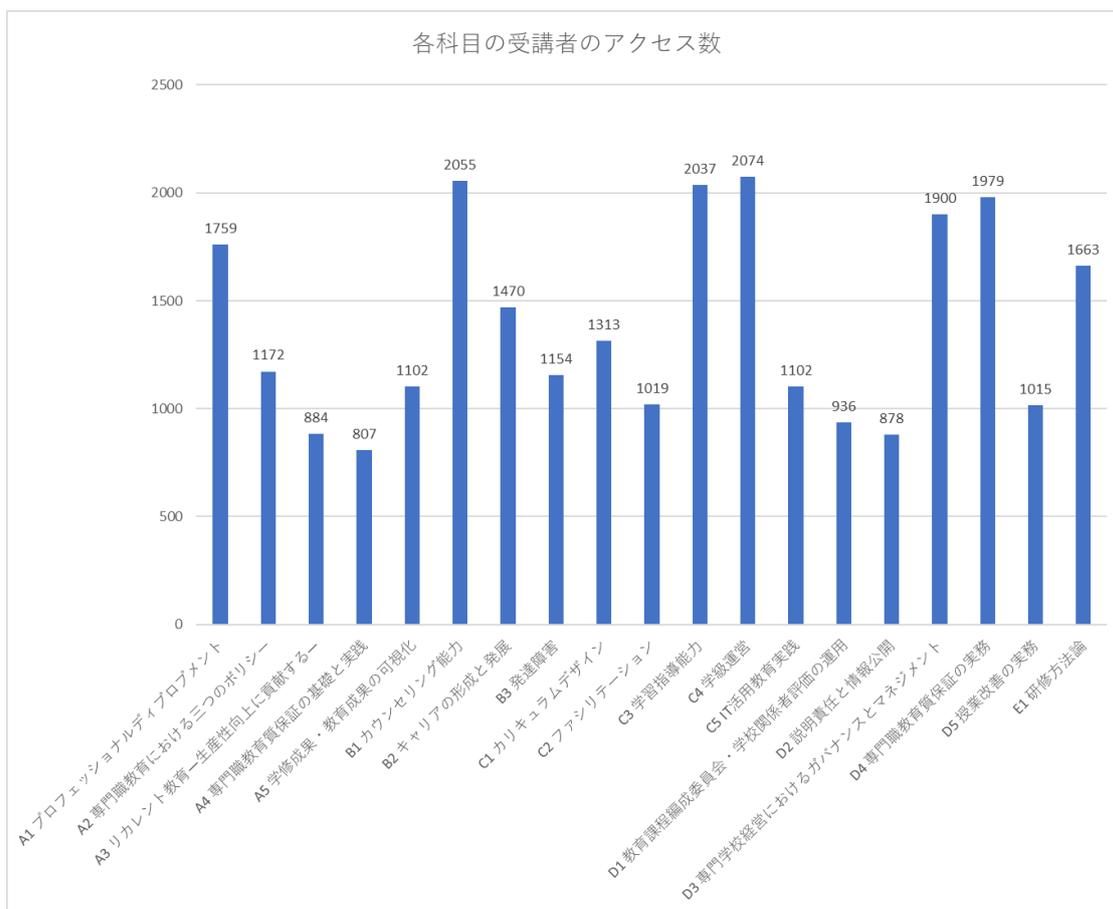
受講者は、受講者グラフと曜日別グラフからアクセス数が0になる場合がある。

以下のグラフは、講習全日数100日間中、各科目でアクセスしなかった日の日数である。



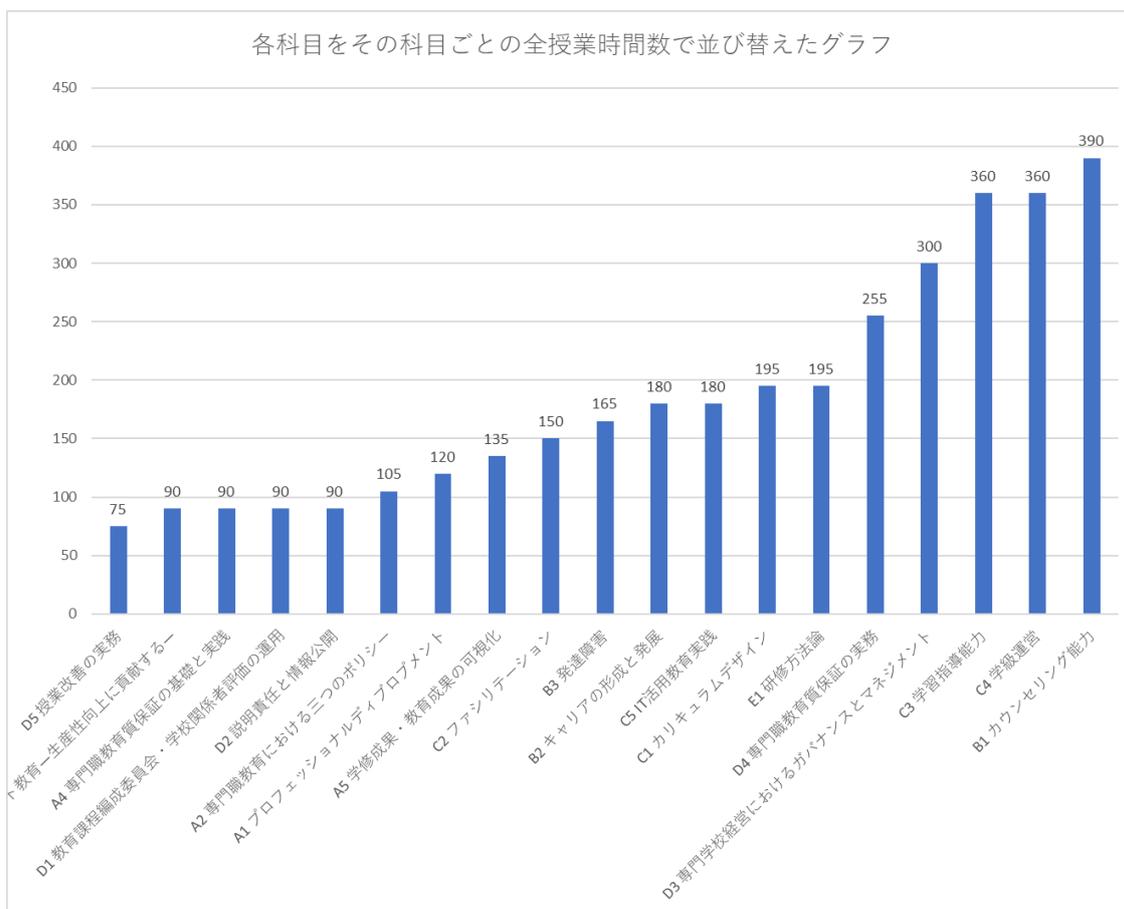
この講座は、昨年度からの受講者が多く、すでに聴講している科目も多く、そのことによる変動もあると考えられる。

③各科目の授業時間数と受講者のアクセス数について



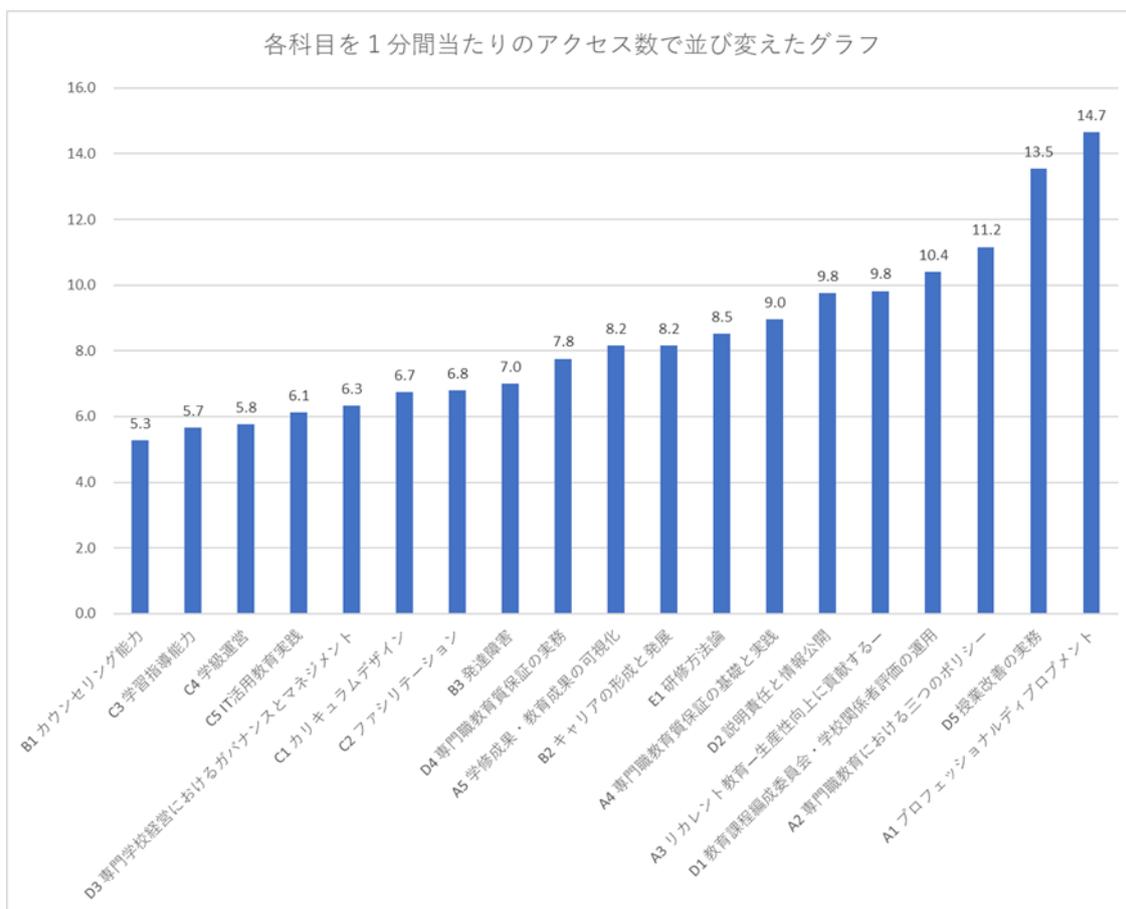
しかし、授業時間数の多い科目は、受講者のアクセス数も多く、少ない科目は、アクセス数が少ないであろう。

そこで、まず各科目を授業時間数で並びかえてみると以下のようなになる。



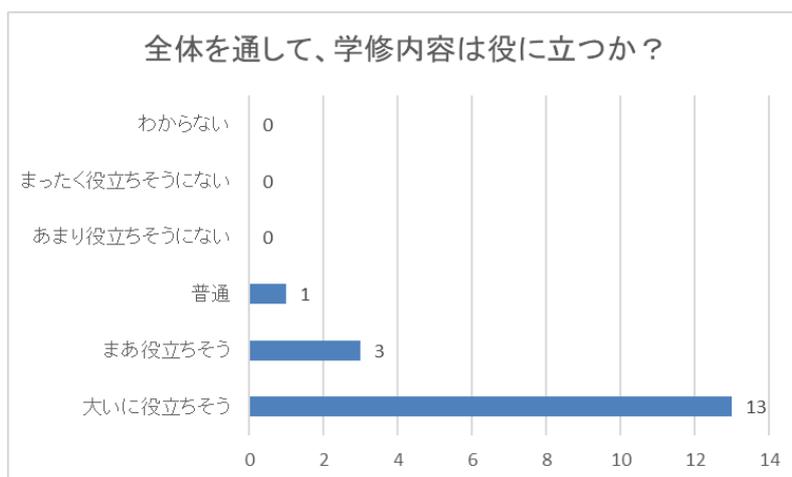
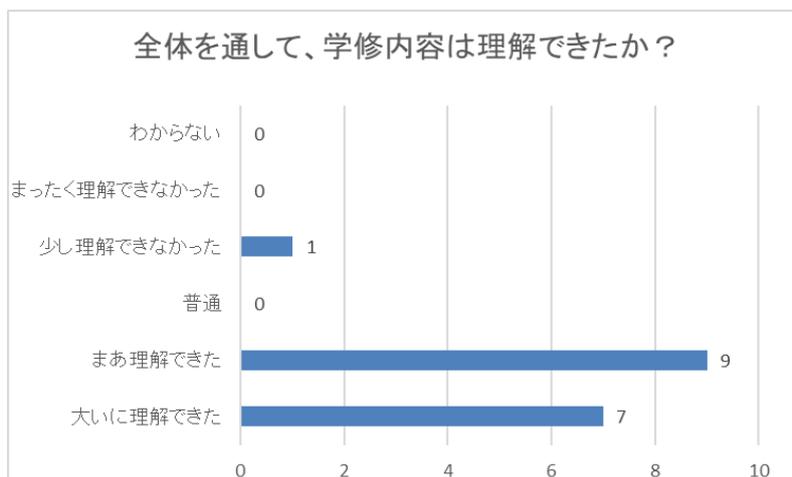
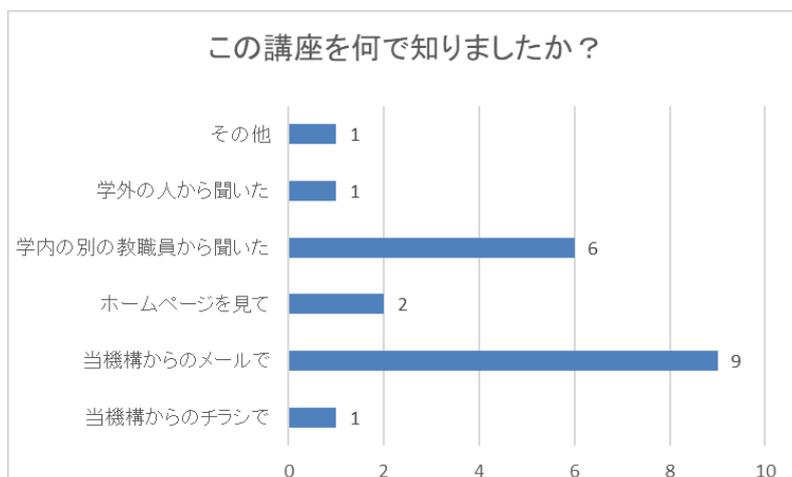
上のグラフの各科目の数値の単位は、授業時間数（分）である。また、授業時間数は、各科目のオンデマンドの時間数に、リアルタイム（オンラインスクーリング）の時間数を足したものである。

次に、各科目の1分間当たりの受講者のアクセス数で並び変えてみると以下のグラフになる。

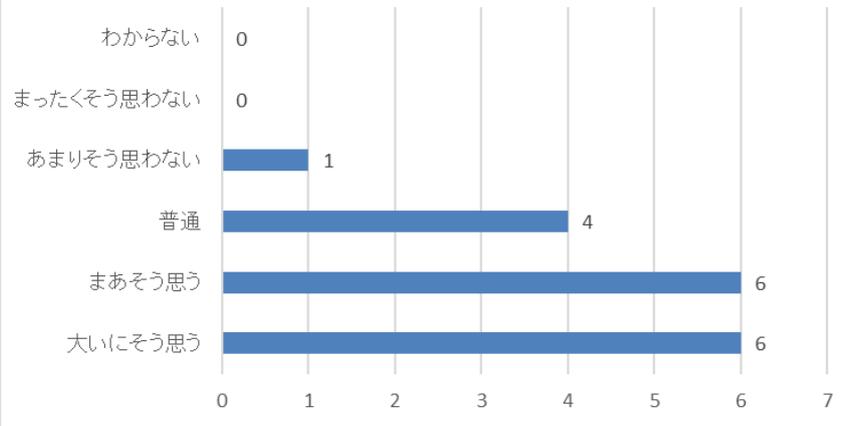


授業時間数が多い科目への受講者のアクセス数が多いとは限らない。また、A1 は別として、どちらかという、質保証に関する科目へのアクセス数が多い。

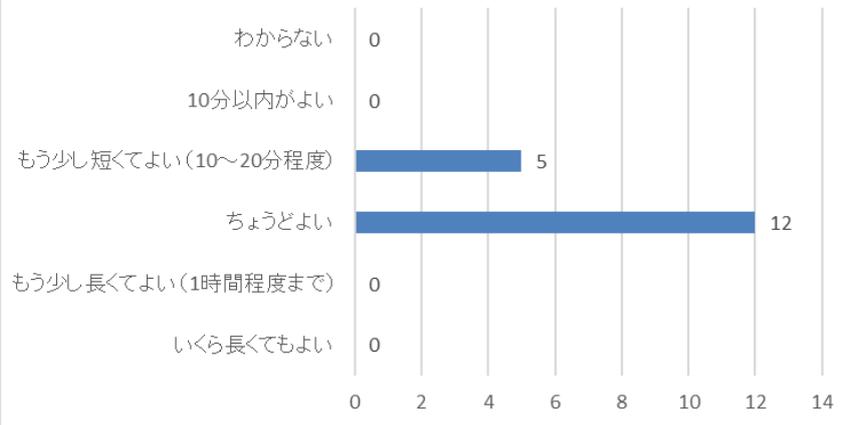
全体アンケートの結果



オンライン学修のシステムは操作しやすいか？



動画の再生時間30分から40分の目安は？



○1 本の動画再生時間について自由にご意見をご記入ください。

以下の文章は原文のママである。

・時間的には丁度いいと思います。勤務しながらの受講なので、それほどまとまった時間を確保することが（学生と異なり）困難なので、隙間時間を活用できる時間がありがたかったです。また、あまり長時間だと集中力が続かないという理由もあります。

・上で、「ちょうどよい」にしましたが、3分、10分などがあってもよいと思います。

・特にありません。

・動画再生時間はちょうど良かったです。時間の都合上一本見続けることが出来ない時に経過時間を確認し改めて観ていましたが、画面上に経過時間もしくは残り時間等が分かり易く表示されているとその場所から見直せて便利かなと思いました。

・15分程度で分けていただけるといいですね。

・続けて1時間の動画については少し長いと感じた。30分ぐらいなら集中して学習できた。

・問5でちょうどよいと記入しましたが、30分を超えるとやや疲れがでてきます。ただ、1つの単元が10以上となると、これも全体像がつかみずらく感じます。わがままな受講者で申し訳ありません。

・実際に私もオンライン授業の録画をしています。学生への聞き取りでは、30分間くらいまでの動画だと集中力が持続するとの回答が多かったです。講師によって話すスピードに差がありますが、自分が受講者の立場になると、やはり長くても45分間くらいまでの時間が効果的であるように感じました。再生スピードの調節を可能にするか、もし不可であるなら60分間以上の講座は2つに分割する方がよいと思います。

・全てのカリキュラムの動画本数や授業時間が統一されていると良いなと思いました。講座内容によって、動画本数ならびに再生時間が同じであると、より取り組みやすくなると思います。

・都合によりZoom研修を欠席せざるをえず、その録画をみましたが、長く感じました。

・良かったと思いますが、課題のE1パワーポイントが容量が大きく、送る能力がないの

で失礼いたしました。

- ・適度な時間で、問題ないと思う

○この講座に追加してほしい科目や学修内容のイメージを記入してください。

以下の文章は原文のままである。

- ・具体的な科目名は思いつきませんが、専門学校教職員をターゲットとするならば、学術的な内容よりも実務に役立つ内容であってほしいと思います。大学短大とは異なる存在なので。 今回の各講座はそれに合致していたと（私は）判断します。

- ・C1 カリキュラムデザインでふれてはいますが、学習観、学習理論の変遷にもっと詳しくふれるべきだと思います。

- ・特にありません。

- ・現在の不安定な世の中ということもあり、学生の状況を知る上での人間行動学や心理学など学んでみたいと思いました。

- ・教員指導や、リスクコミュニケーションに関する科目があると嬉しいです。

- ・リモート学習方法の具体的な事例があると今後の授業の参考になると思う。

- ・今回の講座では教学マネジメント、授業の質向上に関して非常にわかりやすい内容で勉強になりました。イメージとしては教育機関のガバナンス、教職員のモチベーションアップなどがあると嬉しいです。

- ・①学生指導・対応にあたって活用できる心理学 ②理解しやすい Word・Excel 等による資料作成方法 ③IT 技術・プログラミング ④外国人留学生の受入れ・指導の対応

- ・職業教育についての講座があるとよいと思いました。専門職大学の状況や専門学校の全体像についての学修内容があるとよい俯瞰的に多様な分野ごとの特徴や状況など理解が深まると思います。

- ・シラバスの内容の書き方 実務家の業績の書き方 とかがあったらよいと思いました。

- ・教育心理学
- ・各実践方法の成功／失敗事例
- ・演習授業の効果的な指導方法や事例多理論的学習。
- ・心理学的な要素

○オンライン学修システムについて改善の要望を記入してください。

・正直オンラインの学修、学習に関して素人なので意見、改善要望ができるレベルに到達しておりません。今後、オンライン授業が一般的になり、もう少し私自身が慣れてくれば意見提案をさせていただけるかと存じます。

・メンタリングとメンターが必要だと思います。また、受講者どうしのコミュニケーションが必要です。せっかく様々な専門学校の方がいらっしゃるのですから情報交換にもなります。

・履修科目ごとに、時間や課題の難易度が違いますので、検討いただければありがたいです。

・特に問題を感じませんでした。

・知識領域ではない、スキル化する必要性のある学習領域をどう学びとするか

・とくにはない

・リアルタイム授業の際は質問はチャットがしやすそうだなと思いました（実際には使用できませんでした）。また受講者側の問題でもあるのですが、受講者同士の意見交換もできればよかったですと思います。

・全体としてオンライン学修システムは使いやすかったと思います。ユーチューブ動画に関しては、再生時間や表示方法をもう少し標準化する方がよいと思いました。あと講師の声以外の雑音が気になる動画があり、これは改善を希望したいです。講師・受講者とのオンライン合同講義は、様々な意見を聞くことができ有意義でした。多くが1時間の限られた枠でしたので、事前にどのテーマを中心にやり取りをするか指定しておいた方が時間の有効活用にもなり、個別の学校のより詳しい詳細・問題点を共有できるように思いました。

・進行状態が100%表示されているのは、とても参考になりました。課題レポートの回答をオンライン授業の前から回答できると助かります。またオンライン授業の設定時刻をもう少し、固定化して頂けると本務業務と両立しやすくなるかと思います。16:00～ と19:00からなど時間調整が難しいと感じる日程もありました。

・決まった科目順で並び一覧できるようなモードがあると良いと思いました。

・機械に弱いのでついて行くのみ。

・都合の良い時間に視聴できるのでよかった

○(教員の場合)あなたが受け持っている科目名を挙げてください。(職員の場合)あなたの主な職務を挙げてください。

・私は教務課所属の正職員(副責任者)です。教務課なので、学校全体の教務内容を考えたり授業運営をしたりしております。副責任者という立場上、実務を担当することよりも全体を俯瞰的にみて調整することが多いです。

・現在は、看護物理学です。

・教員として 介護の基本ⅠⅡ、コミュニケーション技術、レクリエーション実践、健康科学、生涯スポーツ、介護予防 職員 事務部長

・理容理論 理容実習 文化論

・社会福祉、社会の理解、社会保障論、人間関係とコミュニケーション、介護サービス特論、介護過程、介護総合演習、介護福祉実習、障害の理解、介護基礎講座、介護総合講座等

・介護概論(医療、保育)、英会話(保育、国際IT、公務員)、国語(保育、国際IT)

・(職員) 副校長として教務課と進路課を統括しております。教務課は責任者と兼務です。担当科目:解剖学、リハビリテーション医学、医療概論、臨床実習 担当職務:学科長(教務の責任者)

・運営管理

・「デザイン概論」「デザイン史」「総合企画演習」「カレッジライフデザイン」「アカデミックライティング」ゼミ、卒業制作、修了制作、新入生研修

・柔道整復理論、関係法規、解剖学、外傷予防技術、検査測定評価、健康化学1

・情報リテラシー、学生指導、就職活動支援など

・簿記、オフィスアプリケーション、FP、ERP

